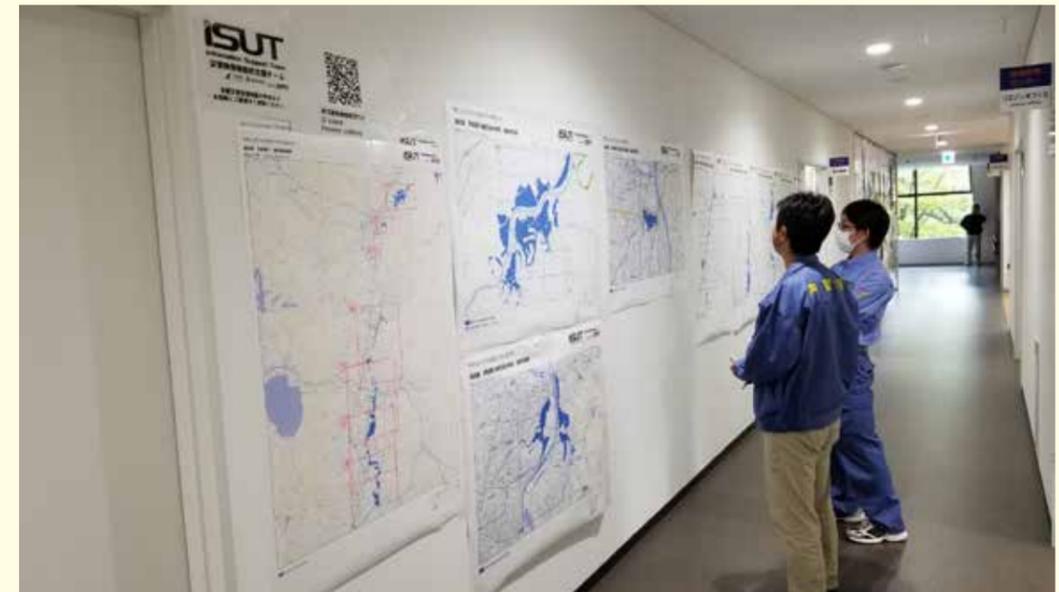


令和元年東日本台風(台風第19号)による各県の被害概要および受援設備の整理

Overview of Damage and Equipment for Support-Receiving in Typhoon Hagibis in October 2019



防災科学技術研究所研究資料

- 第 392 号 地すべり地形分布図 第 58 集「鹿児島県域諸島」27 葉(5 万分の 1)。2015 年 3 月発行
- 第 393 号 地すべり地形分布図 第 59 集「伊豆諸島および小笠原諸島」10 葉(5 万分の 1)。2015 年 3 月発行
- 第 394 号 地すべり地形分布図 第 60 集「関東中央部」15 葉(5 万分の 1)。2015 年 3 月発行
- 第 395 号 水害統計全国版データベースの整備。発行予定
- 第 396 号 2015 年 4 月ネパール地震 (Gorkha 地震) における災害情報の利活用に関するヒアリング調査 58pp. 2015 年 7 月発行
- 第 397 号 2015 年 4 月ネパール地震 (Gorkha 地震) における建物被害に関する情報収集調査速報 16pp. 2015 年 9 月発行
- 第 398 号 長岡における積雪観測資料 (37) (2014/15 冬期) 29pp. 2015 年 11 月発行
- 第 399 号 東日本大震災を踏まえた地震動ハザード評価の改良(付録 DVD) 253pp. 2015 年 12 月発行
- 第 400 号 日本海溝に発生する地震による確率論的津波ハザード評価の手法の検討(付録 DVD) 216pp. 2015 年 12 月発行
- 第 401 号 全国自治体の防災情報システム整備状況 47pp. 2015 年 12 月発行
- 第 402 号 新庄における気象と降積雪の観測(2014/15 年冬期) 47pp. 2016 年 2 月発行
- 第 403 号 地上写真による鳥海山南東斜面の雪渓の長期変動観測(1979 ～ 2015 年) 52pp. 2016 年 2 月発行
- 第 404 号 2015 年 4 月ネパール地震 (Gorkha 地震) における地震の概要と建物被害に関する情報収集調査報告 54pp. 2016 年 3 月発行
- 第 405 号 土砂災害予測に関する研究会－現状の課題と新技術－プロシーディング 220pp. 2016 年 3 月発行
- 第 406 号 津波ハザード情報の利活用報告書 132pp. 2016 年 8 月発行
- 第 407 号 2015 年 4 月ネパール地震 (Gorkha 地震) における災害情報の利活用に関するインタビュー調査－改訂版－ 120pp. 2016 年 10 月発行
- 第 408 号 新庄における気象と降積雪の観測 (2015/16 年冬期) 39pp. 2017 年 2 月発行
- 第 409 号 長岡における積雪観測資料 (38) (2015/16 冬期) 28pp. 2017 年 2 月発行
- 第 410 号 ため池堤体の耐震安全性に関する実験研究－改修されたため池堤体の耐震性能検証－ 87pp. 2017 年 2 月発行
- 第 411 号 土砂災害予測に関する研究会－熊本地震とその周辺－プロシーディング 231pp. 2017 年 3 月発行
- 第 412 号 衛星画像解析による熊本地震被災地域の斜面・地盤変動調査－多時期ペアの差分干渉 SAR 解析による地震後の変動抽出－ 107pp. 2017 年 9 月発行
- 第 413 号 熊本地震被災地域における地形・地盤情報の整備－航空レーザ計測と地上観測調査に基づいた防災情報データベースの構築－ 154pp. 2017 年 9 月発行
- 第 414 号 2017 年度全国市区町村への防災アンケート結果概要 69pp. 2017 年 12 月発行
- 第 415 号 全国を対象とした地震リスク評価手法の検討 450pp. 2018 年 3 月発行予定
- 第 416 号 メキシコ中部地震調査速報 28pp. 2018 年 1 月発行
- 第 417 号 長岡における積雪観測資料(39) (2016/17 冬期) 29pp. 2018 年 2 月発行
- 第 418 号 土砂災害予測に関する研究会 2017 年度プロシーディング 149pp. 2018 年 3 月発行
- 第 419 号 九州北部豪雨における情報支援活動に関するインタビュー調査 90pp. 2018 年 7 月発行
- 第 420 号 液状化地盤における飽和度確認手法に関する実験的研究－不飽和化液状化対策模型地盤を用いた模型振動台実験－ 62pp. 2018 年 8 月発行
- 第 421 号 新庄における気象と降積雪の観測(2016/17 年冬期) 45pp. 2018 年 11 月発行
- 第 422 号 2017 年度防災科研クライシスレスポンスサイト (NIED-CRS) の構築と運用 56pp. 2018 年 12 月発行
- 第 423 号 耐震性貯水槽の液状化対策効果に関する実験研究－液状化による浮き上がり防止に関する排水性能の確認－ 48pp. 2018 年 12 月発行
- 第 424 号 バイプロを用いた起振時過剰間隙水圧計測による原位置液状化強度の評価手法の検討－原位置液状化強度の評価に向けた土槽実験の試み－ 52pp. 2019 年 1 月発行
- 第 425 号 ベントナイト系遮水シートの設置方法がため池堤体の耐震性に与える影響 102pp. 2019 年 1 月発行
- 第 426 号 蛇籠を用いた耐震性道路擁壁の実大振動台実験および評価手法の開発－被災調査から現地への適用に至るまで－ 114pp. 2019 年 2 月発行
- 第 427 号 津波シミュレータ TNS の開発 67pp. 2019 年 3 月発行
- 第 428 号 長岡における積雪観測資料(40) (2017/18 冬期) 29pp. 2019 年 2 月発行
- 第 429 号 配管系の弾塑性地震応答評価に対するベンチマーク解析 72pp. 2019 年 3 月発行
- 第 430 号 津波浸水の即時予測を目的とした津波シナリオバンクの構築 169pp. 2019 年 3 月発行
- 第 431 号 土砂災害予測に関する研究会 2018 年度プロシーディング 65pp. 2019 年 3 月発行
- 第 432 号 全国を概観するリアルタイム地震被害推定・状況把握システムの開発 311pp. 2019 年 3 月発行

防災科学技術研究所研究資料

- 第 433 号 新庄における気象と降積雪の観測(2017/18 年冬期) 51pp. 2019 年 3 月発行
- 第 434 号 SIP4D を活用した災害情報の広域連携に関する取り組み－南西レスキュー 30 における活動報告－ 158pp. 2019 年 6 月発行
- 第 435 号 SIP4D を活用した災害情報の広域連携に関する取り組み－みちのく ALERT2018 における活動報告－ 140pp. 2019 年 7 月発行
- 第 436 号 平成 30 年 7 月豪雨 (西日本豪雨) の被災自治体における災害情報システムの活用実態に関する調査 60pp. 2019 年 9 月発行
- 第 437 号 SIP4D 利活用システム技術仕様書・同解説 142pp. 2019 年 10 月発行
- 第 438 号 SIP4D を活用した災害情報の広域連携に関する取り組み－かもしか RESCUE2019 における活動報告－ 46pp. 2019 年 12 月発行
- 第 439 号(1) 南海トラフ沿いの地震に対する確率論的津波ハザード評価 第一部 本編 575pp. 付録編 514pp. 2020 年 4 月発行
- 第 440 号 蛇籠を用いた建造物の合理的な設計手法のための変形メカニズムに関する実験研究－蛇籠の理論体系構築に向けた基礎的研究－ 26pp. 2020 年 1 月発行
- 第 441 号 長岡における積雪観測資料(41) (2018/19 冬期) 25pp. 2020 年 3 月発行
- 第 442 号 新庄における気象と降積雪の観測(2018/19 年冬期) 47pp. 2020 年 2 月発行
- 第 443 号 クラウドファンディングを活用した研究事例－ネパール組積造住宅の耐震補強実験を例として－ 32pp. 2020 年 3 月発行
- 第 444 号 南海トラフで発生する地震・津波を対象とした広域リスク評価手法の検討 163pp. 2020 年 3 月発行
- 第 445 号 SIP4D を活用した災害情報の広域連携に関する取り組み－01TREX/ 南海レスキュー 01 における活動報告－ 23pp. 2020 年 6 月発行
- 第 446 号 災害関連情報の効果的アーカイブ方法の検討－都道府県の公式ホームページから発信される情報・資料を対象に－ 81pp. 2020 年 7 月発行
- 第 447 号 土のう構造体を用いた道路盛土の新たな耐震補強工法に関する実大震動台実験－地震災害後の道路の早期復旧と中長期的な維持に向けての検証－ 68pp. 2020 年 7 月発行
- 第 448 号 E-Defense を用いた実大 RC 橋脚 (C1-2 橋脚) 震動破壊実験研究報告書－主鉄筋段落としを有する RC 橋脚の耐震性に関する震動台実験－ 46pp. 2020 年 8 月発行
- 第 449 号 E-Defense を用いた実大 RC 橋脚 (C1-6 橋脚) 震動破壊実験研究報告書－ポリプロピレンファイバーコンクリートを用いた高耐震性能橋脚の開発－ 36pp. (2020 年 9 月発行予定)

| | | |
|---------|--------|------------------------------|
| －編集委員会－ | | 防災科学技術研究所研究資料 第 450 号 |
| (委員長) | 下川 信也 | |
| (委員) | | 令和 2 年 9 月 10 日発行 |
| 木村 武志 | 姫松 裕志 | 編集兼 国立研究開発法人 |
| 河合 伸一 | 三浦 伸也 | 発行者 防災科学技術研究所 |
| 山崎 文雄 | 平島 寛行 | 〒 305-0006 |
| 中村 いずみ | 川嶋 一浩 | 茨城県つくば市天王台 3-1 |
| (事務局) | | 電話 (029)863-7635 |
| 三浦 伸也 | 前田 佐知子 | http://www.bosai.go.jp/ |
| 池田 千春 | | 印刷所 前田印刷株式会社 |
| (編集・校正) | 樋山 信子 | 茨城県つくば市中 152-4 |

© National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience 2020

※防災科学技術研究所の刊行物については、ホームページ (<http://dil-opac.bosai.go.jp/publication/>) をご覧下さい。

令和元年東日本台風(台風第 19 号)による各県の被害概要および受援設備の整理

伊勢 正*・日高達也**・白田 裕一郎*

Overview of Damage and Equipment for Support-Receiving in Typhoon Hagibis in October 2019

Tadashi ISE*, Tatsuya HIDAKA**, and Yuichiro USUDA*

* Disaster Information Research Division,
National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience, Japan
t-ise@bosai.go.jp, usuyu@bosai.go.jp

** Disaster Information Research Division,
National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience, Japan
(Present: NIPPON KOEI CO., LTD)
a7007@n-koei.co.jp

Abstract

This paper covers the six affected prefectures (Miyagi prefecture, Fukushima prefecture, Tochigi prefecture, Saitama prefecture, Chiba prefecture, Nagano prefecture) that the Cabinet Office ISUT (Disaster Information Aggregation Support Team) dispatched in response to typhoon Hingis in 2019. The purpose is to sort out the damage situation in the prefecture and the facilities to be supported by disaster related organizations such as the government ministries and agencies, and to use it as a material for studying the future support system.

Key words: East Japan typhoon, Support-receiving equipment, ISUT

1. はじめに

近年、災害発生時における被災自治体への支援活動の枠組みが整備され、ある程度の被害が予想される場合には、支援要請を待たずに、各省庁や自治体が被災自治体に赴き、災害対応を支援することが一般的になっている。例えば、全国知事会¹⁾では、“大規模広域災害発生時において被災地支援の漏れ・落ち・輻輳を回避し、全国規模の広域応援を効率的かつ効果的に展開するためには、国や都道府県、全国知事会事務局など関係機関相互の役割分担や発災時における支援活動の内容等について、実務レベルで一定の整理を行い、認識を共有しておく必要がある。”として、災害時における都道府県相互の支援

(対口支援)体制の強化を進めている。

このように、被災自治体に対する防災関係機関の支援活動が推進されている一方、こうした支援を受けるための受援のための機能については、共通の基準等が整備されていないのが現状である。

本稿は、こうした現状を踏まえ、令和元年 10 月に発生した東日本台風(台風第 19 号)の災害対応において、内閣府 ISUT (Information Support Team : 災害時情報集約支援チーム)²⁾が出動した被災 6 県(宮城県、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、長野県)を調査対象として、各被災自治体の被害概要および受援設備の概要を取りまとめることを目的とする。

なお、本稿は、国立研究開発法人 防災科学技術

* 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 防災情報研究部門

** 日本工営株式会社

研究所(防災科研)が令和元年度に発注した調査業務『令和元年台風 19 号災害における国からの受援に関する基本調査』の報告書をもとに、再編集したものである。また、本稿は各県の対応の是非を問うことを目標とするものではないため、受援のための設備等については、調査対象 6 県を特定できない記述として編集している。

2. 台風第 19 号の概要

気象庁の発表³⁾によると、10 月 6 日に南鳥島近海で発生した台風第 19 号は、マリアナ諸島を西に進み、一時大型で猛烈な台風が発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12 日 19 時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13 日 12 時に日本の東で温帯低気圧に変わった。台風第 19 号の接近・通過に伴い、広い範囲で大雨、暴風、高波、高潮となった。雨については、10 日から 13 日までの総降水量が、神奈川県箱根で 1,000 ミリに達し、東日本を中心に 17 地点で 500 ミリを超えた。特に静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方の多くの地点で 3, 6, 12, 24 時間降水量の観測史上 1 位の値を更新するなど記録的な大雨となった。この大雨について、10 月 12 日 15 時 30 分から順次、静岡県、神奈川県、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、長野県、茨城県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県、岩手県の 1 都 12 県に大雨特別警報が発表された。

この台風第 19 号による被害は甚大なものとなり、内閣府は ISUT を宮城県、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、長野県の 6 県に派遣している。

2019 年 11 月 1 日現在、14 都県の 390 市区町村に災害救助法が適用⁴⁾されており、東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)を超えて過去最大の適用となった。発生から約 4 カ月後の 2020 年(令和 2 年) 2 月 19 日、台風の名称としては 1977 年(昭和 52 年)の「沖永良部台風」以来 42 年ぶりに「令和元年東日本台風」と気象庁により命名された。

台風第 19 号の被災地の多くでは、10 月 24 日から大雨による災害も一連の災害と捉え、各機関からの応援を受け入れていることから、本業務ではこれら一連の災害(以降「台風第 19 号等災害」と呼ぶ)を調査対象とした。

3. 調査対象県の災害概要

3.1 気象の概要

台風第 19 号および 10 月 24 日から大雨に関連する気象の概況を、令和 2 年 2 月 12 日 9 時時点の内閣府の発表をもとに以下に示す。

台風 19 号関連の概況

- 台風第 19 号は 12 日 19 時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東地方を通過し、13 日未明に東北地方の東海上に抜けた。
- 台風本体の発達した雨雲や台風周辺の湿った空気の影響で、静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨となった。10 日からの総雨量は神奈川県箱根町で 1000 ミリに達し、東日本を中心に 17 地点で 500 ミリを超えた。この記録的な大雨により、12 日 15 時 30 分に静岡県、神奈川県、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、長野県の 7 都県に、12 日 19 時 50 分に茨城県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県の 5 県に、13 日 0 時 40 分に岩手県に特別警報を発表した。
- 東京都江戸川臨海では観測史上 1 位の値を超える最大瞬間風速 43.8 メートルを観測するなど、関東地方の 7 か所で最大瞬間風速 40 メートルを超える暴風となったほか、東日本から北日本にかけての広い範囲で非常に強い風を観測した。また、12 日には千葉県市原市で竜巻とみられる突風が発生した。

出典：令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について
(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)

10 月 24 日から大雨関連の概況

- 10 月 24 日から 26 日にかけて西日本から北日本の太平洋側沿岸に沿って低気圧が進み、この低気圧に向けて南から暖かく湿った空気が流れ込むとともに、日本の東海上にあった台風第 21 号からも湿った空気が流れ込んで、大気の状態が非常に不安定となった。これにより関東地方から東北地方の太平洋側を中心に広い範囲で総降水量が 100 ミリを超え、特に千葉県や福島県を中心に 200 ミリを超える記録的な大雨となった。

出典：令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について
(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)

3.2 災害の概要

令和2年2月12日9時時点の内閣府の発表によると、台風第19号等災害では、1都1道2府34県で人的・物的被害が生じた。人的・物的被害の内訳を表1、その他の主な被害を表2に示す。また、台風第19号の影響による河川被害を図1に示す。

表1 人的・物的被害の内訳(1都1道2府34県)

Table 1 Breakdown of human and property damage.

| | | | |
|-------|---------|---------|------|
| 人的被害 | 死者 | 99人 | |
| | うち災害関連死 | 2人 | |
| | 行方不明者 | 3人 | |
| | 負傷者 | 重傷 | 40人 |
| | | 軽傷 | 341人 |
| 住家被害 | 全壊 | 3,280棟 | |
| | 半壊 | 29,638棟 | |
| | 一部破損 | 35,067棟 | |
| | 床上浸水 | 7,837棟 | |
| | 床下浸水 | 23,092棟 | |
| 非住家被害 | 公共建物 | 187棟 | |
| | その他 | 13,550棟 | |

出典：令和元年台風第19号等に係る被害状況等について
(令和2年2月12日 内閣府非常災害対策本部)

表2 その他の主な被害(全国)

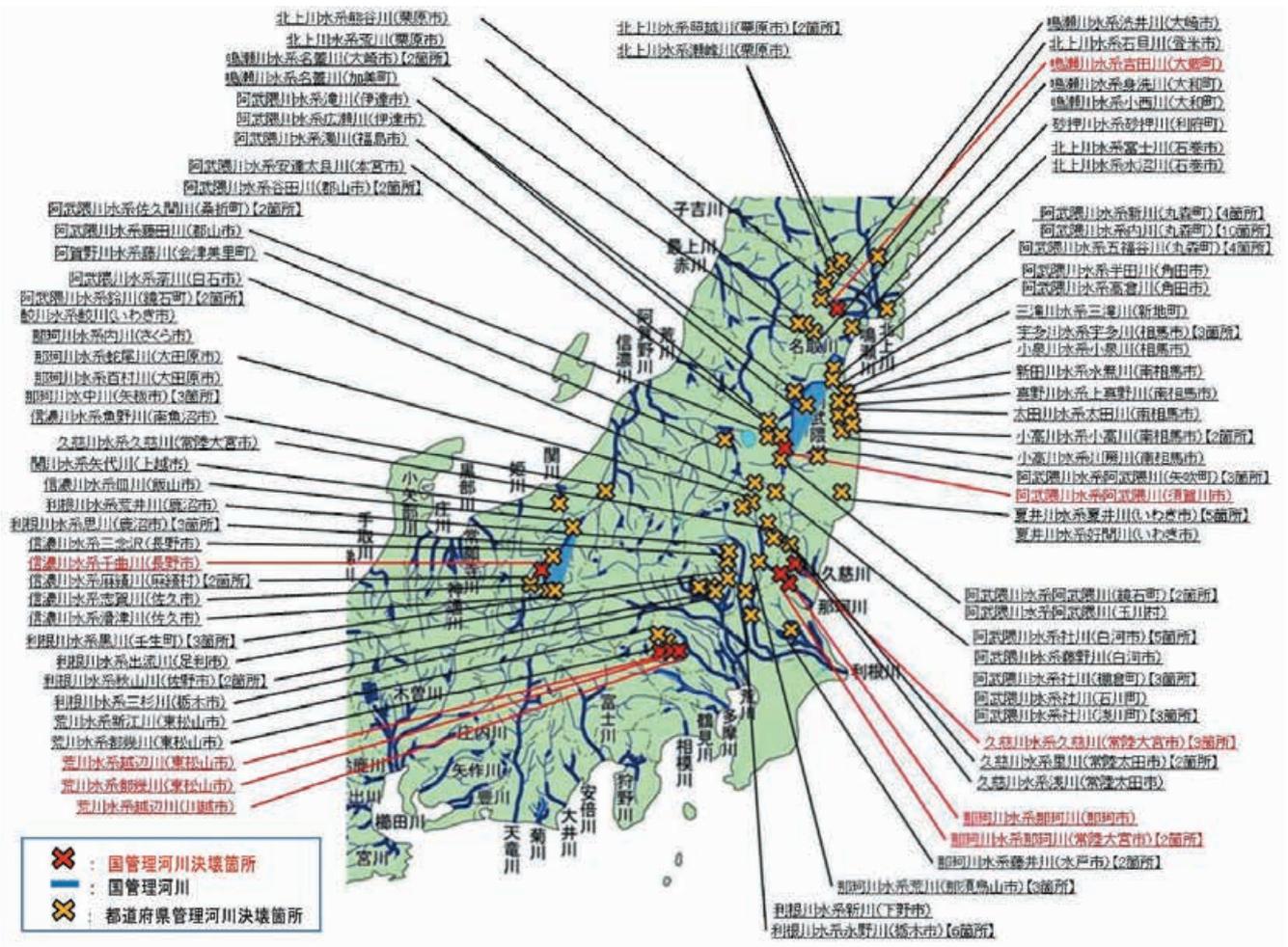
Table 2 Other major damage (nationwide).

| 項目 | 資料 | 台風19号 | 10月25日からの大雨 |
|-----------|----|--|---|
| 国管理河川 | 1 | 7河川12箇所にて堤防決壊 | 一般被害なし |
| 都道府県管理河川 | 1 | 67河川128箇所にて堤防決壊 | 34河川で一般被害あり |
| 土石流等 | 1 | 407件 | なし |
| 地すべり | 1 | 44件 | 1件 |
| がけ崩れ | 1 | 501件 | 196件 |
| 高速道路 | 2 | 最大13路線15区間で被災 (10/13 4:30・10:30時点) [※] | 最大3路線3区間で被災 (10/26 4:00時点) [※] |
| 直轄国道 | 2 | 最大21路線46区間で被災 (10/13 16:00時点) [※] | 1路線1区間で被災 |
| 補助国道 | 2 | 最大41路線74区間で被災 (10/14 6:30時点) [※] | 最大5路線6区間で被災 (10/26 4:00時点) [※] |
| 都道府県・政令市道 | 2 | 最大427区間で被災(10/14 10:00時点) [※] | 最大69区間で被災(10/26 4:00時点) [※] |
| 鉄道施設 | 2 | 最大19事業者79箇所にて被災 (10/15 3:00時点) [※] | 最大3事業者6路線にて被災 (10/26 14:00時点) [※] |
| 空港基本施設 | 2 | 被災なし | 被災なし |
| 電力 | 1 | 最大521,540戸で停電 (10/13 0:00時点) | 最大約30,000戸で停電 (10/25 17:20時点) |
| 水道 | 1 | 最大約167,986戸で断水 | 最大約5,100戸で断水 |
| 下水処理場 | 1 | 17箇所にて機能停止 | 1箇所にて機能停止 |
| ポンプ場 | 1 | 31箇所にて機能停止 | 3箇所にて機能停止 |

資料1：令和元年台風第19号等に係る被害状況等について(令和2年2月12日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料2：令和元年台風第19号等による被害状況等について(第1～53報)(令和元年10月12日～令和2年2月12日国土交通省)をもとに作成

※：資料2に従い、その時点までに確認された被災数から、その時点で復旧済みの箇所を引いた数を掲載した。



出典:台風 19 号による被災状況と今後の対応について(令和元年 11 月 27 日 国土交通省)⁵⁾

図 1 台風 19 号の影響による河川の被害状況
Fig. 1 Damage to rivers due to typhoon No.19.

4. 被災6県の基礎資料の収集整理

4.1 災害の基本情報

令和2年2月12日9時時点の内閣府の発表等をもとに、被災6県の災害の基本情報を整理した。人的・物的被害の内訳を表3、その他の主な被害を表4～9に示す。

また、各県の災害対策本部会議資料等から、被害状況の詳細が分かる図面等を収集した。収集した図面等は巻末資料として整理した。なお、各県の災害対策本部会議資料等には、すべての被害状況が示されている訳ではないことに注意が必要である。

表3 人的・物的被害の内訳(被災6県)

Table 3 Breakdown of human and property damage (effected 6 prefectures).

| 項目 | | 宮城県 | 福島県 | 栃木県 | 埼玉県 | 千葉県 | 長野県 |
|-------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 人的被害 | 死者 | 19人 | 32人 | 4人 | 4人 | 12人 | 5人 |
| | うち災害関連死 | － | － | － | 1人 | － | － |
| | 行方不明者 | 2人 | － | － | － | － | － |
| | 負傷者 | 8人 | 1人 | 4人 | 1人 | 2人 | 5人 |
| | 軽傷 | 35人 | 58人 | 19人 | 32人 | 28人 | 39人 |
| 住家被害 | 全壊 | 304棟 | 1,470棟 | 84棟 | 134棟 | 65棟 | 916棟 |
| | 半壊 | 2,974棟 | 12,454棟 | 5,205棟 | 541棟 | 1,909棟 | 2,496棟 |
| | 一部破損 | 2,718棟 | 6,868棟 | 8,314棟 | 699棟 | 6,182棟 | 3,463棟 |
| | 床上浸水 | 1,587棟 | 1,158棟 | 2棟 | 2,370棟 | 469棟 | 8棟 |
| | 床下浸水 | 12,300棟 | 446棟 | 408棟 | 3,388棟 | 884棟 | 1,419棟 |
| 非住家被害 | 公共建物 | 17棟 | 42棟 | 14棟 | － | － | 24棟 |
| | その他 | 61棟 | 8,608棟 | 1,098棟 | 105棟 | 23棟 | 937棟 |

出典：令和元年台風第19号等に係る被害状況等について(令和2年2月12日内閣府非常災害対策本部)

表4 その他の主な被害(宮城県)

Table 4 Other major damage (Miyagi Pref.).

| 項目 | 資料 | 台風19号 | 10月25日からの大雨 |
|-----------|-----|--|-------------------------------------|
| 国管理河川 | 2,3 | 吉田川の1箇所にて堤防決壊(黒川郡大郷町粕川地先) | 一般被害なし |
| 都道府県管理河川 | 2,3 | 18河川36箇所にて堤防決壊 | 2河川で越水 |
| 土石流等 | 2 | 146件(死者4名,行方不明者1名,全壊3戸,半壊1戸,一部損壊45戸) | なし |
| 地すべり | 2 | なし | なし |
| がけ崩れ | 2 | 108件(死者1名,全壊6戸,半壊5戸,一部損壊22戸) | なし |
| 高速道路 | 4 | 最大2区間で被災(10/13 10:30・16:30時点) [※] | 被災なし |
| 直轄国道 | 4 | 最大9区間で被災(10/13 16:30時点) [※] | 被災なし |
| 補助国道 | 4 | 最大17区間で被災(10/14 6:30時点) [※] | 1区間で被災 |
| 都道府県・政令市道 | 4 | 最大50区間で被災(10/13 16:30・10/14 6:30時点) [※] | 最大6区間で被災(10/26 4:00時点) [※] |
| 鉄道施設 | 4 | (詳細情報入手できず) | (詳細情報入手できず) |
| 電力 | 1 | 約9,800戸で停電(10/13 5:00時点) | (詳細情報入手できず) |
| 水道 | 2 | 最大4,144戸で断水 | 最大約300戸で断水 |
| 下水処理場 | 2 | 1箇所にて機能停止(浸水) | 被災なし |
| ポンプ場 | 2 | 10箇所にて機能停止(浸水) | 被災なし |

資料1：令和元年台風第19号による被害・対応状況について(令和元年10月13日経済産業省)をもとに作成

資料2：令和元年台風第19号等に係る被害状況等について(令和2年2月12日内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料3：令和元年台風第19号等による被害状況等について(第53報)(令和2年2月12日国土交通省)をもとに作成

資料4：令和元年台風第19号等による被害状況等について(第1～53報)(令和元年10月12日～令和2年2月12日国土交通省)をもとに、その時点までに確認された被災数から、その時点で復旧済みの箇所を引いた数を掲載した。

表 5 その他の主な被害(福島県)
Table 5 Other major damage (Fukushima Pref.).

| 項目 | 資料 | 台風 19 号 | 10 月 25 日からの大雨 |
|-----------|------|---|---|
| 国管理河川 | 2, 3 | 阿武隈川の 1 箇所にて堤防決壊(須賀川市浜尾地先) | 一般被害なし |
| 都道府県管理河川 | 2, 3 | 23 河川 49 箇所にて堤防決壊 | 3 河川で越水, 2 河川で溢水 |
| 土石流等 | 2 | 19 件(負傷者 1 名, 全壊 1 戸, 一部損壊 6 戸) | なし |
| 地すべり | 2 | なし | なし |
| がけ崩れ | 2 | 125 件(死者 3 名, 負傷者 1 名, 全壊 4 戸, 半壊 8 戸, 一部損壊 20 戸) | 8 件(負傷者 1 名, 全壊 1 戸, 一部損壊 3 戸) |
| 高速道路 | 4 | 最大 4 区間で被災(10/13 4:30・10:30 時点) [※] | 1 区間で被災 |
| 直轄国道 | 4 | 最大 11 区間で被災(10/13 10:30・16:30 時点) [※] | 被災なし |
| 補助国道 | 4 | 最大 15 区間で被災(10/13 16:30 時点) [※] | 最大 3 区間で被災(10/26 4:00 時点) [※] |
| 都道府県・政令市道 | 4 | 最大 51 区間で被災(10/14 10:00・15:00 時点) [※] | 最大 11 区間で被災(10/26 15:00・10/27 7:00 時点) [※] |
| 鉄道施設 | 4 | (詳細情報入手できず) | (詳細情報入手できず) |
| 電力 | 1 | 約 17,200 戸で停電(10/13 5:00 時点) | (詳細情報入手できず) |
| 水道 | 2 | 最大約 76,856 戸で断水 | 最大 101 戸で断水 |
| 下水処理場 | 2 | 2 箇所にて機能停止(浸水) | 被災なし |
| ポンプ場 | 2 | 9 箇所にて機能停止(浸水) | 1 箇所にて機能停止(浸水) |

資料 1: 令和元年台風第 19 号による被害・対応状況について(令和元年 10 月 13 日 経済産業省)をもとに作成
 資料 2: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成
 資料 3: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成
 資料 4: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 1～53 報)(令和元年 10 月 12 日～令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに, その時点までに確認された被災数から, その時点で復旧済みの箇所を引いた数を掲載した。

表 6 その他の主な被害(栃木県)
Table 6 Other major damage (Tochigi Pref.).

| 項目 | 資料 | 台風 19 号 | 10 月 25 日からの大雨 |
|-----------|------|---|----------------|
| 国管理河川 | 2, 3 | 堤防決壊なし | 一般被害なし |
| 都道府県管理河川 | 2, 3 | 13 河川 27 箇所にて堤防決壊 | 一般被害なし |
| 土石流等 | 2 | 8 件(一部損壊 4 戸) | なし |
| 地すべり | 2 | なし | なし |
| がけ崩れ | 2 | 28 件(負傷者 1 名, 半壊 2 戸, 一部損壊 9 戸) | なし |
| 高速道路 | 4 | 被災なし | 被災なし |
| 直轄国道 | 4 | 最大 3 区間で被災(10/13 4:30 時点) [※] | 被災なし |
| 補助国道 | 4 | 最大 2 区間で被災(10/13 10:30 時点) [※] | 被災なし |
| 都道府県・政令市道 | 4 | 最大 58 区間で被災(10/13 10:30・16:30・10/14 6:30 時点) [※] | 1 区間で被災 |
| 鉄道施設 | 4 | (詳細情報入手できず) | 被災なし |
| 電力 | 1 | 約 10,900 戸で停電(10/13 5:00 時点) | (詳細情報入手できず) |
| 水道 | 2 | 最大 13,183 戸で断水 | 断水なし |
| 下水処理場 | 2 | 3 箇所にて機能停止(浸水) | 被災なし |
| ポンプ場 | 2 | 被災なし | 被災なし |

資料 1: 令和元年台風第 19 号による被害・対応状況について(令和元年 10 月 13 日 経済産業省)をもとに作成
 資料 2: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成
 資料 3: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成
 資料 4: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 1～53 報)(令和元年 10 月 12 日～令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに, その時点までに確認された被災数から, その時点で復旧済みの箇所を引いた数を掲載した。

表 7 その他の主な被害(埼玉県)
Table 7 Other major damage (Saitama Pref.).

| 項目 | 資料 | 台風 19 号 | 10 月 25 日からの大雨 |
|---------------|------|---|----------------|
| 国管理河川 | 2, 3 | 越辺川の 2 箇所にて堤防決壊(川越市平塚新田地先, 東松山市正代地先) 都幾川の 1 箇所にて堤防決壊(東松山市早俣地先) | 一般被害なし |
| 都道府県 管理河川 | 2, 3 | 2 河川 2 箇所にて堤防決壊 | 1 河川で溢水 |
| 土石流等 | 2 | 1 件(人的被害・人家被害なし) | なし |
| 地すべり | 2 | 3 件(人的被害・人家被害なし) | なし |
| がけ崩れ | 2 | 24 件(全壊 1 戸, 一部損壊 2 戸) | なし |
| 高速道路 | 4 | 1 区間で被災 | 被災なし |
| 直轄国道 | 4 | 最大 3 区間で被災(10/13 4:30・10:30 時点) [※] | 被災なし |
| 補助国道 | 4 | 最大 9 区間で被災(10/13 16:30 時点) [※] | 被災なし |
| 都道府県・ 政令市道 | 4 | 最大 59 区間で被災(10/13 10:30・16:30・10/14 6:30・10:00 時点) [※] | 被災なし |
| 鉄道施設 | 4 | (詳細情報入手できず) | (詳細情報入手できず) |
| 電力 | 1 | 約 5,700 戸で停電(10/13 5:00 時点) | (詳細情報入手できず) |
| 水道 | 2 | 最大 1,727 戸で断水 | 断水なし |
| 下水処理場 | 2 | 被災なし | 被災なし |
| ポンプ場 | 2 | 3 箇所にて機能停止(浸水) | 被災なし |

資料 1: 令和元年台風第 19 号による被害・対応状況について(令和元年 10 月 13 日 経済産業省)をもとに作成
 資料 2: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成
 資料 3: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成
 資料 4: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 1～53 報)(令和元年 10 月 12 日～令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに、その時点までに確認された被災数から、その時点で復旧済みの箇所を引いた数を掲載した。

表 8 その他の主な被害(千葉県)
Table 8 Other major damage (Chiba Pref.).

| 項目 | 資料 | 台風 19 号 | 10 月 25 日からの大雨 |
|---------------|------|---|---|
| 国管理河川 | 2, 3 | 堤防決壊なし | 一般被害なし |
| 都道府県 管理河川 | 2, 3 | 堤防決壊なし | 16 河川で溢水, 3 河川で内水氾濫, 3 河川で溢水・ 内水氾濫 |
| 土石流等 | 2 | なし | なし |
| 地すべり | 2 | なし | 1 件(人的被害・人家被害なし) |
| がけ崩れ | 2 | 2 件(人的被害・人家被害なし) | 155 件(死者 4 名, 全壊 10 戸, 半壊 2 戸, 一部損 壊 26 戸) |
| 高速道路 | 4 | 1 区間で被災 | 1 区間で被災 |
| 直轄国道 | 4 | 1 区間で被災 | 1 区間で被災 |
| 補助国道 | 4 | 最大 5 区間で被災(10/14 6:30 時点) [※] | 最大 2 区間で被災(10/26 4:00 時点) [※] |
| 都道府県・ 政令市道 | 4 | 最大 10 区間で被災(10/14 10:00・15:00・ 10/15 4:00 時点) [※] | 最大 25 区間で被災(10/26 15:00 時点) [※] |
| 鉄道施設 | 4 | (詳細情報入手できず) | (詳細情報入手できず) |
| 電力 | 1 | 約 121,100 戸で停電(10/13 5:00 時点) | (詳細情報入手できず) |
| 水道 | 2 | 最大 2,310 戸で断水 | 最大 4,699 戸で断水 |
| 下水処理場 | 2 | 被災なし | 1 箇所にて機能停止(浸水) |
| ポンプ場 | 2 | 被災なし | 2 箇所にて機能停止(浸水) |

資料 1: 令和元年台風第 19 号による被害・対応状況について(令和元年 10 月 13 日 経済産業省)をもとに作成
 資料 2: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成
 資料 3: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成
 資料 4: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 1～53 報)(令和元年 10 月 12 日～令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに、その時点までに確認された被災数から、その時点で復旧済みの箇所を引いた数を掲載した。

表 9 その他の主な被害(長野県)
Table 9 Other major damage (Nagano Pref.).

| 項目 | 資料 | 台風 19 号 | 10 月 25 日からの大雨 |
|---------------|------|--|--|
| 国管理河川 | 2, 3 | 千曲川の 1 箇所ですて堤防決壊(長野市穂保地先) | 一般被害なし |
| 都道府県 管理河川 | 2, 3 | 5 河川 6 箇所ですて堤防決壊 | 一般被害なし |
| 土石流等 | 2 | 40 件(全壊 4 戸, 半壊 17 戸, 一部損壊 1 戸) | なし |
| 地すべり | 2 | 5 件(人的被害・人家被害なし) | なし |
| がけ崩れ | 2 | 16 件(全壊 1 戸, 半壊 2 戸, 一部損壊 6 戸) | なし |
| 高速道路 | 4 | 最大 2 区間で被災(10/13 4:30・10:30・16:30 時点) [※] | 被災なし |
| 直轄国道 | 4 | 1 区間で被災 | 被災なし |
| 補助国道 | 4 | 最大 18 区間で被災(10/14 6:30・10:00 時点) [※] | 被災なし |
| 都道府県・ 政令市道 | 4 | 最大 48 区間で被災(10/14 10:00・15:00 時点) [※] | 最大 3 区間で被災 (10/26 4:00 時点) [※] |
| 鉄道施設 | 4 | (詳細情報入手できず) | (詳細情報入手できず) |
| 電力 | 1 | 約 60,380 戸で停電(10/13 5:00 時点) | (詳細情報入手できず) |
| 水道 | 2 | 最大 5,097 戸で断水 | 断水なし |
| 下水処理場 | 2 | 5 箇所ですて機能停止(浸水) | 被災なし |
| ポンプ場 | 2 | 7 箇所ですて機能停止(浸水) | 被災なし |

資料 1：令和元年台風第 19 号による被害・対応状況について(令和元年 10 月 13 日 経済産業省)をもとに作成

資料 2：令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 3：令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成

資料 4：令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 1～53 報)(令和元年 10 月 12 日～令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに、その時点までに確認された被災数から、その時点で復旧済みの箇所を引いた数を掲載した。

4.2 受援に関する情報

令和 2 年 2 月 12 日 9 時時点の内閣府の発表等をもとに、被災 6 県の受援に関する情報を整理した。

受け入れた府省庁のうち、主な部隊・職員の人数等、期間、受援の内容を表 10～15 に示す。

なお、参照する資料により記載されている情報が異なることがあったことから、ここで整理した情報が必ずしも正確なもの、漏れのないものになっているとは限らないことに注意が必要である。ここでは、表中に示す資料に従って各情報を整理している。

表 10 受援に関する情報(宮城県)
Table 10 Information about Support-receiving (Miyagi Pref.).

| 府省庁 | 資料 | 部隊・職員の数等 | 期間 | 受援の内容 |
|-------|----|------------------------------------|----------------|--|
| 内閣府 | — | ISUT 派遣 | — | 災害対策本部等への業務支援 |
| 警察庁 | 2 | 警察ヘリ | 10/14 ~ 18, 26 | 被害情報の収集 |
| | 2 | 警察ヘリ | 10/13 ~ 15 | ホイスト救出 |
| 消防庁 | 2 | 職員 2 人派遣 | 10/13 ~ | 県庁へ派遣 |
| | 2 | 職員 2 人派遣 | 10/13 ~ | 仙南地域広域行政事務組合消防本部へ派遣 |
| 消防庁 | 2 | 緊急消防援助隊(陸上) 延べ 611 隊 2,156 人 | 10/13 ~ 18 | — |
| | 2 | 緊急消防援助隊(航空ヘリ) 延べ 20 隊 138 人 | 10/13 ~ 18 | — |
| | 2 | 緊急消防援助隊(航空後方支援) 延べ 12 隊 29 人 | 10/13 ~ 18 | — |
| 防衛省 | 2 | 陸上自衛隊 | 10/12 ~ (要請) | 人命救助, 孤立者救助 |
| 海上保安庁 | 3 | ヘリコプター | — | 孤立者救助 |
| 国土交通省 | 3 | TEC-FORCE(リエゾン) 延べ 251 人派遣 | 10/11 ~ 11/26 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン: 非常駐) 延べ 803 人派遣 | 11/2 ~ 12/3 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(JETT) 延べ 124 人派遣 | 10/11 ~ 11/22 | 気象等の解説 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン以外) 延べ 2451 人派遣 | 10/13 ~ 12/6 | 応急対策, 被災状況調査, 高度技術指導, 情報通信, 現地司令部, 広報撮影等 |
| | 3 | 散水車 | 10/16 ~ 11/8 | 路面清掃 |
| | 3 | 側溝清掃車 | 10/16 ~ 11/4 | 路面清掃 |
| | 3 | 路面清掃車 | 10/16 ~ 11/4 | 路面清掃 |
| | 3 | 排水ポンプ車 | 10/12 ~ 12/26 | 内水排除 |
| | 3 | 照明車 | 10/12 ~ 12/24 | 夜間作業支援 |
| | 3 | 待機支援車 | 10/13 ~ 11/8 | 後方支援 |
| | 3 | 対策本部車 | 10/16 ~ 12/3 | 後方支援 |
| 厚生労働省 | 1 | DMAT 最大 17 隊 | 10/13 ~ 11/1 | 本部活動, 搬送支援 |
| 総務省 | 2 | リエゾン派遣 | 10/8 ~ | 通信確保, 人的支援 |
| | 2 | 公務員部職員等 | 10/13 ~ | 現地での情報収集 |
| | 2 | 対口支援団体延べ 3,211 人 | 10/15 ~ 12/4 | 避難所運営・罹災証明書交付業務等の支援 |
| | 2 | 特別行政相談所 7 箇所 | 10/26 ~ | 被災者からの相談・問い合わせ対応 |

資料 1: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和元年 10 月 12 日~令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 2: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 3: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成

表 11 受援に関する情報(福島県)
Table 11 Information about Support-receiving (Fukushima Pref.).

| 府省庁 | 資料 | 部隊・職員の人数等 | 期間 | 受援の内容 |
|-------|----|------------------------------------|----------------------------|--|
| 内閣府 | — | ISUT 派遣 | — | 災害対策本部等への業務支援 |
| 警察庁 | 2 | 警察ヘリ | 10/13 ~ 16, 18, 20, 21, 23 | 被害情報の収集 |
| | 2 | 警察ヘリ | 10/13 ~ 14 | ホイスト救出 |
| 消防庁 | 2 | 職員 2 人派遣 | 10/13 ~ | 県庁へ派遣 |
| | 2 | 職員 2 人派遣 | 10/13 ~ | 福島空港へ派遣 |
| | 2 | 緊急消防援助隊(航空ヘリ) 延べ 11 隊 80 人 | 10/13 ~ 16 | — |
| | 2 | 緊急消防援助隊(航空後方支援) 延べ 4 隊 8 人 | 10/13 ~ 16 | — |
| 防衛省 | 2 | 陸上自衛隊 | 10/12 ~ (要請) | 孤立者救助, 行方不明者探索 |
| | 2 | 陸上自衛隊 | 10/26 ~ (要請) | 行方不明者探索 |
| 海上保安庁 | 2 | 巡視船 | 10/18 ~ 21 | 給水支援 |
| 国土交通省 | 3 | TEC-FORCE(リエゾン) 延べ 531 人派遣 | 10/11 ~ 11/29 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン: 非常駐) 延べ 984 人派遣 | 11/2 ~ 12/3 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(JETT) 延べ 163 人派遣 | 10/11 ~ 12/27 | 気象等の解説 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン以外) 延べ 2,965 人派遣 | 10/13 ~ 12/6 | 支援物資の輸送・保管に係る調整, 被災状況調査, 高度技術指導, 応急対策等 |
| | 3 | 散水車 | 10/16 ~ 11/8 | 路面清掃 |
| | 3 | 路面清掃車 | 10/14 ~ 11/8 | 路面清掃 |
| | 3 | 排水ポンプ車 | 10/11 ~ 12/26 | 内水排除 |
| | 3 | 照明車 | 10/12 ~ 12/6 | 夜間作業支援 |
| | 3 | 待機支援車 | 10/25 ~ 11/7 | 後方支援 |
| | 3 | 対策本部車 | 10/13 ~ 12/6 | 後方支援 |
| | 3 | 衛星通信車 | 10/15 ~ 11/7 | 映像受信 |
| | 3 | Ku-SAT | 10/15 ~ 11/9 | 映像伝送・受信 |
| 厚生労働省 | 2 | 職員派遣 | 10/13 ~ 11/15 | 県庁へ派遣 |
| | 1 | DMAT 最大 9 隊 | 10/13 ~ 11/5 | 本部活動, 本部支援, 搬送支援, 病院支援, 施設支援 |
| 総務省 | 2 | リエゾン派遣 | 10/8 ~ | 通信確保, 人的支援 |
| | 2 | 公務員部職員等 | 10/13 ~ | 現地での情報収集 |
| | 2 | 総括支援チーム延べ 251 人 | 10/14 ~ 12/7 | 災害マネジメントの支援 |
| | 2 | 対口支援団体延べ 3,614 人 | 10/16 ~ 12/27 | 避難所運営・罹災証明書交付業務等の支援 |
| | 2 | 特別行政相談所 8 箇所 | 10/30 ~ | 被災者からの相談・問い合わせ対応 |
| | 2 | 移動電源車 | 10/14 ~ 18 | 電源確保 |

資料 1: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和元年 10 月 12 日~令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 2: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 3: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成

表 12 受援に関する情報(栃木県)
Table 12 Information about Support-receiving (Tochigi Pref.).

| 府省庁 | 資料 | 部隊・職員の人数等 | 期間 | 受援の内容 |
|-------|----|------------------------------------|---------------|----------------------------------|
| 内閣府 | － | ISUT 派遣 | － | 災害対策本部等への業務支援 |
| 警察庁 | 2 | 警察ヘリ | 10/13, 15 | 被害情報の収集 |
| 消防庁 | 2 | 職員 1 人派遣 | 10/13 ～ | 県庁へ派遣 |
| 防衛省 | 2 | 陸上自衛隊 | 10/12 ～(要請) | 人命救助, 資材輸送, 行方不明者探索, 孤立者救助, 給水支援 |
| 国土交通省 | 3 | TEC-FORCE(リエゾン) 延べ 120 人派遣 | 10/11 ～ 11/15 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン: 非常駐) 延べ 316 人派遣 | 10/15 ～ 12/17 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(JETT) 延べ 41 人派遣 | 10/10 ～ 11/8 | 気象等の解説 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン以外) 延べ 811 人派遣 | 10/12 ～ 12/17 | 応急対策, 被災状況調査, 輸送支援等 |
| | 3 | 散水車 | 10/16 ～ 11/3 | 路面清掃 |
| | 3 | 側溝清掃車 | 10/16 ～ 11/8 | 路面清掃 |
| | 3 | 路面清掃車 | 10/16 ～ 11/8 | 路面清掃 |
| | 3 | 排水ポンプ車 | 10/12 ～ 12/26 | 内水排除 |
| | 3 | 照明車 | 10/12 ～ 10/13 | 夜間作業支援 |
| 厚生労働省 | 1 | DMAT 最大 12 隊 | 10/12 ～ 19 | 本部活動, 搬送支援, 病院支援 |
| 総務省 | 2 | リエゾン派遣 | 10/8 ～ | 通信確保, 人的支援 |
| | 2 | 公務員部職員等 | 10/13 ～ | 現地での情報収集 |
| | 2 | 総括支援チーム延べ 206 人 | 10/14 ～ 11/13 | 災害マネジメントの支援 |
| | 2 | 対口支援団体延べ 836 人 | 10/18 ～ 11/12 | 避難所運営・罹災証明書交付業務等の支援 |
| | 2 | 特別行政相談所 1 箇所 | 10/24 | 被災者からの相談・問い合わせ対応 |

資料 1: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和元年 10 月 12 日～令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 2: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 3: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成

表 13 受援に関する情報(埼玉県)
Table 13 Information about Support-receiving (Saitama Pref.).

| 府省庁 | 資料 | 部隊・職員の人数等 | 期間 | 受援の内容 |
|-------|----|------------------------------------|---------------|--|
| 内閣府 | — | ISUT 派遣 | — | 災害対策本部等への業務支援 |
| 警察庁 | 2 | 警察ヘリ | 10/13 | 被害情報の収集 |
| | 2 | 広域緊急援助隊 | 10/13 ~ 23 | — |
| | 2 | 特別生活安全部隊 | 10/17 ~ 11/18 | — |
| 消防庁 | 2 | 職員 1 人派遣 | 10/13 ~ | 県庁へ派遣 |
| 防衛省 | 2 | 陸上自衛隊 | 10/13 ~ (要請) | 給水支援 |
| 国土交通省 | 3 | TEC-FORCE(リエゾン) 延べ 164 人派遣 | 10/11 ~ 11/15 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン: 非常駐) 延べ 880 人派遣 | 10/14 ~ 12/17 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(JETT) 延べ 137 人派遣 | 10/12 ~ 12/23 | 気象等の解説 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン以外) 延べ 1967 人派遣 | 10/12 ~ 11/25 | 土砂排除現地調査, 応急対策, 広報, ロジスティクス, 被災状況調査, 高度技術指導等 |
| | 3 | 散水車 | 10/18 ~ 10/24 | 路面清掃 |
| | 3 | 側溝清掃車 | 10/18 ~ 10/24 | 路面清掃 |
| | 3 | 排水ポンプ車 | 10/11 ~ 12/26 | 内水排除 |
| | 3 | 照明車 | 10/11 ~ 11/8 | 夜間作業支援 |
| | 3 | 待機支援車 | 10/14 ~ 11/19 | 後方支援 |
| | 3 | 対策本部車 | 10/11 ~ 11/20 | 後方支援 |
| | 3 | Ku-SAT | 10/14 ~ 11/1 | 映像伝送 |
| 厚生労働省 | 1 | DMAT 最大 18 隊 | 10/13, 14 | 本部活動 |
| 総務省 | 2 | リエゾン派遣 | 10/8 ~ | 通信確保, 人的支援 |
| | 2 | 公務員部職員等 | 10/13 ~ | 現地での情報収集 |

資料 1: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和元年 10 月 12 日~令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 2: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 3: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成

表 14 受援に関する情報(千葉県)
Table 14 Information about Support-receiving (Chiba Pref.).

| 府省庁 | 資料 | 部隊・職員の数等 | 期間 | 受援の内容 |
|-------|----|-------------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| 内閣府 | － | ISUT 派遣 | － | 災害対策本部等への業務支援 |
| 警察庁 | 2 | 警察ヘリ | 10/13, 15 ～ 19, 26 ～ 28 | 被害情報の収集 |
| 防衛省 | 2 | 陸上自衛隊 | 10/13 ～(要請) | 避難支援 |
| | 2 | 陸上自衛隊 | 10/25 ～(要請) | 人命救助 |
| 国土交通省 | 3 | TEC-FORCE(リエゾン) 延べ 357 人派遣 | 10/10 ～ 11/15 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン: 非常駐) 延べ 1378 人派遣 | 10/10 ～ 12/17 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(JETT) 延べ 50 人派遣 | 10/10 ～ 11/5 | 気象等の解説 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン以外) 延べ 988 人派遣 | 10/12 ～ 12/6 | 被災状況調査, 応急対策, ロジスティクス, 高度技術指導等 |
| | 3 | 散水車 | 10/16 ～ 11/19 | 路面清掃 |
| | 3 | 側溝清掃車 | 10/16 ～ 11/2 | 路面清掃 |
| | 3 | 路面清掃車 | 10/16 ～ 11/19 | 路面清掃 |
| | 3 | 排水ポンプ車 | 10/11 ～ 12/26 | 内水排除 |
| | 3 | 照明車 | 10/11 ～ 11/25 | 夜間作業支援 |
| | 3 | 対策本部車 | 10/17 ～ 10/28 | 後方支援 |
| | 3 | Ku-SAT | 10/26 ～ 10/29 | 映像伝送 |
| 厚生労働省 | 1 | DMAT 最大 17 隊 | 10/12 ～ 14 | 本部活動 |
| 総務省 | 2 | リエゾン派遣 | 10/8 ～ | 通信確保, 人的支援 |
| | 2 | 公務員部職員等 | 台風 15 号～ | 現地での情報収集 |
| | 2 | 対口支援団体延べ 309 人 | 10/28 ～ 11/21 | 避難所運営・罹災証明書交付業務等の支援 |

資料 1: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和元年 10 月 12 日～令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 2: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 3: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成

表 15 受援に関する情報(長野県)
Table 15 Information about Support-receiving (Nagano Pref.).

| 府省庁 | 資料 | 部隊・職員の人数等 | 期間 | 受援の内容 |
|-------|-------|------------------------------------|-----------------------|----------------------------------|
| 内閣府 | — | ISUT 派遣 | — | 災害対策本部等への業務支援 |
| 警察庁 | 2 | 警察ヘリ | 10/13, 14, 19, 23, 24 | 被害情報の収集 |
| | 2 | 警察ヘリ | 10/13 ~ 14 | ホイスト救出 |
| 消防庁 | 2 | 職員 6 人派遣 | 10/13 ~ | 県庁へ派遣 |
| | 2 | 職員 2 人派遣 | 10/13 ~ | 長野市消防局へ派遣 |
| | 2 | 職員 1 人派遣 | 10/13 ~ | 松本空港へ派遣 |
| | 2 | 緊急消防援助隊(陸上) 延べ 143 隊 515 人 | 10/13 ~ 15 | — |
| | 2 | 緊急消防援助隊(航空ヘリ) 延べ 8 隊 52 人 | 10/13, 14 | — |
| 防衛省 | 2 | 陸上自衛隊 | 10/12 ~ (要請) | 人命救助, 水防活動 |
| 海上保安庁 | 3 | ヘリコプター | — | 孤立者救助 |
| 国土交通省 | 3 | TEC-FORCE(リエゾン) 延べ 351 人派遣 | 10/11 ~ 11/29 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン: 非常駐) 延べ 501 人派遣 | 11/2 ~ 12/17 | 情報収集, 支援内容の調整等 |
| | 3 | TEC-FORCE(JETT) 延べ 222 人派遣 | 10/10 ~ 11/29 | 気象等の解説 |
| | 3 | TEC-FORCE(リエゾン以外) 延べ 2,619 人派遣 | 10/13 ~ 12/6 | 応急対策, 高度技術指導, 被災状況調査, 広報, 現地司令部等 |
| | 3 | 散水車 | 10/26 ~ 11/11 | 路面清掃 |
| | 3 | 側溝清掃車 | 10/16 ~ 11/13 | 路面清掃 |
| | 3 | 路面清掃車 | 10/16 ~ 11/1 | 路面清掃 |
| | 3 | 排水ポンプ車 | 10/12 ~ 12/26 | 内水排除 |
| | 3 | 照明車 | 10/12 ~ 12/26 | 夜間作業支援 |
| | 3 | 対策本部車 | 10/13 ~ 11/7 | 後方支援 |
| | 3 | 衛星通信車 | 10/12 ~ 11/2 | 映像伝送 |
| | 3 | Ku-SAT | 10/12 ~ 11/3 | 映像伝送 |
| | 厚生労働省 | 2 | 職員派遣 | 10/13 ~ 11/15 |
| 1 | | DMAT 最大 22 隊 | 10/13 ~ 11/1 | 本部活動, 搬送支援, 病院支援, 施設支援 |
| 総務省 | 2 | リエゾン派遣 | 10/8 ~ | 通信確保, 人的支援 |
| | 2 | 公務員部職員等 | 10/13 ~ | 現地での情報収集 |
| | 2 | 総括支援チーム延べ 95 人 | 10/14 ~ 11/5 | 災害マネジメントの支援 |
| | 2 | 対口支援団体延べ 777 人 | 10/16 ~ 11/12 | 避難所運営・罹災証明書交付業務等の支援 |
| | 2 | 特別行政相談所 1 箇所 | 11/13 | 被災者からの相談・問い合わせ対応 |
| | 2 | 移動電源車 | 10/13 ~ 11/22 | 電源確保 |

資料 1: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和元年 10 月 12 日~令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 2: 令和元年台風第 19 号等に係る被害状況等について(令和 2 年 2 月 12 日 内閣府非常災害対策本部)をもとに作成

資料 3: 令和元年台風第 19 号等による被害状況等について(第 53 報)(令和 2 年 2 月 12 日 国土交通省)をもとに作成

5. 被災県庁の受援設備に関するアンケート調査およびインタビュー調査

5.1 調査の方法

被災6県における受援の状況を把握するため、被災県庁の受援設備に関するアンケート調査およびインタビュー調査を行った。調査の方法および調査に使用した調査票を以下に示す。なお、1県については、調査にご協力いただけなかったため、調査票を送付していない。

| 調査の方法 |
|--|
| 方法：アンケート調査票をメールで送信し、回答をメールで受領した。その後、必要に応じて電話で聞き取り(インタビュー調査)を行った。 |
| 調査票送信日：令和2年5月15日 |
| 回答締切日：令和2年5月26日 |

| 調査票の内容 |
|--|
| 令和元年台風19号における国からの受援に関する調査のお願い |
| <p>本調査は、ISUTが出勤した被災6県(宮城県、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、長野県)を対象として、各被災県庁における国からの受援状況を把握するためのものです。貴庁の受援体制を評価するものではなく、円滑な受援および支援を実現するための検討材料を得ることを目的としています。</p> <p>下記の内容についてお伺いしますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、ご回答頂いた内容については、報告書にとりまとめたのち一般公開することを予定しています。一般公開前に、記載内容に問題がないかご確認頂く予定ですが、予め公開しても問題ない内容のみご回答頂ければと思います。</p> <p>【調査の内容・ご提供頂きたい資料について】</p> <p>① 受援に関する情報の確認(受け入れた府省庁、タイミング、職員の人数、受援内容など)</p> <p>○ 公開されている情報をもとに、こちらで受援に関する情報をまとめました。</p> <p>○ 受け入れた府省庁のうち、ここに記載がないものがありましたら、府省庁の名称、概ねのタイミング、職員の人数、受援内容などをお教えてください。</p> |

| 調査票の内容 |
|---|
| <p>② 受援に関する状況の確認(受け入れた府省庁と県との会議の履歴、データ授受方法など)</p> <p>○ 会議の履歴が残っている場合、可能であればご提供ください。</p> <p>○ 履歴が残っていない場合は、概ねのタイミング、頻度などをお教えてください。</p> <p>○ 受け入れた府省庁とどのような方法でデータ授受を行ったかお教えてください(地図などの大判印刷の授受はできたか、必要性はなかったか、など)。</p> <p>③ 受援設備の確認(場所、広さ、机、席、プリンターの状況など)</p> <p>○ リエゾンルームの場所、広さ、机数、席数、プリンターの数をお教えてください。</p> <p>○ 可能であれば、リエゾンルームの平面図をご提供ください。</p> <p>○ 受援時の机、席、プリンターの配置が分かる資料が残っている場合、可能であれば提供ください。</p> <p>○ 下記の個別の質問に可能な範囲でお答えください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンターについては、セキュリティポリシーを踏まえ、受け入れた外部の機関が使えるようなLANにつながっていない複合機を用意できたか？また、用意できなかった場合、各機関は印刷をどうしていたか？ ・地図などの大判印刷をできる機械はあったか？ ・庁舎に無線LANなどはあったか？ネットワーク環境はどのようになっていたか？ ・受け入れた外部の機関が使える電源(コンセント)は、十分確保できたか？ <p>④ 受援に関する所感(うまくいった点、課題と感じた点、改善すべき点など)</p> <p>○ 下記の4点について、うまくいった点、課題と感じた点、改善すべき点などがあれば、お教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援要請の内容、タイミングについて ・受け入れた府省庁と県との会議の内容、タイミング、頻度について ・会議以外での府省庁への情報の伝達方法について ・会議以外での府省庁からの情報の伝達方法について <p style="text-align: right;">以上</p> |

5.2 被災県庁の受援設備に関するアンケート調査の結果

調査にご協力頂いた 5 県の被災県庁の受援設備に関する状況を表 16 ~ 20 に示す。リエゾンルームの平面図等は巻末資料として整理した。なお、県名に

については非公開とするため、ここでは A 県から E 県まで記号で表示した。また、得られた回答のなかで県名を特定できる情報については、伏字(「●」で表示)とした。

表 16 被災県庁の受援設備に関するアンケート調査結果(A 県)
Table 16 Summary of questionnaire survey results regarding equipment for support-receiving in the affected prefectures (A Pref.).

| 項目 | 回答 |
|--------------------------------------|---|
| 支援機関(府省庁)と県との会議の履歴、県職員と受援機関のデータの授受方法 | <p>【府省庁との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物資の調整に関して、内閣府および経済産業省リエゾンと適宜打合せを実施。 一タのやりとりは電子メールで実施。国土地理院からは、浸水想定図(A0 紙)や各種地図データを DVD で受領。 <p>【県外自治体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10 月 21 日頃まで総務省および●●県(ブロック幹事県)の県庁派遣職員との打合せを毎日開催。以降は、被災市町への対口支援の方向性が定まったため、必要に応じて開催。 データのやりとりは電子メールで実施。 |
| リエゾンルーム、コピー機、印刷機の状況 | <p>【府省庁、県外自治体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県庁舎●階危機管理センター、県庁舎●階第●会議室(図面：巻末資料参照) プリンター：コピーのみ。データ出力は各機関持参プリンターで対応または、県職員へメールでデータ送信し職員のパソコンから印刷。 大判印刷：なし 無線 LAN：外部機関の使用不可。各機関にてポケット Wi-Fi 等持参 コンセント：あり <p>【県外自治体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県庁舎 11 階第二会議室 プリンター：コピーのみ。データ出力は各応援団体持参のプリンターで対応。 大判印刷：なし 無線 LAN：外部機関の使用不可 コンセント：あり |

表 17 被災県庁の受援設備に関するアンケート調査結果(B 県)
Table 17 Summary of questionnaire survey results regarding equipment for support-receiving in the affected prefectures (B Pref.).

| 項目 | 回答 |
|--------------------------------------|---|
| 支援機関(府省庁)と県との会議の履歴、県職員と受援機関のデータの授受方法 | <ul style="list-style-type: none"> 10/14 ~ 11/29 まで計 26 回開催 防災科学技術研究所様に専用の大判印刷機を持ち込んでいただき、浸水地図等の提供をいただいた。 |
| リエゾンルーム、コピー機、印刷機の状況 | <ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部(●F)の下階にあるプレスルームの 2/3 を区切って使用(15 m × 10 m 程度)。(図面：巻末資料参照) 概ね長机 14 本、席数 28、プリンターは各省庁が持ち込みで 3 ~ 4 台。 プリンター：外部の機関が使えるような LAN につながっていない複合機は用意できていない。各機関はプリンターと PC を直結して印刷していた。 大判印刷：あり 無線 LAN：あったが、外部の方は使用できなかった。 コンセント：十分確保できた。 |

表 18 被災県庁の受援設備に関するアンケート調査結果(C 県)
 Table 18 Summary of questionnaire survey results regarding equipment for support-receiving in the affected prefectures (C Pref.).

| 項目 | 回答 |
|--------------------------------------|--|
| 支援機関(府省庁)と県との会議の履歴、県職員と受援機関のデータの授受方法 | <ul style="list-style-type: none"> • 内閣府主導で国リエゾン会議を実施し、そこに県災害対策本部事務局のメンバーが参画していました。 • 県災害対策本部会議を実施した後タイミングで実施していた様子がありました。少なくとも、4回は実施していた記録が残っています。 • 対策統括 G の机の上に資料を置いておく。県内地図については、県側で準備したものを活用しました。その他、各リエゾンとは基本紙の手渡し、メール、USB メモリにデータを入れての共有を図りました。 • 国プッシュ支援の調整にあたっては、内閣府リエゾンが関係府省をまとめたメールリストを作成し、それに本県担当者も参加する形で物資リストや配送状況等を共有しました。 |
| リエゾングルーム、コピー機、印刷機の状況 | <ul style="list-style-type: none"> • 合計 3 部屋に各リエゾンは散らばって作業を実施していました。 ① ●●県庁●階 危機管理調整室(76.67 m²) 県側既設はコピー機 1 台のみ、プリンター等は各自持参をしていました。 国土交通省系(地方整備局、運輸局、気象台)、農政局はこちらの部屋 ② ●●県庁●階 災害対策室(276.62 m²) (図面：巻末資料参照) <ul style="list-style-type: none"> • 内閣府 長テーブル 2 つ 座席 5 ～ 6 席(プリンター 1 台持参) • 自衛隊 長テーブル 2 つ 座席 5 ～ 6 席 • 経済産業局 長テーブル 1 つ座席 2 席 ※一時的には総務省リエゾン 2 名も使用 ③ ●●県庁●階 会議室●(51.71 m²) 総務省が調整した対口支援団体の作業部屋としていました。 本県ではこの部屋には、プリンター等機材を特設設置しておりません。各派遣団体が持参したと思われます。 • プリンター：外部機関 PC と県のネットワークは接続できない状況でした。各機関は自分で持ってきた機材でプリントしていました。その他、県側 PC に USB 等でデータを渡して県 PC で印刷を行っておりました。コピーが必要な場合は県の機材で実施していました。 • 大判印刷：危機管理部署では大判印刷可能な機材を持っておりません。土木部局で所有しているものがあるので、必要な際はそれを借りていた可能性はあります(使用していた様子は見受けられませんでした)。 • 無線 LAN：県の職員は県庁の通常業務用 LGWAN^{補足 1)} 回線を使用しておりました(有線で接続)。他、防災時に市町・消防から情報収集するため、無線で極々限られた端末同士(市町、消防等)を接続するネットワークも運用していました(外部インターネットには接続できない)。リエゾンで参集した機関は自前の機器を用いてインターネット等に接続していました。LGWAN 回線では ISUT チームが活用している SIP4D と連携困難な点、情報収集の際にブロックがかかってしまうサイトもいくつか見受けられた点から、LGWAN 回線を経由せずにインターネットに接続できる環境の必要性を感じました。多数の県職員が自分の通信機器を使用、リエゾンが自前通信機器を使用した結果として、混信が発生してしまったという状況もありました。 • コンセント：不足したという話は聞いておりません。不足するような事態になったとしても県庁側で延長コード等もありますので、多少の不足は対応できると考えられます。 |

補足 1：LGWAN: Local Government Wide Area Network (総合行政ネットワーク)の略。LGWAN は地方公共団体を相互に接続する行政専用のネットワークである。地方公共団体相互間のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による情報の高度利用を図るための基盤として整備され、全国の地方公共団体の組織内ネットワークを相互に接続されている。

表 19 被災県庁の受援設備に関するアンケート調査結果(D 県)
Table 19 Summary of questionnaire survey results regarding equipment for support-receiving in the affected prefectures (D Pref.).

| 項目 | 回答 |
|--------------------------------------|--|
| 支援機関(府省庁)と県との会議の履歴、県職員と受援機関のデータの授受方法 | <ul style="list-style-type: none"> 10/13～11/1 まで毎日関係省庁連絡会議が内閣府主催で開催された(主に夕方開催)。 データ授受は、基本的にメールで行った。 |
| リエゾンルーム、コピー機、印刷機の状況 | <ul style="list-style-type: none"> 当初は災害対策本部※内の一部の場所を提供した(長机 10 個分の席を提供)。プリンターは本部全体で 4 台あるものを一緒に使っていただいた。人数が増えてきた後は別室を用意した。※庁舎内オペレーションルーム(約 500 m²)。(図面：巻末資料参照) プリンター：外部の機関が使えるような LAN につながっていない複合機は用意できなかったため、メールでデータを受け取り、こちらで印刷した。 大判印刷：A1 対応のプリンターが 1 台あり。 無線 LAN：災害時用のフリー Wi-Fi を用意した。 コンセント：電源タップはたくさんあったため、十分用意できた。 |

表 20 被災県庁の受援設備に関するアンケート調査結果(E 県)
Table 20 Summary of questionnaire survey results regarding equipment for support-receiving in the affected prefectures (E Pref.).

| 項目 | 回答 |
|--------------------------------------|---|
| 支援機関(府省庁)と県との会議の履歴、県職員と受援機関のデータの授受方法 | <ul style="list-style-type: none"> 国の会議に県が同席はさせていただいておりましたが、県と国の会議は開催されておりません(内閣府主催の関係省庁連絡会議(10/14～25は毎日夕(12回)、10/27～11/22は数日おき夕(13回))に県、●●市および省庁が参加)。 自衛隊の活動に関しては、①人命救助活動(13～14日)は、大枠を災害対策本部室において自衛隊県庁リエゾン、警察および消防リエゾンで決め、細部は現地で決定しておりました。②人命救助活動終了後の生活支援等については、自衛隊と市・村が直接調整を実施して活動内容を決定しました。県は毎日朝・夕を基準に自衛隊リエゾンから自衛隊活動の状況を把握し、課題等あればその解決のため関係部局等と調整するとともに、市村での自衛隊の活動開始と終了に係る事項については、日々の活動状況把握に基づき、自衛隊とは自衛隊県庁リエゾン、市村とは電話等で調整し、決定しました。 データ授受については、ISUT 経由で SIP4D で共有を行いました。 |
| リエゾンルーム、コピー機、印刷機の状況 | <ul style="list-style-type: none"> 場所：県災害対策本部室と同じフロアの別会議室 ●●(図面：巻末資料参照) 広さ：約 10 m × 25 m 机数：約 15 席数：約 45 プリンター：県災害対策本部室と共用で 3 台。外部の機関が使えるような LAN につながっていない複合機は用意できなかった。県災害対策本部室と共用で使用した。 大判印刷：あり 無線 LAN：県災害対策本部室にはあったが●●にはなかった。 コンセント：確保できた。 |

5.3 インタビュー調査の結果

アンケート調査にご協力頂いた5県に対して、調査結果を補足することを目的に、電話によるインタビュー調査を実施した。調査項目自体はアンケート調査と同様である。

当初、インタビュー調査は対面による調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、電話による聞き取り調査に変更した。

インタビュー調査の結果を表21～25に示す。

表 21 被災県庁の受援設備に関するインタビュー調査結果(A県)
Table 21 Summary of interview survey results regarding equipment for support-receiving in the affected prefectures (A Pref.).

| 項目 | 回答(うまくいった点、課題と感じた点、改善すべき点など) |
|--------------------------------|--|
| 支援要請の内容、タイミングについて | <p>【府省庁との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自衛隊、整備局、気象台では、県で災害対策本部を設置する前に、リエゾン派遣し、情報共有を図った。 各府省のリエゾンは事前に連絡がなく、どの機関が何名、いつ派遣されたのか把握するのが困難だった。また、府省庁がそれぞれリエゾンを派遣することで、本来必要な救助部隊の活動スペースが少なくなってしまった。 <p>【県外自治体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発災2日後には対口支援団体が決定され、早期に市町村への支援が開始されたことおよび対口支援団体から自己完結的な支援が得られたことから、被災市町のみならず県としても他の応急業務に注力できた。 |
| 受け入れた府省庁と県との会議の内容、タイミング、頻度について | <p>【府省庁との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 府省庁は、災害対策本部会議に参加し、府省庁で行った対応や支援内容について共有を行った。また、内閣府、経済産業省とは支援物資の調整を県の物資チームと調整を行った。 <p>【県外自治体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発災当初は、毎日定時で打合せを行い、情報の共有を図ることができた。また、定期的な打合せが終了した後も、必要に応じて迅速に打合せを行う体制が確立できていた。 |
| 会議以外での府省庁への情報の伝達方法について | <p>【府省庁との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 府省庁とは電子メールやリエゾンにより情報伝達を行った。 内閣府より激甚災害の指定見込について、リエゾンより口頭で情報提供いただいた。 |
| 会議以外での府省庁からの情報の伝達方法について | <p>【県外自治体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総務省および●●県(ブロック幹事県から)人的支援の派遣状況について、電子メールで報告が送られており、支援の最新状況について把握することができた。 |

表 22 被災県庁の受援設備に関するインタビュー調査結果(B県)
Table 22 Summary of interview survey results regarding equipment for support-receiving in the affected prefectures (B Pref.).

| 項目 | 回答(うまくいった点、課題と感じた点、改善すべき点など) |
|--------------------------------|---|
| 支援要請の内容、タイミングについて | <ul style="list-style-type: none"> 発災直後から多数の関係機関にプッシュ型支援で応援頂き、各種アドバイスを頂いた。 |
| 受け入れた府省庁と県との会議の内容、タイミング、頻度について | <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 |
| 会議以外での府省庁への情報の伝達方法について | <ul style="list-style-type: none"> 随時、情報を持ち込んだ。 |
| 会議以外での府省庁からの情報の伝達方法について | <ul style="list-style-type: none"> 随時頂いたが、当方の受援体制が十分ではなく、調整窓口が円滑に機能しなかった。 |

表 23 被災県庁の受援設備に関するインタビュー調査結果(C県)
Table 23 Summary of interview survey results regarding equipment for support-receiving in the affected prefectures (C Pref.).

| 項目 | 回答(うまくいった点, 課題と感じた点, 改善すべき点など) |
|----------------------------------|--|
| 支援要請の内容, タイミングについて | <ul style="list-style-type: none"> 自衛隊への支援に関しては特段問題ありませんでした(県に自衛隊OBの職員がいるため, その職員が調整しておりました). その他の団体については要請を待たず, 参集がなされました. 迅速に参集いただいたと考えています. |
| 受け入れた府省庁と県との会議の内容, タイミング, 頻度について | <ul style="list-style-type: none"> 情報共有に関しては朝, 夕の2回リエゾンを変えて全体ミーティングを実施. ただし, 医療関係や建設・土木関係に関しては別部局が調整しており, そこを含めての全体ミーティングがあっても良かったと考えています. |
| 会議以外での府省庁への情報の伝達方法について | <ul style="list-style-type: none"> 基本は電子メール or リエゾンに資料を渡して府省庁とは調整を依頼しました. 特段問題はありませんでした, 電子メールを使用できないような状況での伝達を検討する必要はあると感じています. |
| 会議以外での府省庁からの情報の伝達方法について | <ul style="list-style-type: none"> 基本は, 電子メール or リエゾンが個別に持ってくる形. 特段問題は無かったと考えています. |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 各省庁の方で被災市町に職員を直接派遣しており, その職員の動きが県の本部で見えにくかったという状況がありました. 全体としては, 迅速に参集していただき, 丁寧に業務を行っていただいたと思います. ただし, 本県の方で「各省庁は何かできるのか」は, 事前に研究しておく必要があると感じました. 「どこに」, 「何を」お願いしてよいか分からず, 結果として手持ち無沙汰になってしまったリエゾンも発生してしまったのではないかと感じています. 本県側の課題としては, 国リエゾン側とパイプとなる担当が明確に定められていなかった点があります(リエゾン一覧の作成についても担当が決まっていない状況でした). また, 今回は派遣されませんでした, 緊急消防援助隊が派遣された場合には追加スペースが必要になり, 場所確保が困難だと思われるので対応検討する必要があると思われます. |

表 24 被災県庁の受援設備に関するインタビュー調査結果(D県)
Table 24 Summary of interview survey results regarding equipment for support-receiving in the affected prefectures (D Pref.).

| 項目 | 回答(うまくいった点, 課題と感じた点, 改善すべき点など) |
|----------------------------------|--|
| 支援要請の内容, タイミングについて | <ul style="list-style-type: none"> プッシュ型で国からのリエゾンが来たため支援要請は行っていない, プッシュ型のためやむを得ないが, 望まない支援物資の対応に苦慮した. タイミングは丁度よかった. |
| 受け入れた府省庁と県との会議の内容, タイミング, 頻度について | <ul style="list-style-type: none"> 当県は国・他県班という組織がいたため, 国と県庁内の組織の調整が比較的うまく行うことができた. |
| 会議以外での府省庁への情報の伝達方法について | <ul style="list-style-type: none"> リエゾンを通じて情報を伝達したので問題はなかった. |
| 会議以外での府省庁からの情報の伝達方法について | <ul style="list-style-type: none"> リエゾンを通じて情報を得ていたため問題はなかった. |

表 25 被災県庁の受援設備に関するインタビュー調査結果(E 県)
 Table 25 Summary of interview survey results regarding equipment for support-receiving in the affected prefectures (E Pref.).

| 項目 | 回答(うまくいった点, 課題と感じた点, 改善すべき点など) |
|----------------------------------|--|
| 支援要請の内容, タイミングについて | <p>【全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発災後, 速やかに関係省庁からの情報連絡員が県庁へ派遣されたことで, 支援要請等の調整が円滑にできた. <p>【自衛隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生推移に基づく継続的な調整により 12 日 21:34 の災害派遣要請を円滑に実施できた. |
| 受け入れた府省庁と県との会議の内容, タイミング, 頻度について | <p>【全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に関係省庁連絡会議が開催され, 県・市町村・ボランティア団体参加も参加することで, 各種災害業務に係る対応状況や課題等について情報共有・協議され, 円滑な災害対応を行うことができた. |
| 受け入れた府省庁と県との会議の内容, タイミング, 頻度について | <p>【自衛隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝・夕の活動状況確認時および必要の都度, 課題について調整し解決. (受け入れた府省庁は関係する部局と連携して活動するため, 細部情報は災害対策本部室に適時に入らない中, 内閣府主催の関係省庁連絡会議において承知することが多々あった.) |
| 会議以外での府省庁への情報の伝達方法について | <p>【自衛隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自衛隊県庁リエゾンを通じて円滑に情報を伝達 |
| 会議以外での府省庁からの情報の伝達方法について | <p>【全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部室に隣接した会議室に派遣されている情報連絡員が待機されていることで, 要請事項や相談事項等, その都度速やかに打合せすることができ円滑な災害対応ができた. <p>【自衛隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自衛隊県庁リエゾンから災害対策本部室に円滑に情報が伝達 |

6. おわりに

本稿では、令和元年台風第19号(東日本台風)の対応において、内閣府ISUT(災害時情報集約支援チーム)が出動した被災6県(宮城県、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、長野県)を対象として、各県の被害の概要を整理するとともに、防災関係機関による受援のための設備等に関して整理した。

これまで、こうした受援設備に関する個別の自治体の状況について整理された資料はなく、今後の受援体制のあり方を検討する上で、有用な資料として整理することができたと考えている。

引き続き、様々な災害対応における受援体制の整理を続けながら、より効果的な支援・受援のあり方について研究を進めたい。

謝辞

本研究の実施、ならびに本稿の編集、刊行に際して、調査対象である6県(宮城県、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、長野県)の防災担当者の皆様には、ひとかたならぬ御配慮と御協力を賜りました。心より御礼申し上げます。

また、本稿に先立ち実施した調査業務『令和元年台風19号災害における国からの受援に関する基本調査』の受注者であるアオイ環境株式会社の事業推進本部サステナビリティ部 主任研究員・横山稔様には、業務完了後におきましても、本稿の編集に御協力をいただきました。ここに記し、感謝の意を示させていただきます。

なお、本研究の一部は、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」(管理法人：防災科研)によって実施されました。

参考文献

- 1) 全国知事会危機管理・防災特別委員会広域応援推進検討ワーキンググループ(2015)：大規模広域災害発生時における都道府県相互の広域応援の今後の方向性について(報告)，<http://www.nga.gr.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/3/05%20150709kiki.pdf> (最終閲覧日：2020年3月31日)。
- 2) 内閣府(2019)：ISUT(Information Support Team)の本格運用について、国と地方・民間の「災害情報ハブ」推進チーム，第7回資料1。
<http://www.bousai.go.jp/kaigirep/saigaijyouhouhub/dai7kai/pdf/shiryo1.pdf> (最終閲覧日：2020年3月31日)。
- 3) 気象庁(2019)：台風第19号による大雨，暴風等，https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/2019/20191012/jyun_sokuji20191010-1013.pdf (最終閲覧日：2020年3月31日)。
- 4) 内閣府(2019)：令和元年台風第19号に伴う災害にかかる災害救助法の適用について【第13報】(訂正報)，http://www.bousai.go.jp/pdf/t19tekiyou_13.pdf (最終閲覧日：2020年3月31日)。
- 5) 国土交通省(2019)：台風19号による被災状況と今後の対応について，<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001317859.pdf> (最終閲覧日：2020年3月31日)。

(2020年7月15日原稿受付，
2020年7月15日原稿受理)

要 旨

本稿は、令和元年台風第 19 号(東日本台風)の対応において、内閣府 ISUT(災害時情報集約支援チーム)が出動した被災 6 県(宮城県、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、長野県)を対象として、各県の被災状況、および府省庁をはじめとする防災関係機関による支援を受けるための設備(受援設備)に関して整理し、今後の支援体制の検討に資する資料とすることを目的とする。

キーワード：令和元年東日本台風，受援設備，ISUT

巻末資料目次

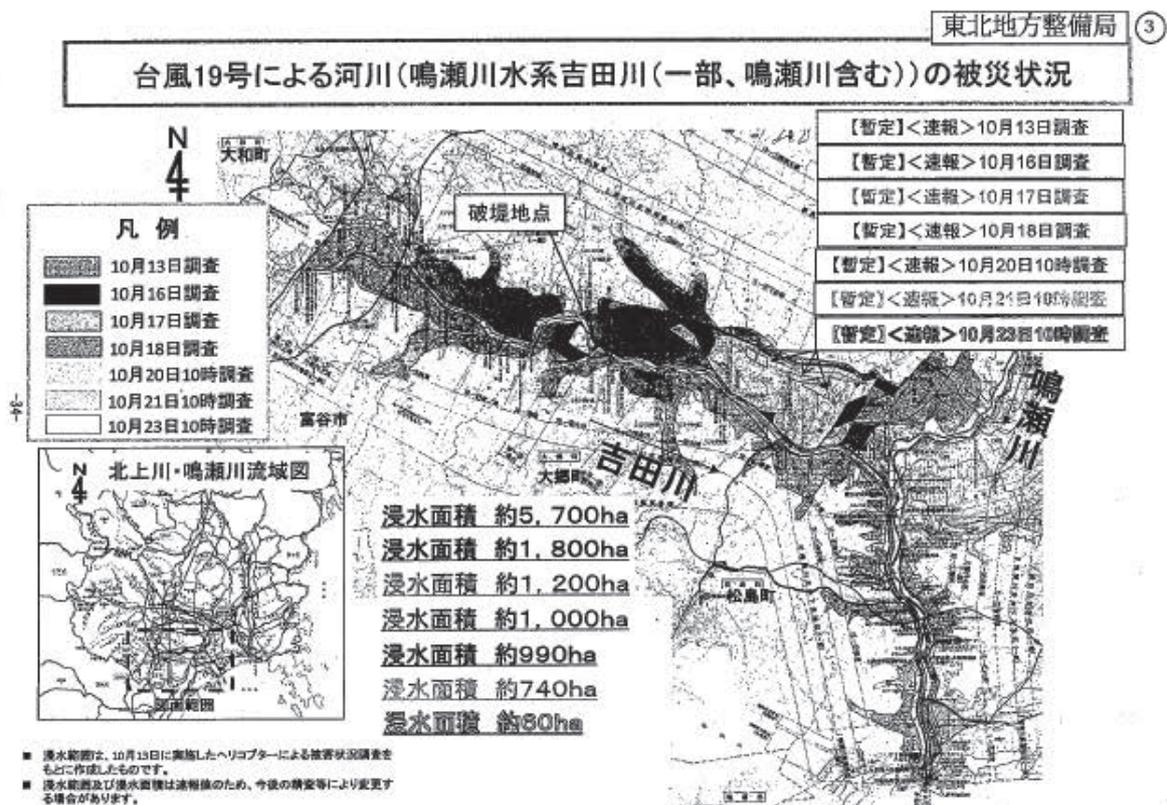
| | |
|---|----|
| 巻末資料 1 被災 6 県の被害状況図 | 25 |
| 巻末資料 1-1 被災 6 県の被害状況図(宮城県)..... | 25 |
| 資 1- 図 1 台風 19 号による河川の被害状況(国管理河川〔鳴瀬川水系吉田川〕) | |
| 資 1- 図 2 台風 19 号による河川の被害状況(宮城県管理河川) | |
| 資 1- 図 3 台風 19 号による土砂災害の状況 | |
| 資 1- 図 4 台風 19 号による道路の被災状況(補助国道) | |
| 資 1- 図 5 台風 19 号による道路の被災状況(宮城県道) | |
| 資 1- 図 6 台風 19 号による停電の状況(東北電力白石電力センター管内) | |
| 資 1- 図 7 台風 19 号による被害状況および避難場所・孤立地域 | |
| 巻末資料 1-2 被災 6 県の被害状況図(福島県)..... | 45 |
| 資 1- 図 8 台風 19 号による河川の被害状況(国管理河川〔阿武隈川〕 および福島県管理河川〔阿武隈川水系〕) | |
| 資 1- 図 9 台風 19 号による河川の被害状況(福島県管理河川) | |
| 資 1- 図 10 台風 19 号による道路の被災状況(補助国道および基幹道路) | |
| 巻末資料 1-3 被災 6 県の被害状況図(栃木県)..... | 51 |
| 資 1- 図 11 台風 19 号による河川の被害状況(栃木県管理河川) | |
| 資 1- 表 1 台風 19 号による河川の被害状況(栃木県管理河川) | |
| 資 1- 図 12 台風 19 号による道路の被災状況 | |
| 資 1- 表 2 台風 19 号による道路の被災状況 | |
| 巻末資料 1-4 被災 6 県の被害状況図(埼玉県)..... | 59 |
| ※埼玉県は、災害状況の詳細が分かる図面等は入手できなかった。 | |
| 巻末資料 1-5 被災 6 県の被害状況図(千葉県)..... | 60 |
| 資 1- 図 13 10 月 25 日からの大雨による河川の被害状況 | |
| 資 1- 図 14 10 月 25 日からの大雨による土砂災害の状況(主なもの) | |
| 資 1- 図 15 台風 19 号による道路の被災状況 | |
| 資 1- 図 16 10 月 25 日からの大雨による道路の被災状況 | |
| 資 1- 図 17 台風 19 号による漁港等の被災状況 | |
| 資 1- 図 18 10 月 25 日からの大雨による漁港等の被災状況 | |
| 資 1- 図 19 10 月 25 日からの大雨によるダム等の被災状況 | |
| 巻末資料 1-6 被災 6 県の被害状況図(長野県)..... | 73 |
| 資 1- 図 20 台風 19 号による河川の被害状況(国管理河川〔信濃川水系千曲川〕) | |
| 資 1- 図 21 台風 19 号による土砂災害の状況(土石流等) | |
| 資 1- 図 22 台風 19 号による土砂災害の状況(地すべり) | |
| 資 1- 図 23 台風 19 号による土砂災害の状況(がけ崩れ) | |
| 資 1- 図 24 台風 19 号による道路の被災状況 | |
| 巻末資料 2 被災 6 県(うち 5 県)のリエゾンルームに関する情報 | 81 |
| 資 2- 図 1 A 県のリエゾンルーム平面図および概要 | |
| 資 2- 図 2 B 県のリエゾンルーム平面図および概要 | |
| 資 2- 図 3 C 県のリエゾンルーム平面図および概要 | |
| 資 2- 図 4 D 県のリエゾンルーム平面図および概要 | |
| 資 2- 図 5 E 県のリエゾンルーム平面図および概要 | |

【巻末資料1 被災6県の災害状況図】

巻末資料1-1 被災6県の被害状況図(宮城県)

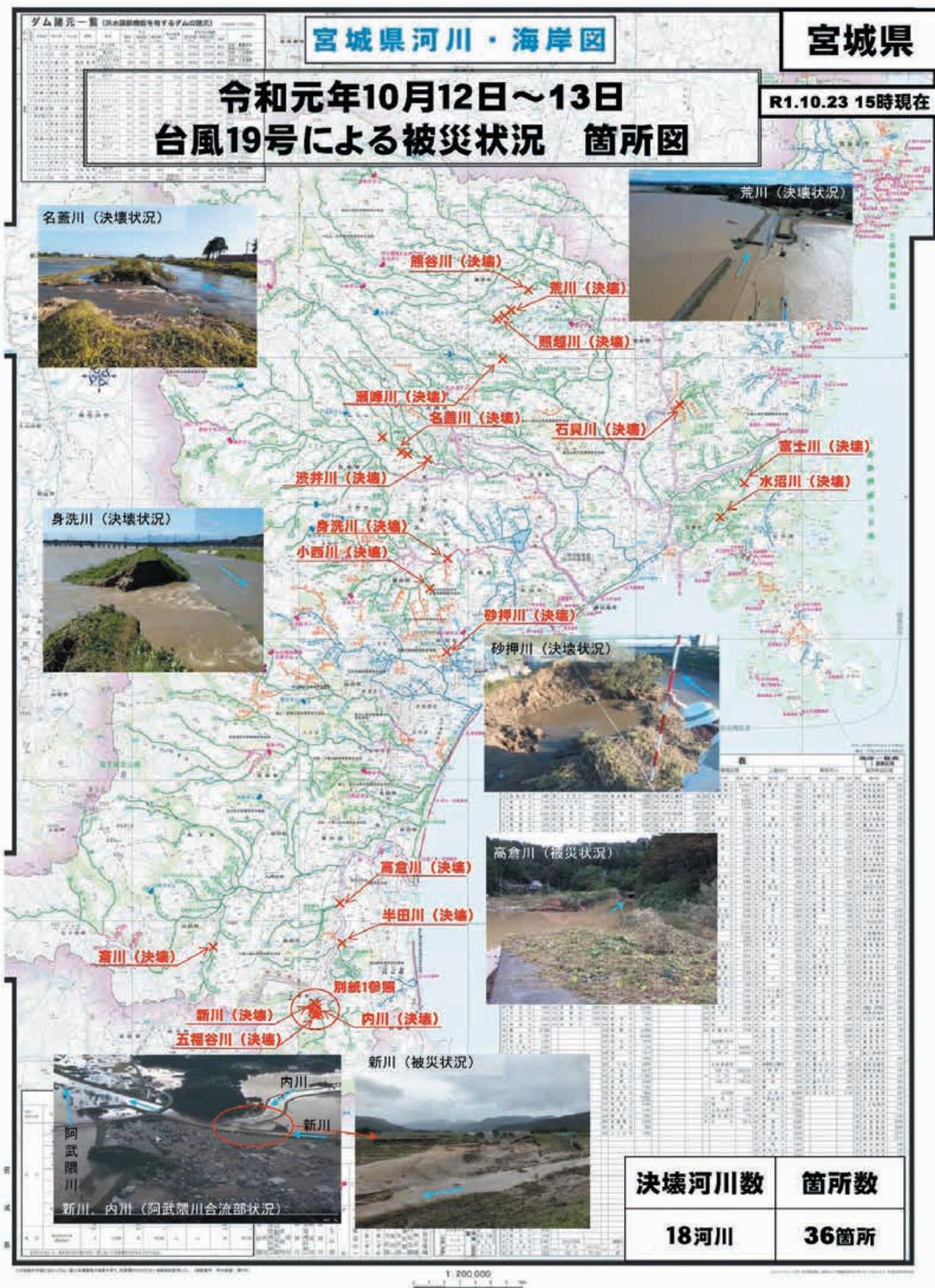


出典：第2回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月13日)



出典：第12回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月23日)

資料1-図1 台風19号による河川の被災状況(国管理河川(鳴瀬川水系吉田川))



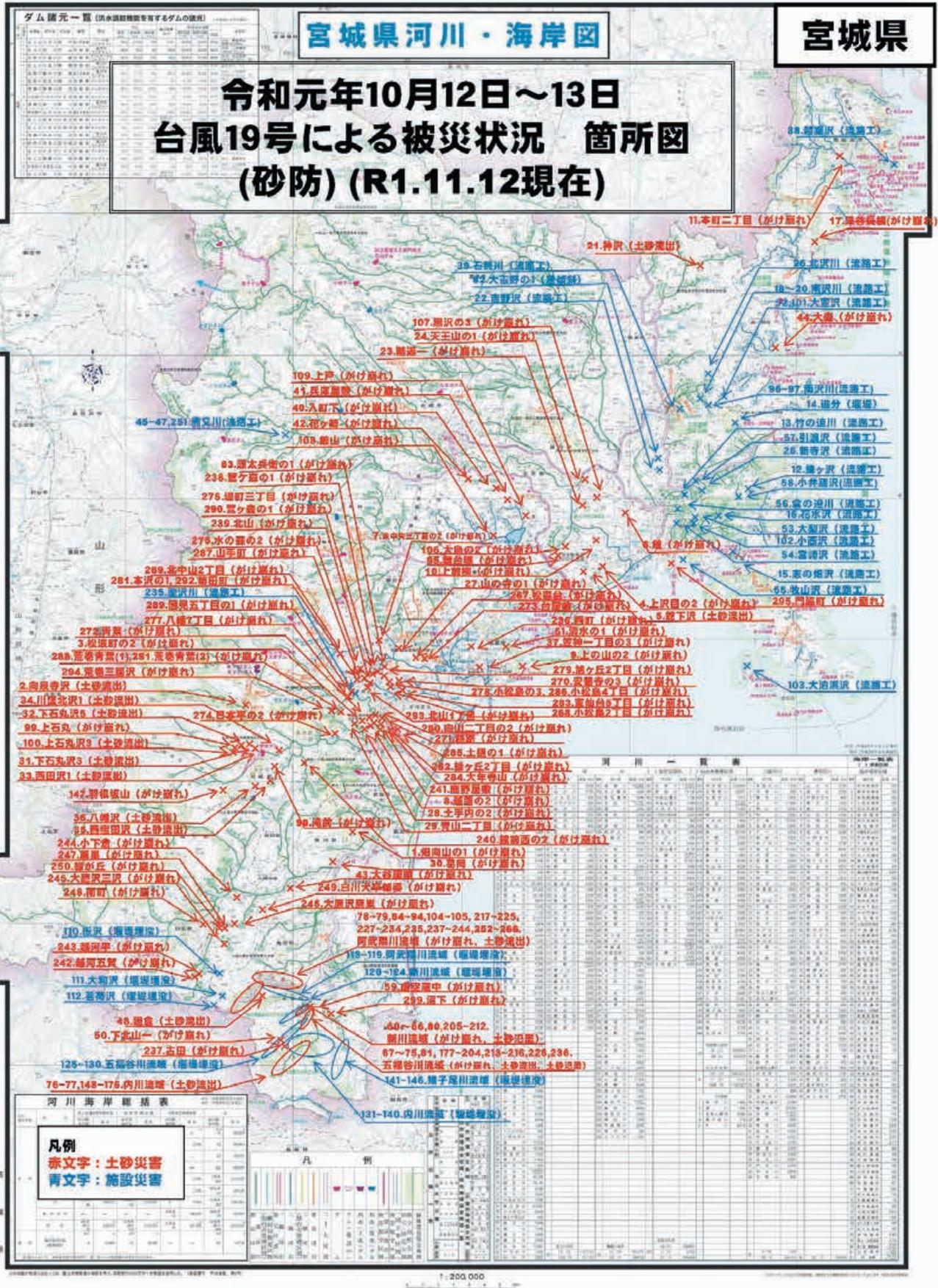
出典：令和元年10月12日～13日台風19号による被災状況箇所図(令和元年10月23日 宮城県)

資1-図2 台風19号による河川の被害状況(宮城県管理河川)(1/2)



出典: 令和元年10月12日～13日台風19号による被災状況箇所図(令和元年10月23日 宮城県)

資1-図2 台風19号による河川の被害状況(宮城県管理河川)(2/2)

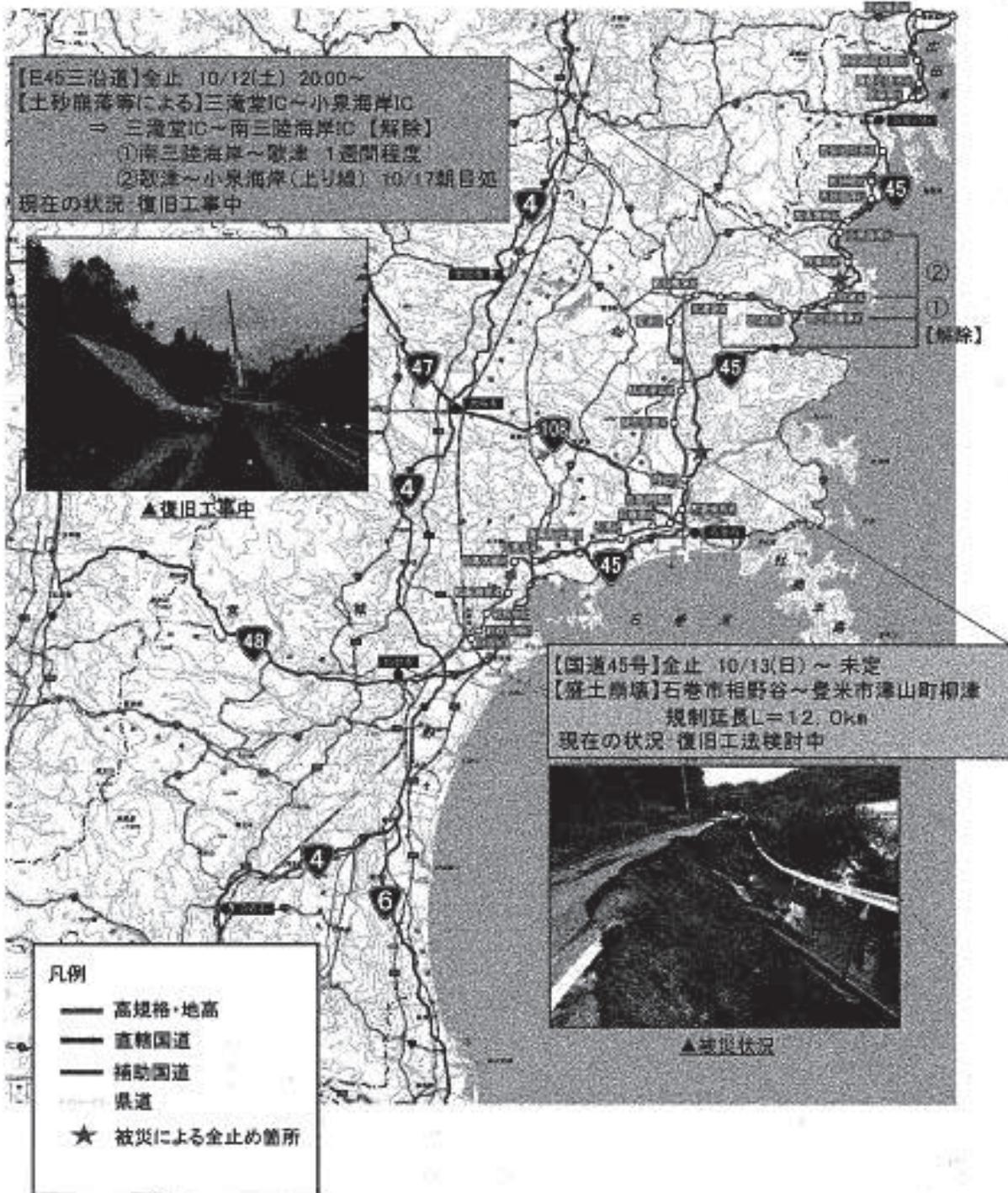


出典: 令和元年10月12日～13日台風19号による被災状況箇所図(砂防)(令和元年11月12日 宮城県)

資1-図3 台風19号による土砂災害の状況

東北地方整備局

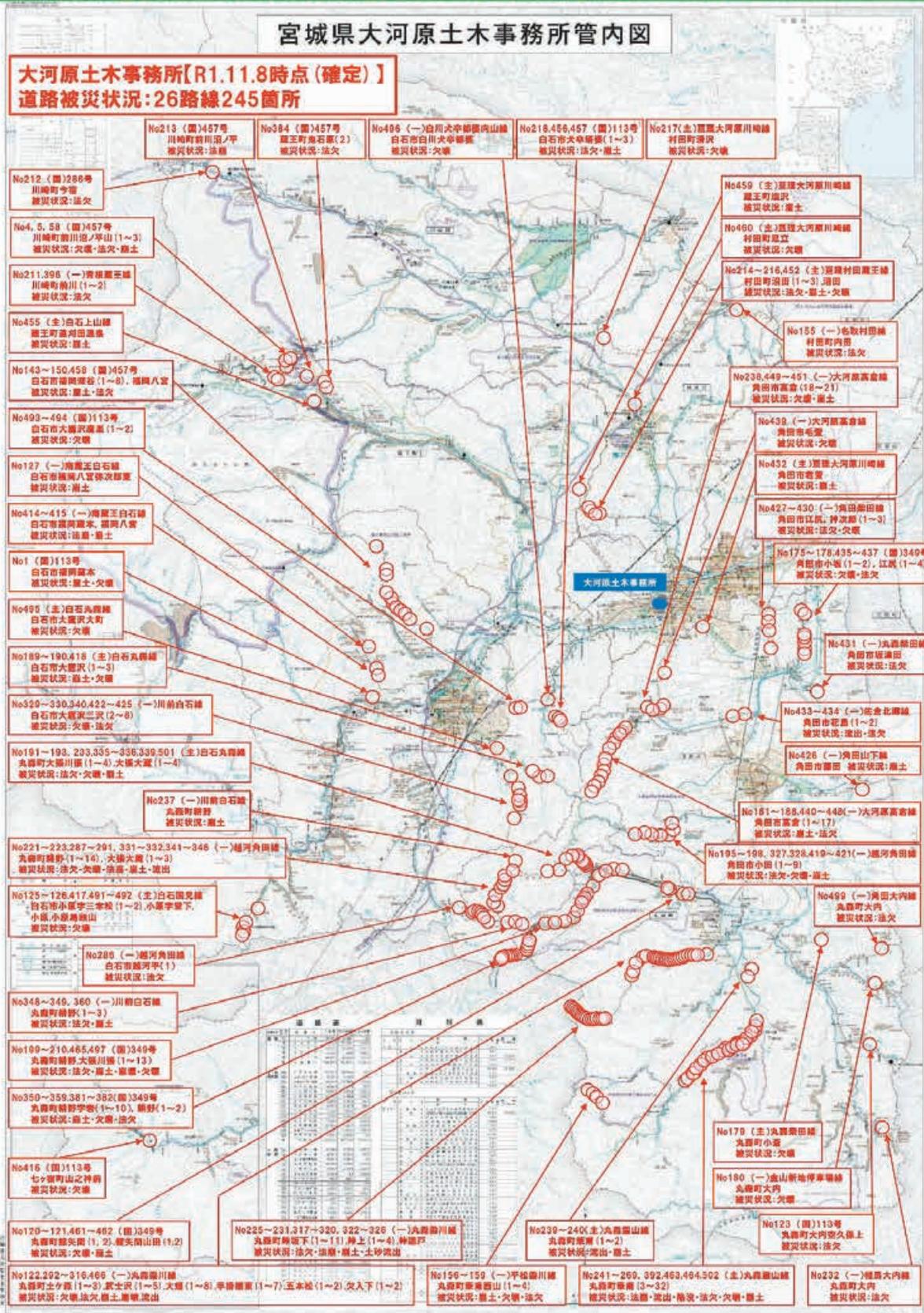
10月12日台風19号による宮城県内の被災箇所図(直轄道路) 被災状況(R1.10.16 10:00時現在)



出典：第7回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月16日)

資1-図4 台風19号による道路の被災状況(補助国道)

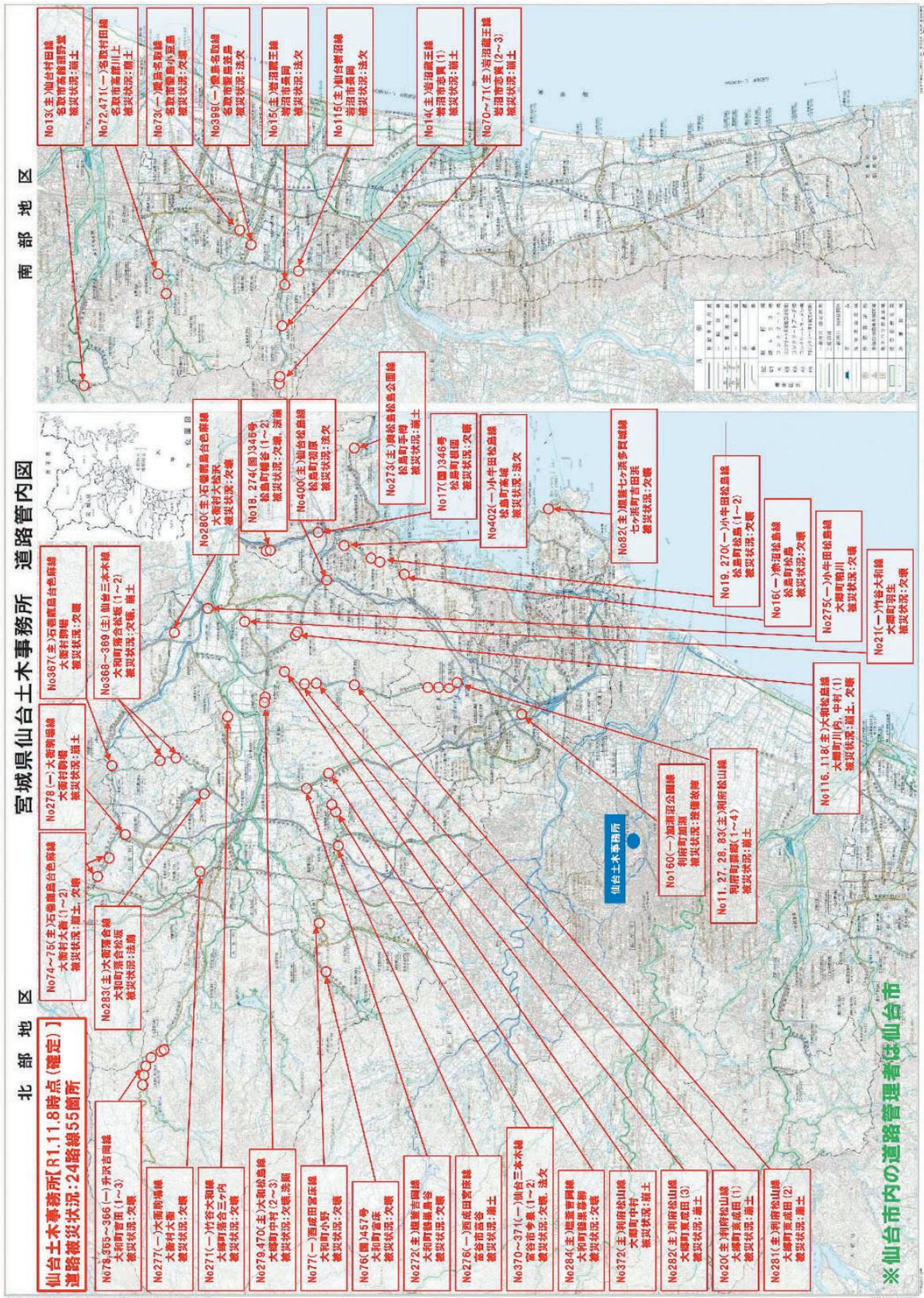
宮城県大河原土木事務所 台風19号 道路被災箇所図 令和元年11月8日時点 道路課



出典：宮城県大河原土木事務所 台風19号 道路被災箇所図(令和元年11月8日 宮城県)

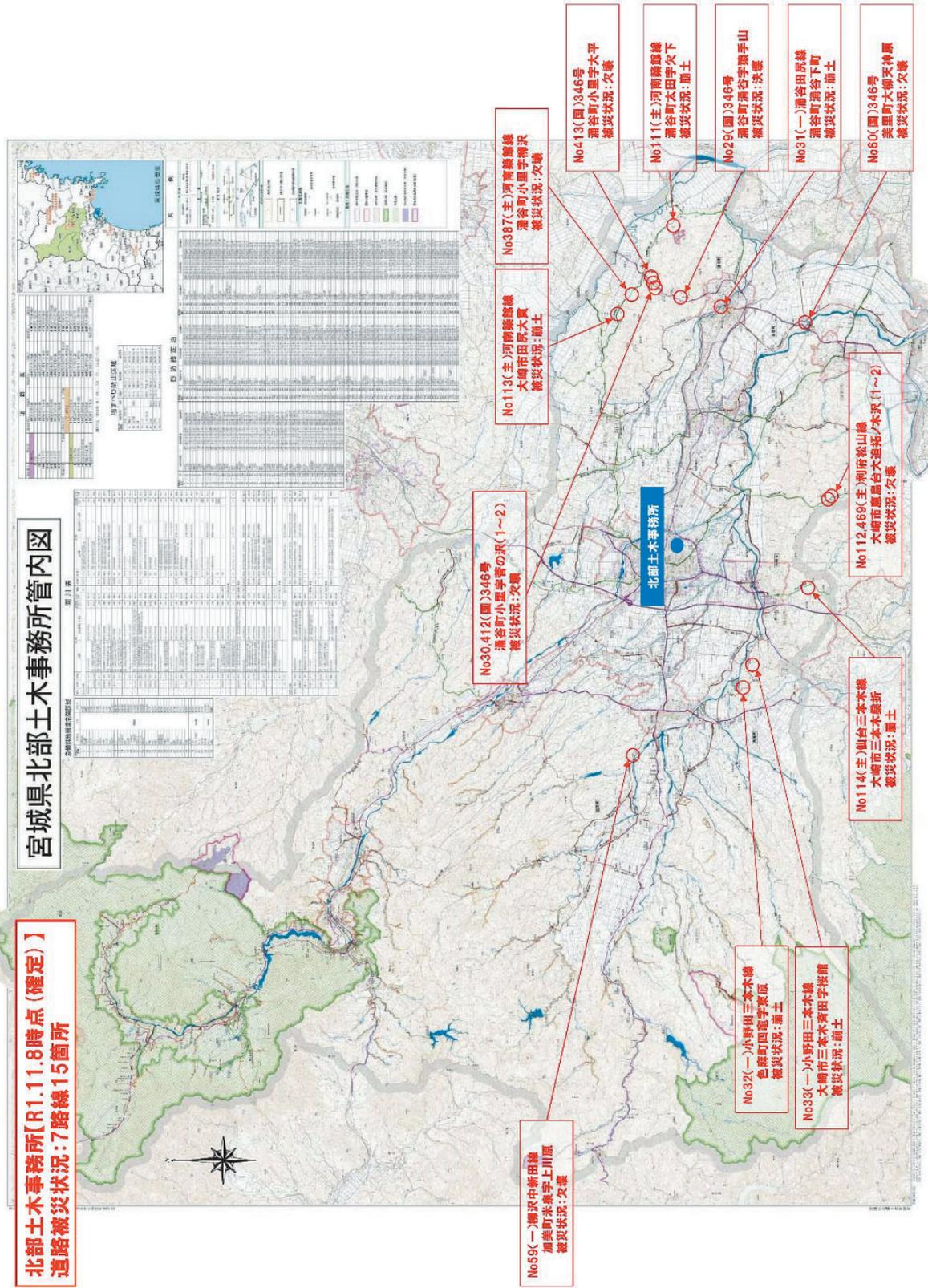
資料-図5 台風19号による道路の被災状況(宮城県道) (1/7)

宮城県仙台土木事務所 台風19号 道路被災箇所 令和元年11月8日時点 道路課



出典：宮城県仙台土木事務所 台風19号 道路被災箇所図(令和元年11月8日 宮城県)

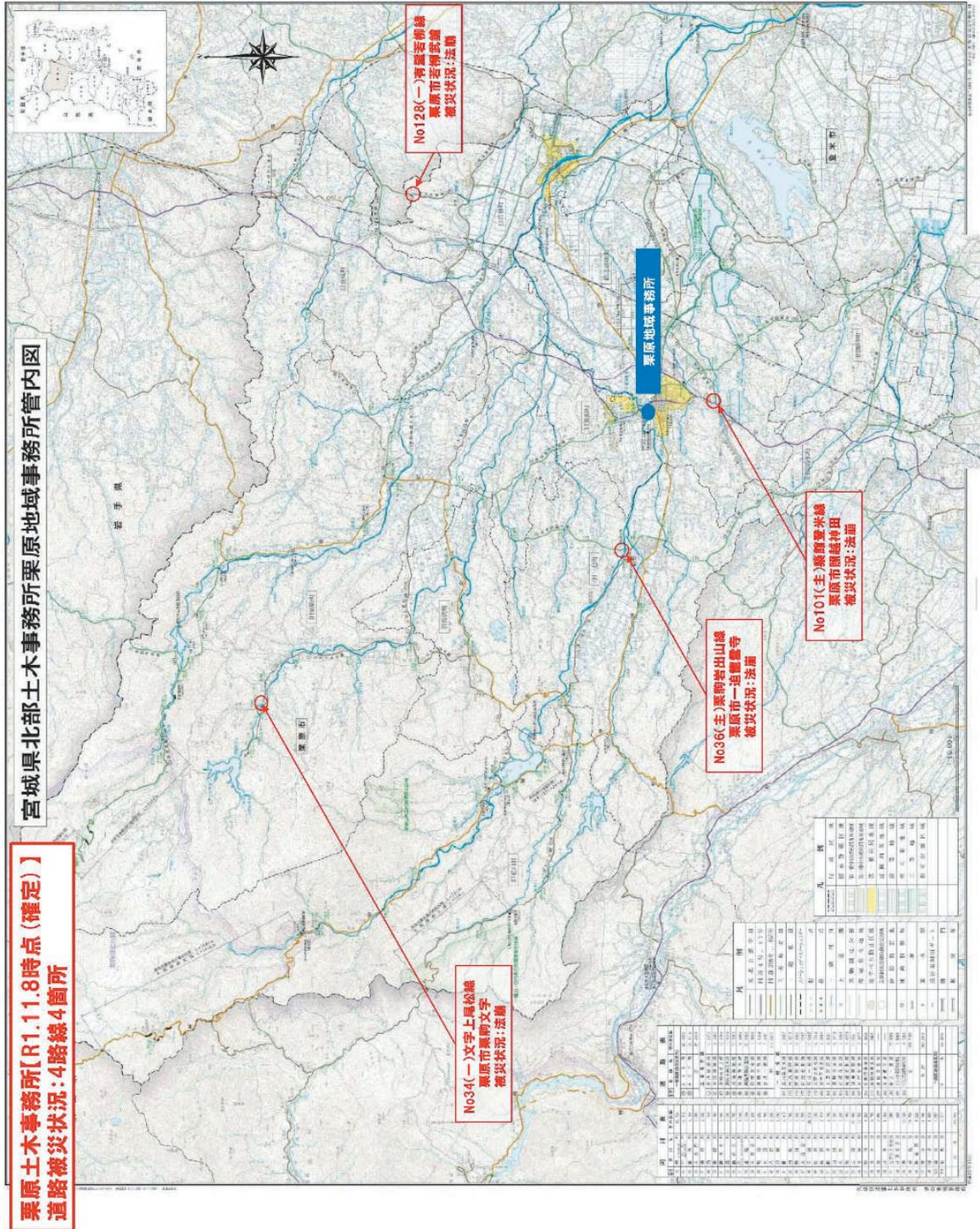
資1-図5 台風19号による道路の被災状況(宮城県道) (2/7)



出典：宮城県北部事務所 台風 19 号 道路被災箇所図(令和元年 11 月 8 日 宮城県)

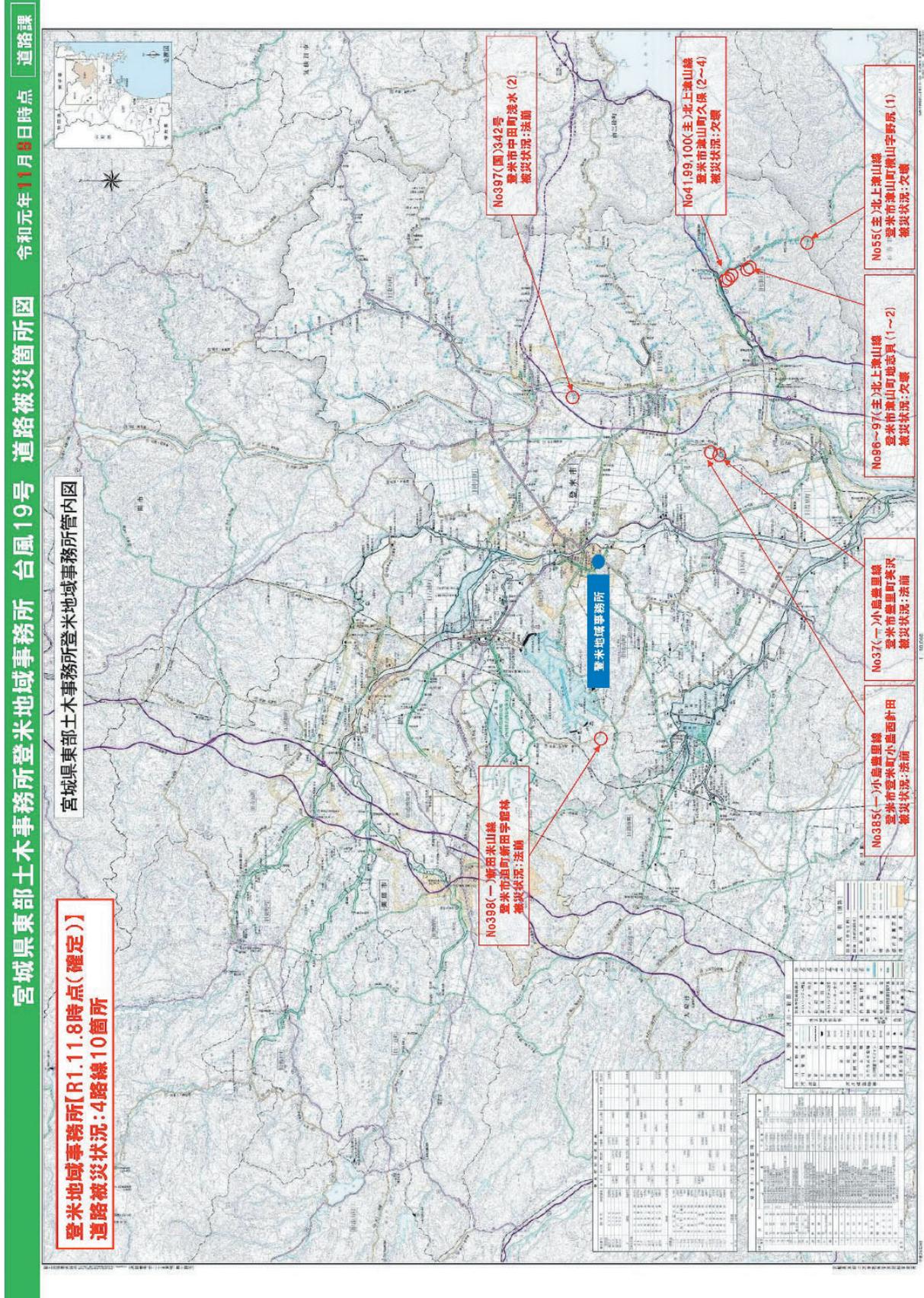
資 1- 図 5 台風 19 号による道路の被災状況(宮城県道) (3/7)

宮城県北部土木事務所栗原地域事務所 台風19号 道路被災箇所図 令和元年11月8日時点 道路課



出典:宮城県北部土木事務所栗原地域事務所 台風19号 道路被災箇所図(令和元年11月8日 宮城県)

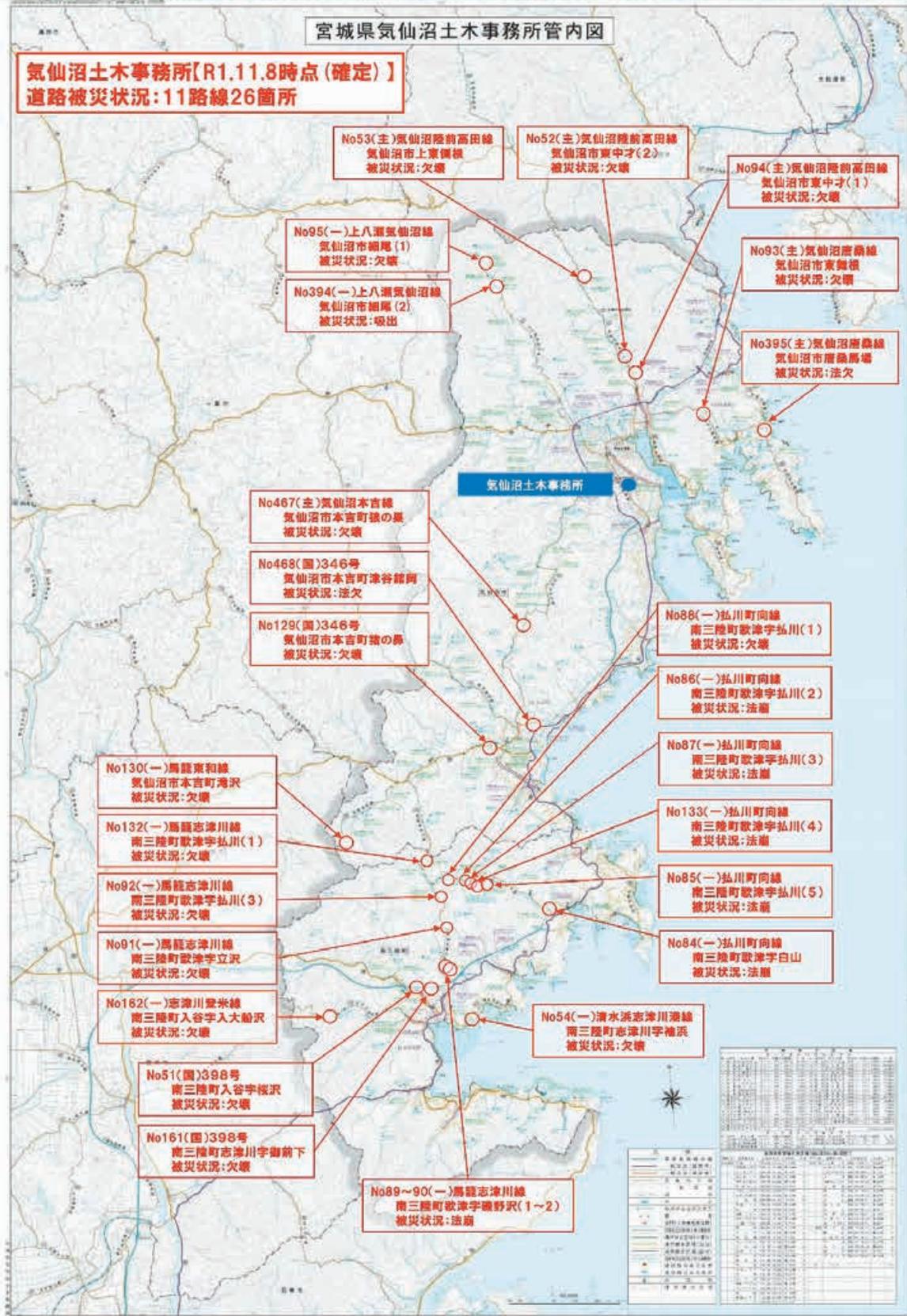
資1-図5 台風19号による道路の被災状況(宮城県道)(4/7)



出典：宮城県東部土木事務所登米地域事務所 台風19号 道路被災箇所図(令和元年11月8日 宮城県)

資1-図5 台風19号による道路の被災状況(宮城県道)(6/7)

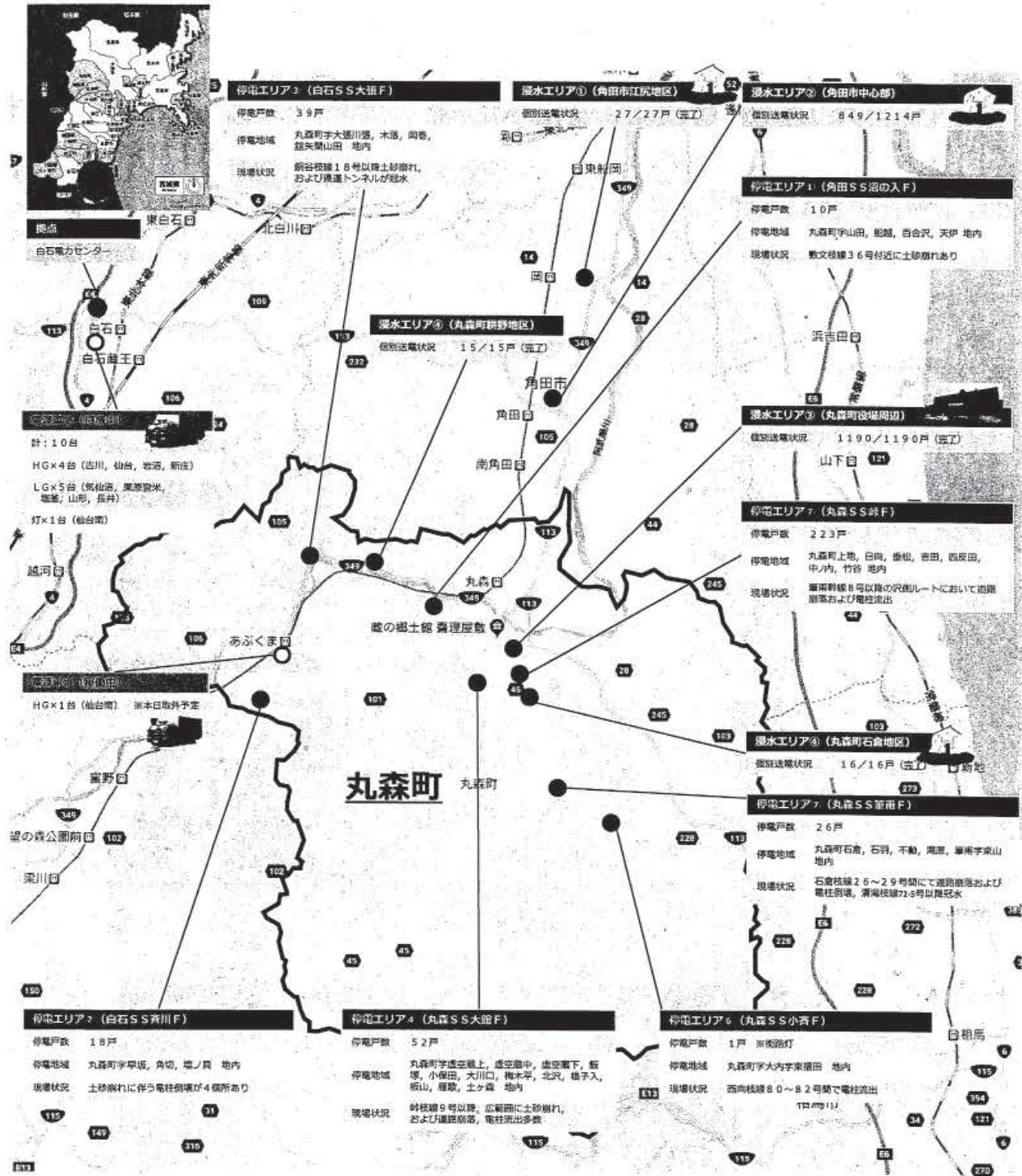
宮城県気仙沼土木事務所 台風19号 道路被災箇所図 令和元年11月8日時点 道路課



出典：宮城県気仙沼土木事務所 台風19号 道路被災箇所図(令和元年11月8日 宮城県)

資1-図5 台風19号による道路の被災状況(宮城県道)(7/7)

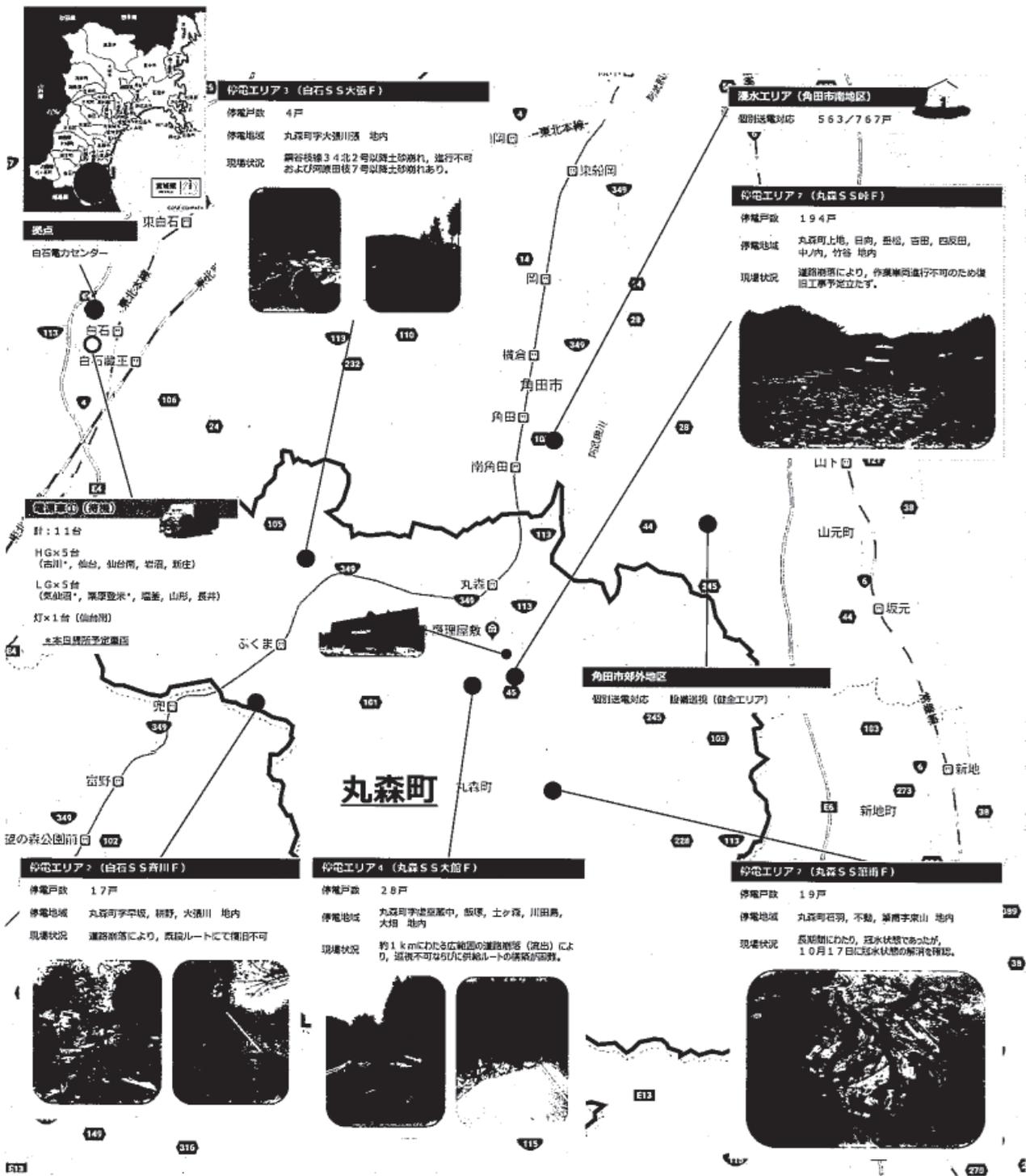
20191017_13時現在_白石(電)管内 停電状況マップ



出典：第8回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月17日)

資1-図6 台風19号による停電の状況(東北電力白石電力センター管内)(1/6)

20191018_13時現在_白石(電)管内 停電状況マップ

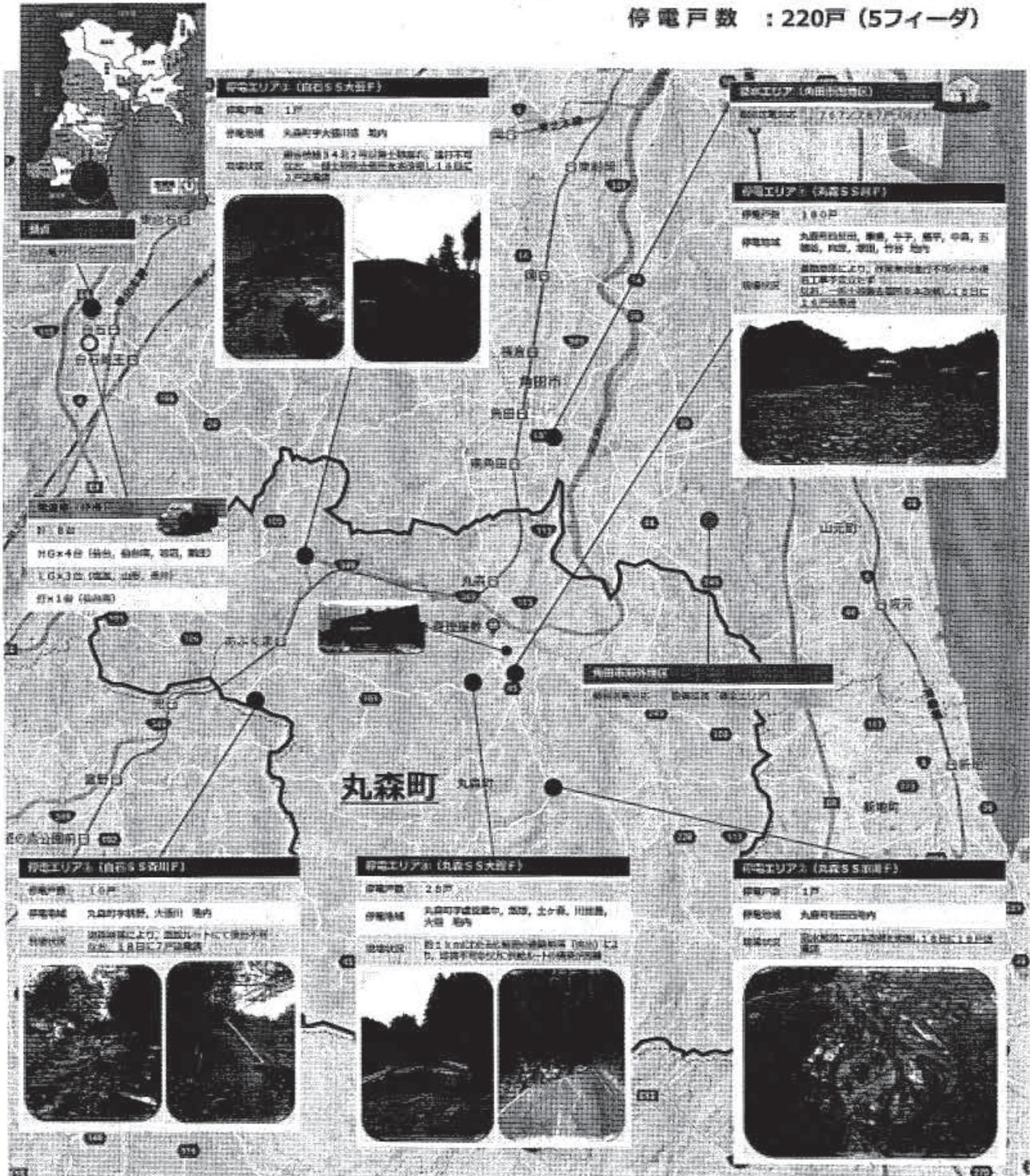


出典：第9回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月18日)

資1-図6 台風19号による停電の状況(東北電力白石電力センター管内)(2/6)

20191019_13時現在_白石(電)管内 停電状況マップ

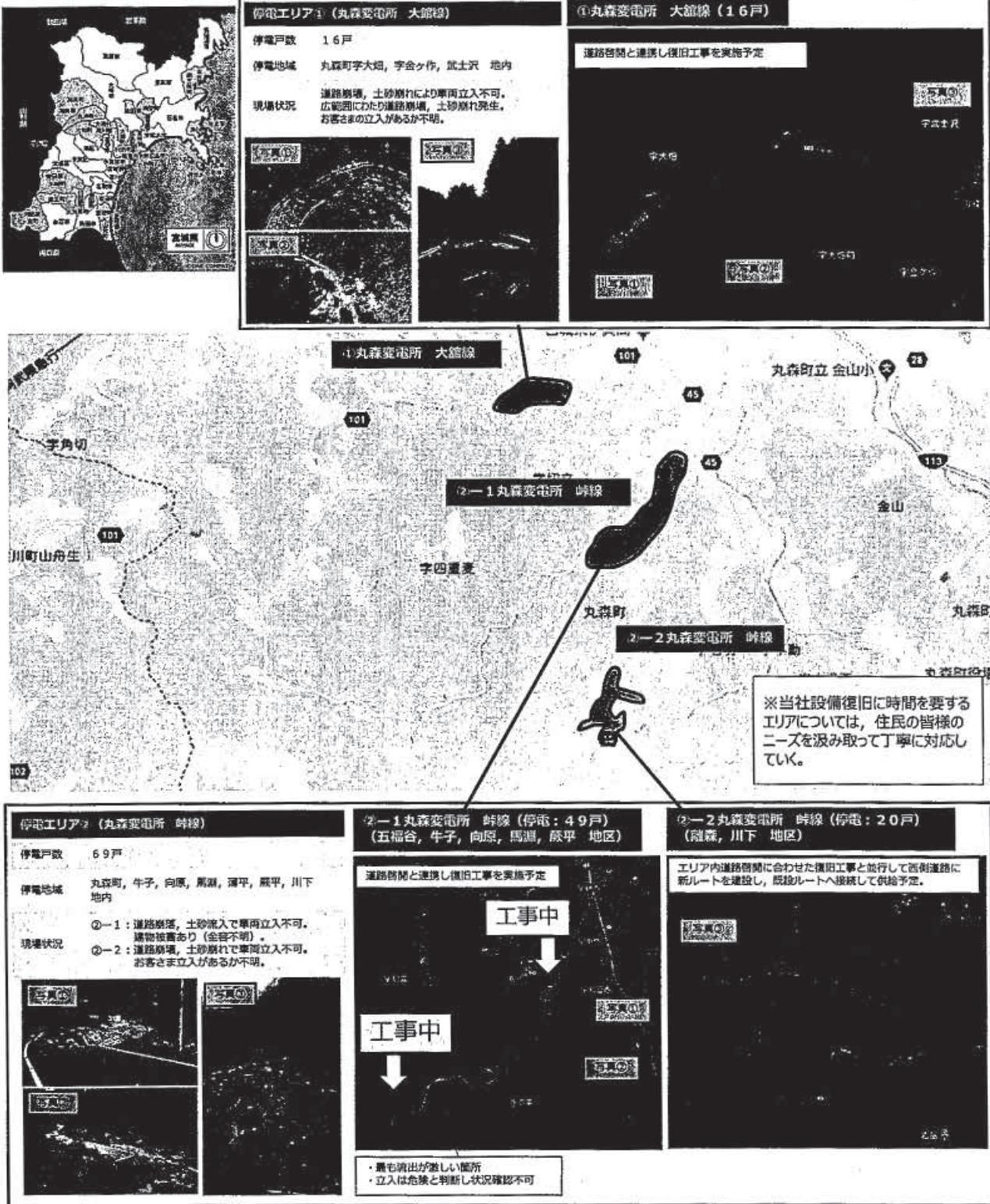
停電戸数 : 220戸 (5フィード)



出典：第10回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月19日)

資1-図6 台風19号による停電の状況(東北電力白石電力センター管内)(3/6)

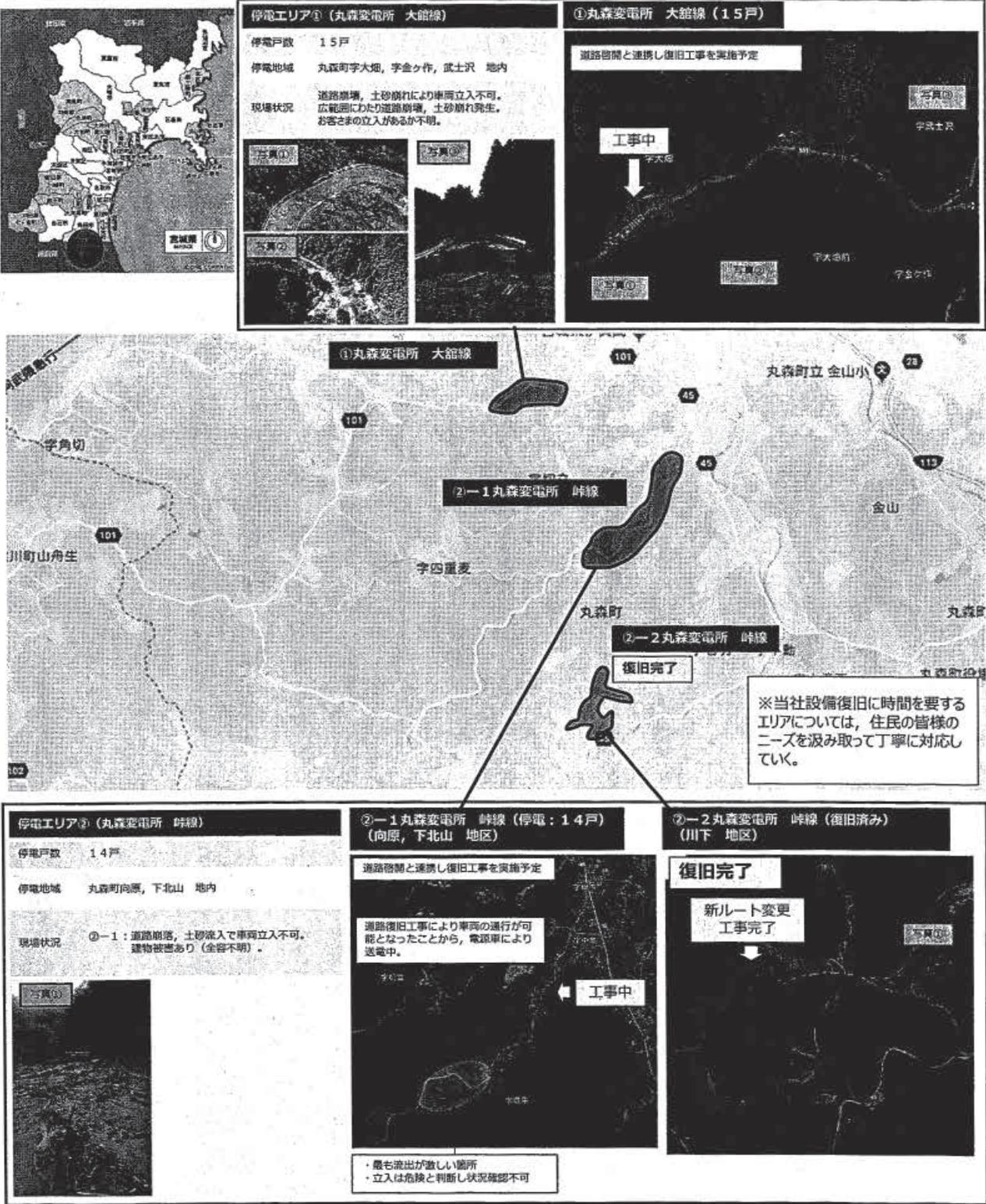
20191023_12時現在_白石(電)管内丸森エリア 停電状況マップ



出典：第12回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月23日)

資1-図6 台風19号による停電の状況(東北電力白石電力センター管内)(4/6)

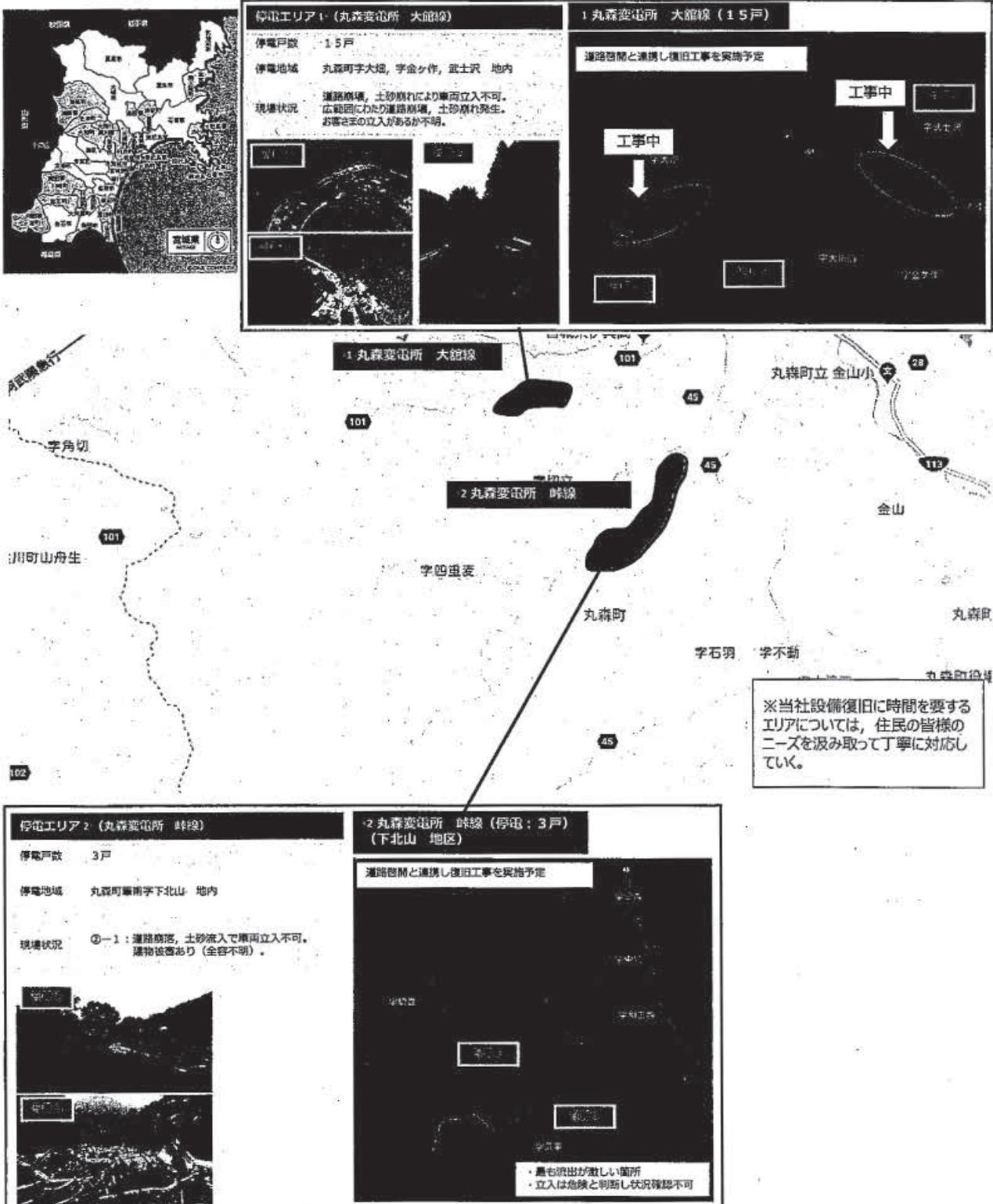
20191029_12時現在_白石(電)管内 丸森エリア 停電状況マップ



出典：第13回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月29日)

資1-図6 台風19号による停電の状況(東北電力白石電力センター管内)(5/6)

20191101_12時現在_白石(電)管内 丸森エリア 停電状況マップ



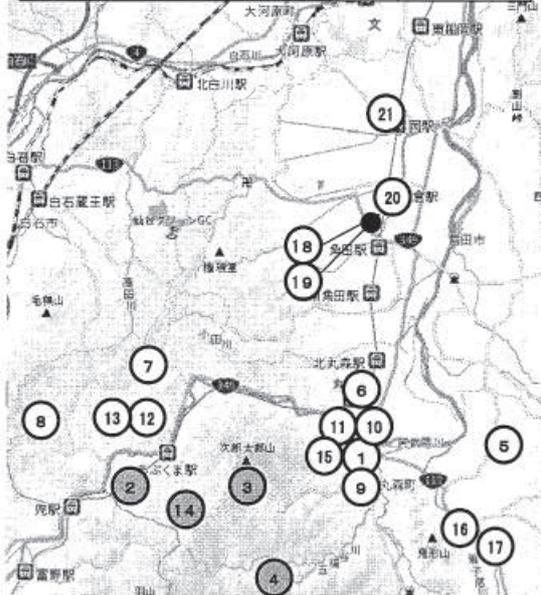
出典：第 14 回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年 10 月 30 日)

資 1- 図 6 台風 19 号による停電の状況(東北電力白石電力センター管内)(6/6)

被害状況及び避難場所・孤立地域

1 被害状況

| 地域 | 行方不明者 | ライフライン(戸) | |
|-----|-------|-----------|------|
| | | 停電 | 断水 |
| 角田市 | — | — | — |
| 丸森町 | 11名 | 300戸 | 町内全域 |



2 避難場所及び孤立地域

1.10.16 1300現在

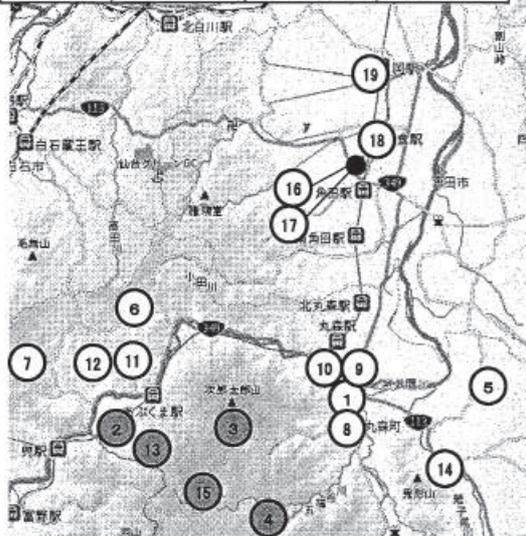
| No | 地域 | 避難場所・孤立地域 | 避難者 | 増減(前日比) |
|----|-----|-------------|------|---------|
| 1 | 丸森町 | 丸森町役場本庁舎 | 1 | -105 |
| 2 | | 羽出庭地域 | 約50 | — |
| 3 | | 川田島地域 | 約50 | — |
| 4 | | 兼重地域 | 約50 | — |
| 5 | | 小斎まづくりセンター | 39 | — |
| 6 | | 館矢間まづくりセンター | 0 | -1 |
| 7 | | 大張まづくりセンター | 8 | — |
| 8 | | 耕野まづくりセンター | 18 | — |
| 9 | | 丸森まづくりセンター | 19 | — |
| 10 | | 館矢間小学校 | 44 | -8 |
| 11 | | 丸森小学校 | 60 | -50 |
| 12 | | 耕野入区集会所 | 10 | — |
| 13 | | 耕野東部集会所 | 2 | — |
| 14 | | 欠入地域 | 約100 | — |
| 15 | | 山崎集会所 | 2 | — |
| 16 | | 大内まづくりセンター | 7 | — |
| 17 | | 大内西向集会所 | 1 | — |
| 18 | 角田市 | ウェルパークかくだ | 79 | -28 |
| 19 | | 角田市市民センター | 36 | -13 |
| 20 | | 横倉自治センター | 6 | -1 |
| 21 | | 南岡公民館 | 20 | — |

出典：第7回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月16日)

被害状況及び避難場所・孤立地域

1 被害状況

| 地域 | 行方不明者 | ライフライン(戸) | |
|-----|-------|-------------|----------------|
| | | 停電(前日比) | 断水 |
| 丸森町 | 3名 | 400戸(-100戸) | 3,448戸 町内全域 |



2 避難場所及び孤立地域

1.10.17 0600現在

| No | 地域 | 避難場所・孤立地域 | 避難者 | 増減(前日比) |
|----|-----|---------------|------|---------|
| 1 | 丸森町 | 丸森町役場本庁舎 | 1 | — |
| 2 | | 羽出庭地域 | 約50 | — |
| 3 | | 川田島地域 | 約50 | — |
| 4 | | 兼重地域 | 約50 | — |
| 5 | | 小斎まづくりセンター | 40 | — |
| 6 | | 大張まづくりセンター | 8 | — |
| 7 | | 耕野まづくりセンター | 18 | — |
| 8 | | 丸森まづくりセンター | 19 | — |
| 9 | | 館矢間小学校 | 44 | — |
| 10 | | 丸森小学校 | 60 | — |
| 11 | | 耕野入区集会所(自主避難) | 10 | — |
| 12 | | 耕野東部集会所(自主避難) | 2 | — |
| 13 | | 欠入地域 | 約100 | — |
| 14 | | 大内まづくりセンター | 6 | — |
| 15 | | 北山集会所(自主避難) | 2 | — |
| 16 | 角田市 | ウェルパークかくだ | 79 | — |
| 17 | | 角田市市民センター | 36 | — |
| 18 | | 横倉自治センター | 6 | — |
| 19 | | 南岡公民館(自主避難) | 20 | — |

総括

避難者は減少傾向にあるものの、丸森町は全域断水のため、自宅に戻った住民に対する給水支援の所要は今後増加する可能性がある。

出典：第8回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月17日)

資1-図7 台風19号による被害状況および避難場所・孤立地域(1/2)

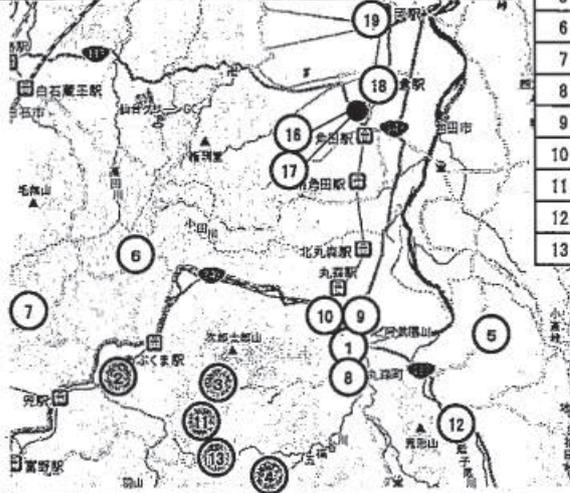
被害状況及び避難場所・地域

1. 10. 18 0600現在

1 被害状況

| 地域 | 行方不明者 (前日比) | ライフライン (戸) | |
|-----|----------------|-------------|----------------|
| | | 停電 (前日比) | 断水 |
| 丸森町 | 3名 | 300戸 (-) | 3,448戸 町内全域 |

※ 全域断水の理由として、水源が増水・濁り及びびがれき等の存在、取水装置の故障等で引き込めないとともに、浄水場までの経路が崩壊しているため、復旧が困難な状況



2 避難場所及び地域

| No. | 地域 | 避難場所・地域 | 避難者 | 増減 (前日比) |
|-----|-----|-------------|-----|-------------|
| 1 | 丸森町 | 丸森町役場本庁舎 | 3 | - |
| 2 | | 羽田高野 | 15 | - |
| 3 | | 川田高野 | 15 | - |
| 4 | | 丸森高野 | 15 | - |
| 5 | | 小斎まちづくりセンター | 41 | - |
| 6 | | 大張まちづくりセンター | 9 | - |
| 7 | | 耕野まちづくりセンター | 10 | - |
| 8 | | 丸森まちづくりセンター | 75 | - |
| 9 | | 館矢間小学校 | 35 | - |
| 10 | | 丸森小学校 | 56 | - |
| 11 | | 穴太地区 | 10 | - |
| 12 | | 大内まちづくりセンター | 6 | - |
| 13 | | 北山集会所(自主避難) | 2 | - |

総括 丸森町は全域断水のため生活用水が不足しており、給水支援は増加・長期化する可能性がある。

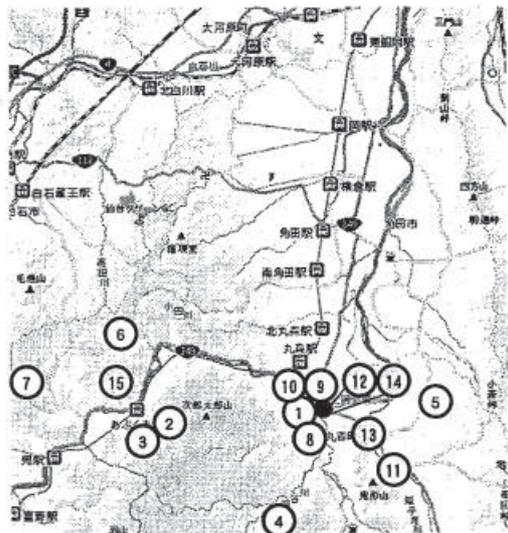
出典：第9回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月18日)

活動地域における被害状況及び避難場所

1. 10. 19 1300現在

1 被害状況

| 地域 | 行方不明者 (前日比) | ライフライン (戸) | |
|-----|----------------|----------------|----------------|
| | | 停電 (前日比) | 断水 |
| 丸森町 | 2名 (-1) | 200戸 (-100) | 3,448戸 町内全域 |



2 避難場所

| No. | 地域 | 避難場所 | 避難者 | 増減 (前日比) |
|-----|-----|-------------|-----|-------------|
| 1 | 丸森町 | 丸森町役場本庁舎 | 3 | - |
| 2 | | 羽出庭多目的センター | 22 | - |
| 3 | | 旧羽出島分校 | 18 | - |
| 4 | | 筆甫まちづくりセンター | 4 | - |
| 5 | | 小斎まちづくりセンター | 41 | +1 |
| 6 | | 大張まちづくりセンター | 9 | +1 |
| 7 | | 耕野まちづくりセンター | 10 | -8 |
| 8 | | 丸森まちづくりセンター | 82 | +63 |
| 9 | | 館矢間小学校 | 39 | -5 |
| 10 | | 丸森小学校 | 56 | -4 |
| 11 | | 大内まちづくりセンター | 6 | - |
| 12 | | 伊具高校 | 5 | - |
| 13 | | 旧丸森中学校 | 6 | - |
| 14 | | 山崎集会所 | 7 | - |
| 15 | | 耕野東部集会所 | 3 | - |

※ 丸森町LOからの聞き取りによる。

出典：第10回宮城県災害対策本部会議資料(令和元年10月19日)

資1-図7 台風19号による被害状況および避難場所・孤立地域(2/2)

巻末資料 1-2 被災6県の被害状況図(福島県)



出典：福島県災害対策本部員会議(第17回)資料(令和元年10月26日)

資1-図8 台風19号による河川の被害状況(国管理河川〔阿武隈川〕および福島県管理河川〔阿武隈川水系〕)

台風19号による河川堤防の破堤箇所

【河川整備課】

破堤河川一覧 R01.10.16 14:30現在

| 事務所 | 河川名 | 市町村 | 堤防名(長×幅) | 備考 |
|-------|------|-------|--------------|----------------|
| 県北建設 | 荒川 | 福島市 | 新野橋 (270×12) | ○ 決壊中の河川堤防 |
| | 保原土木 | 広瀬川 | 伊達市 | 新野橋 (1177×100) |
| 二本松土木 | 藤川 | 藤川町 | 伊達橋 (270×12) | △ 決壊中の河川堤防 |
| | 県中建設 | 安達太良川 | 本宮市 | 下野倉 (250×10) |
| 須賀川土木 | 須賀川 | 須賀川市 | 上野倉 (250×10) | △ 決壊中の河川堤防 |
| | 須賀川 | 須賀川市 | 日取橋 (200×8) | △ 決壊中の河川堤防 |
| 石川土木 | 河武隈川 | 石川町 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| | 河武隈川 | 石川町 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| 京南建設 | 藤川 | 白河市 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| | 社川 | 白河市 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| 須賀土木 | 須賀川 | 須賀川市 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| | 須賀川 | 須賀川市 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| 石川土木 | 石川町 | 石川町 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| | 須賀川 | 須賀川市 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| 会津建設 | 藤川 | 会津若松市 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| | 須賀川 | 須賀川市 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| いわき建設 | 須賀川 | いわき市 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |
| | 須賀川 | いわき市 | 堤防 (190) | △ 決壊中の河川堤防 |

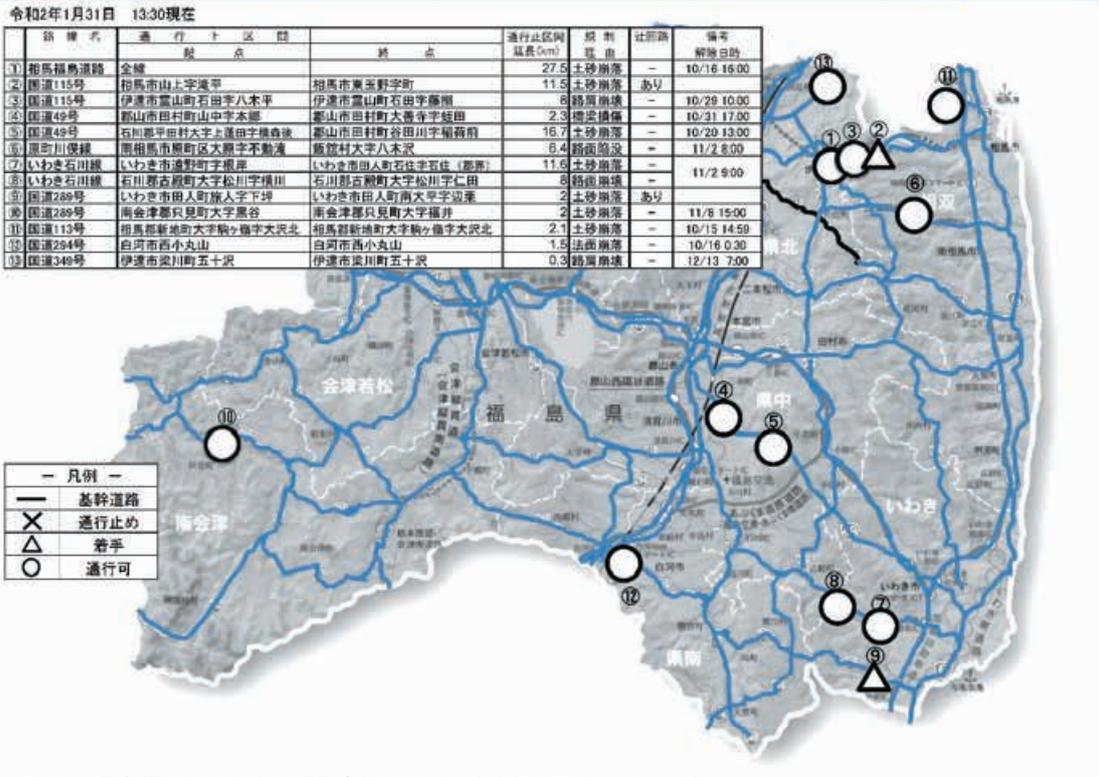


出典：福島県災害対策本部員会議(第6回)資料(令和元年10月16日)

注) 佐久間川は両岸決壊しており、福島県災害対策本部員会議(第18回)(令和元年10月27日)の時点で決壊箇所数が2箇所という扱いに変更になった。それに伴い、全河川の決壊箇所数が49箇所に変更された。

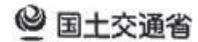
資1-図9 台風19号による河川の被害状況(福島県管理河川)

台風第19号等による基幹道路の通行止め箇所【道路管理課】別紙1-2



出典：福島県災害対策本部員会議(第38回)資料(令和2年1月31日)

大規模災害復興法に基づく直轄権限代行 位置図(国道349号)

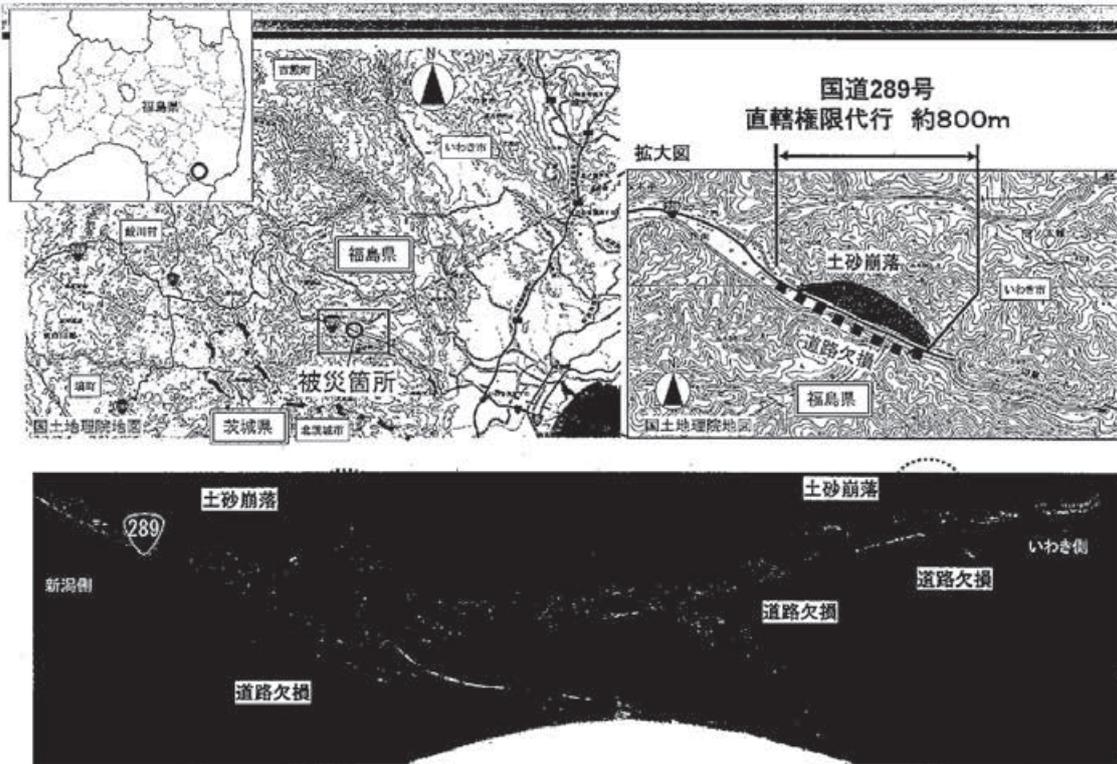


出典：福島県災害対策本部員会議(第20回)資料(令和元年10月29日)

資1-図10 台風19号による道路の被災状況(補助国道および基幹道路)(1/4)

大規模災害復興法に基づく直轄権限代行 位置図(国道289号)

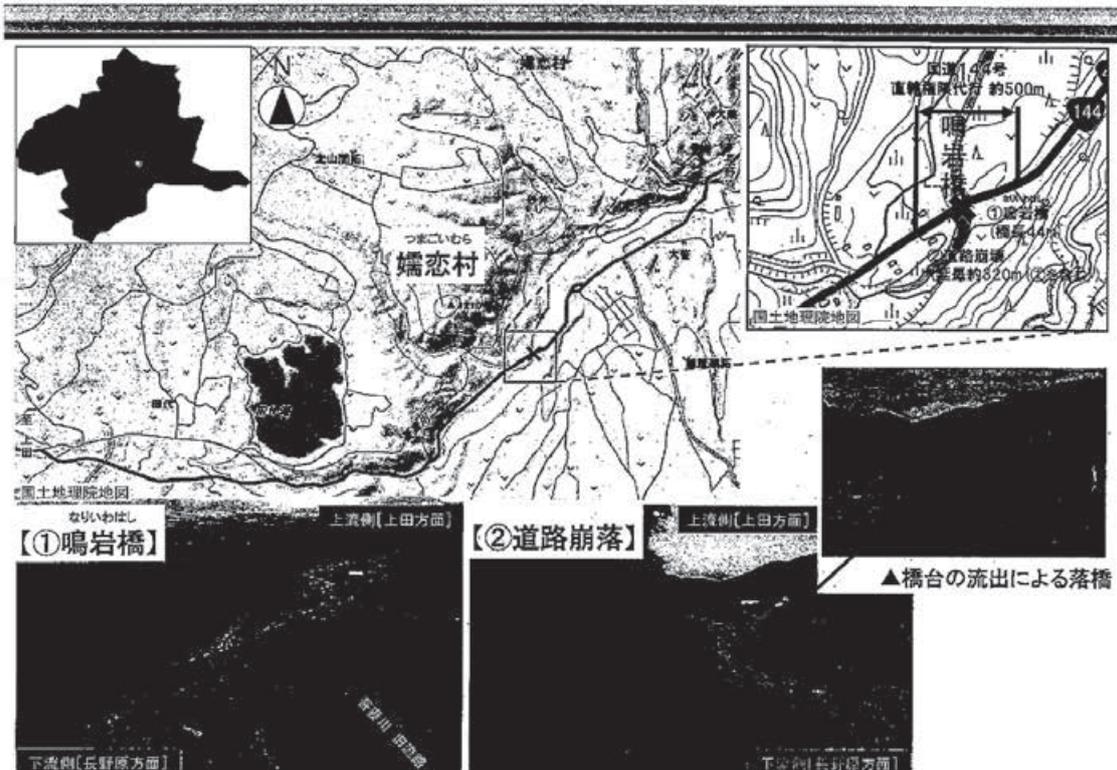
国土交通省



出典：福島県災害対策本部員会議(第20回)資料(令和元年10月29日)

大規模災害復興法に基づく直轄権限代行 位置図(国道144号)

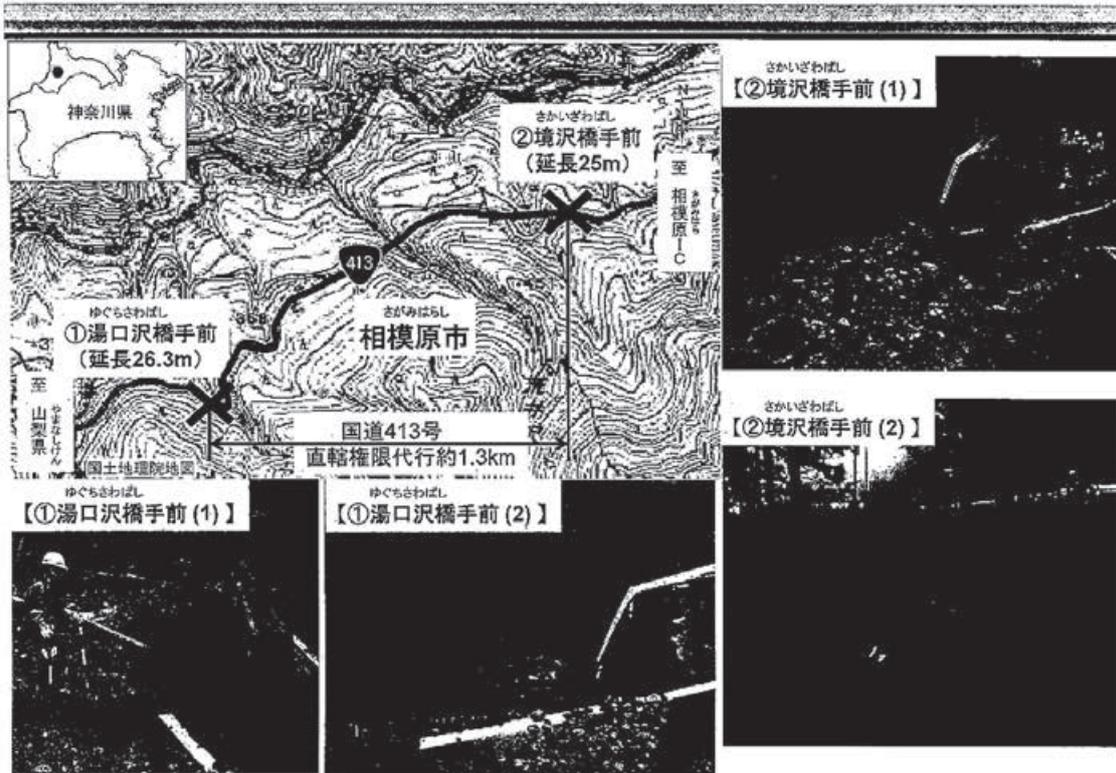
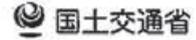
国土交通省



出典：福島県災害対策本部員会議(第20回)資料(令和元年10月29日)

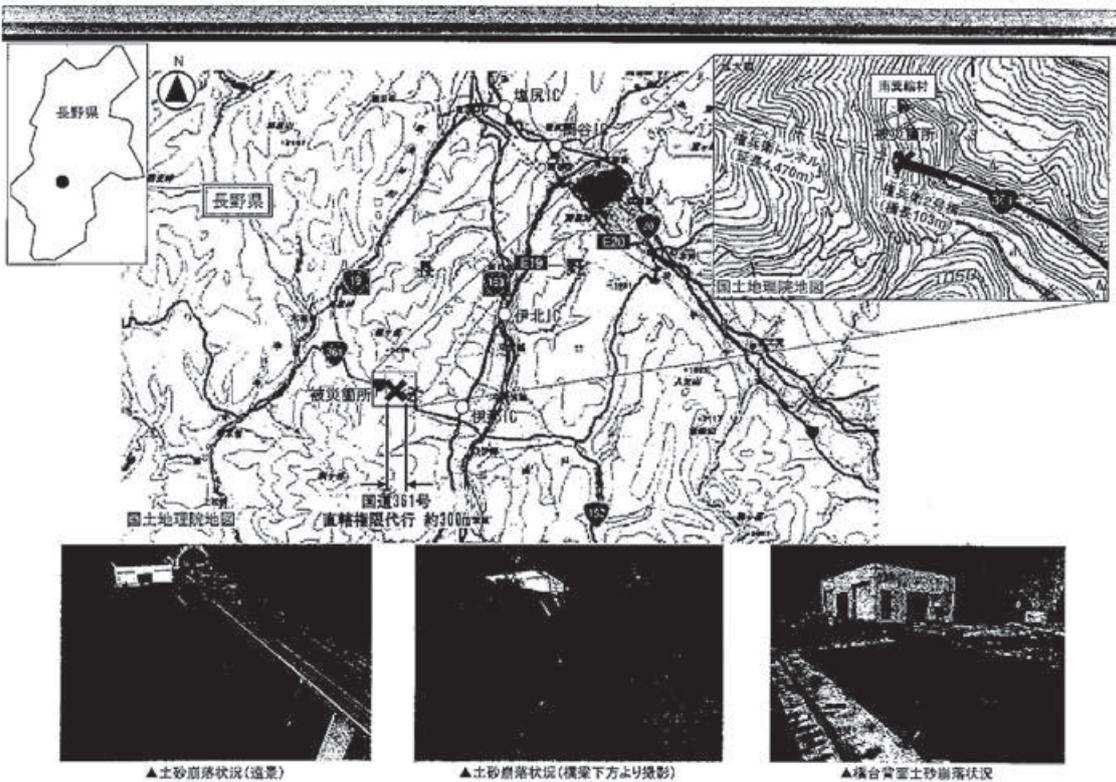
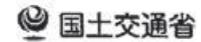
資1-図10 台風19号による道路の被災状況(補助国道および基幹道路)(2/4)

大規模災害復興法に基づく直轄権限代行 位置図(国道413号)



出典：福島県災害対策本部員会議(第20回)資料(令和元年10月29日)

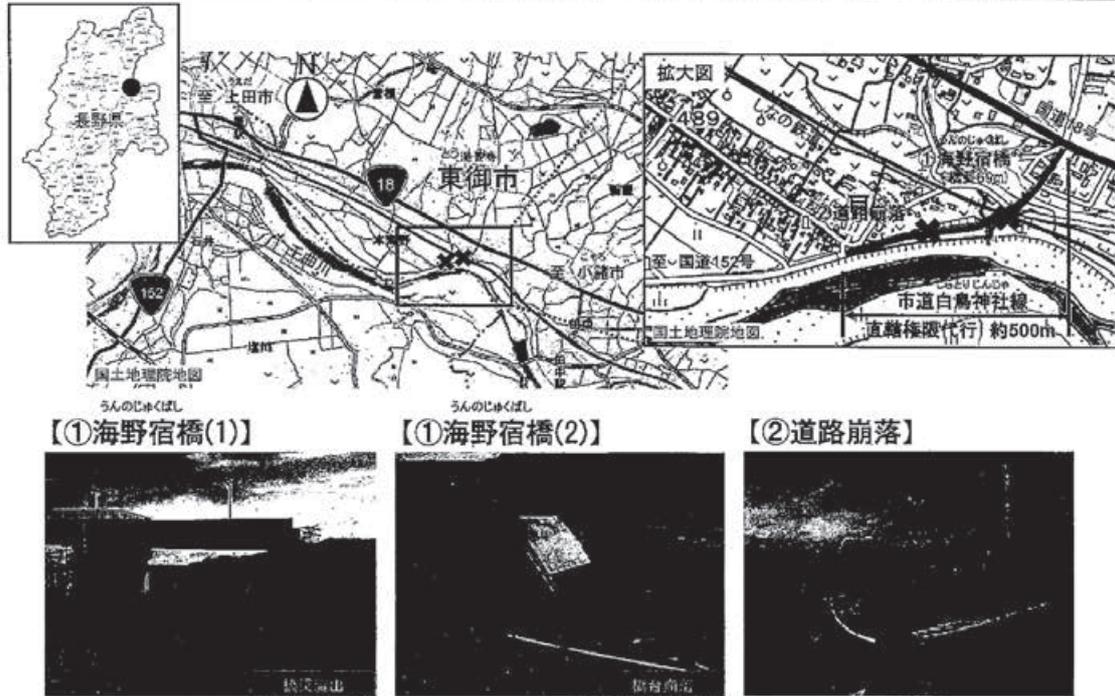
大規模災害復興法に基づく直轄権限代行 位置図(国道361号)



出典：福島県災害対策本部員会議(第20回)資料(令和元年10月29日)

資1-図10 台風19号による道路の被災状況(補助国道および基幹道路)(3/4)

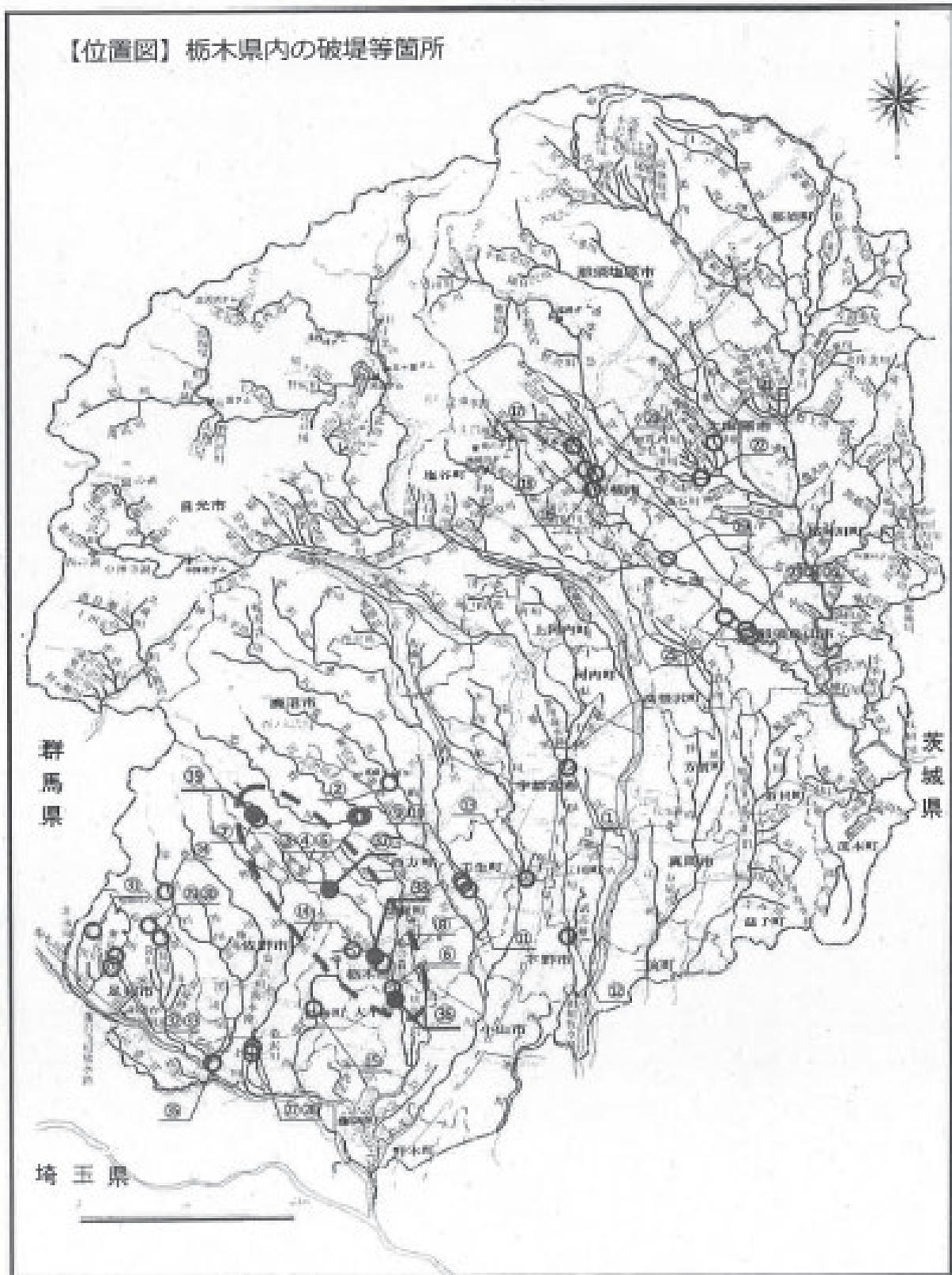
大規模災害復興法に基づく直轄権限代行 位置図(市道白鳥神社線) しらとりじんじや 国土交通省



出典：福島県災害対策本部員会議(第20回)資料(令和元年10月29日)

資1-図10 台風19号による道路の被災状況(補助国道および基幹道路)(4/4)

資料1-3 被災6県の被害状況図(栃木県)



出典：第6回栃木県災害対策本部会議資料(令和元年10月25日)

資1-図11 台風19号による河川の被害状況(栃木県管理河川)

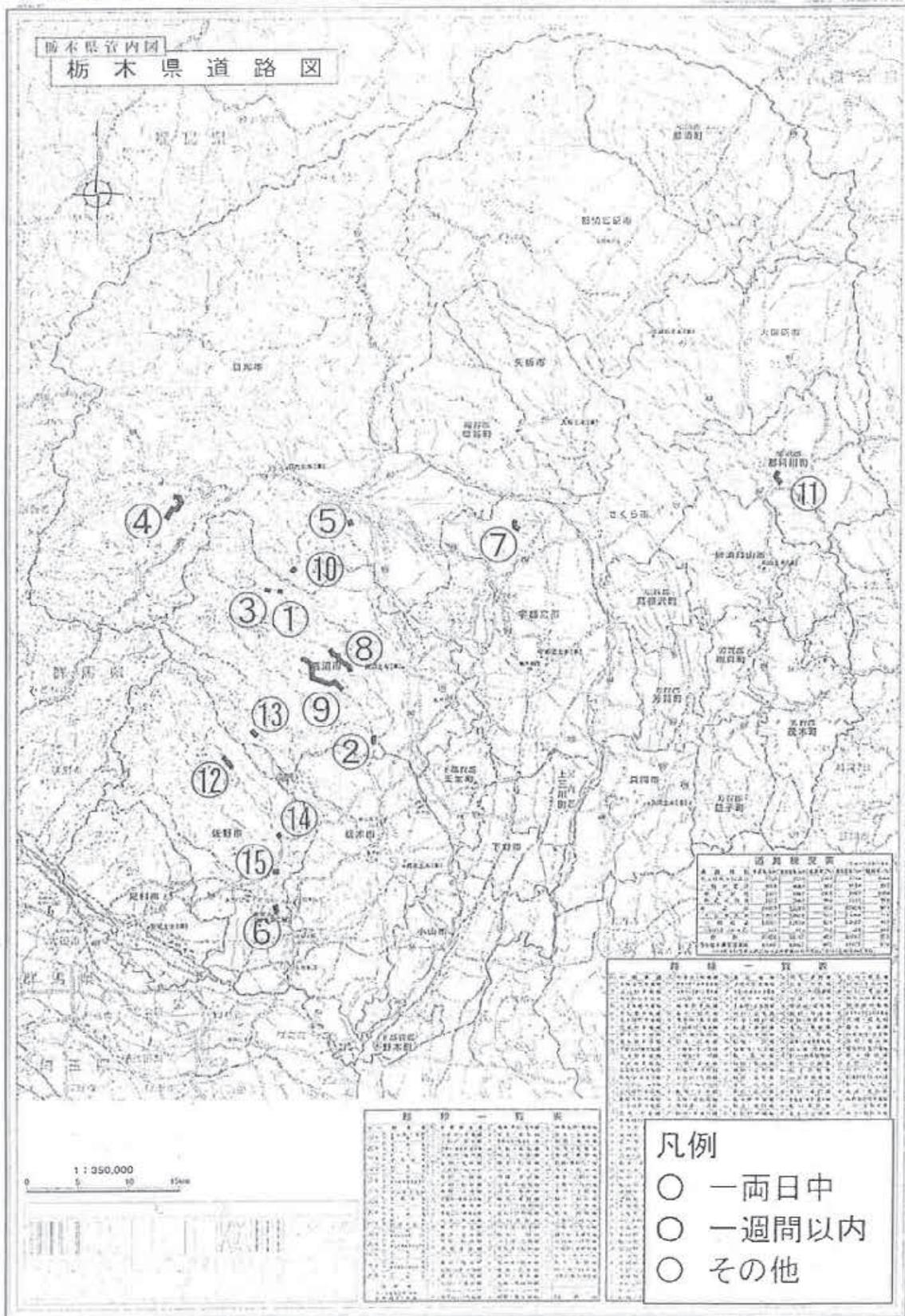
資1-表1 台風19号による河川の被害状況(栃木県管理河川)

別紙-2
2019/10/25
県管理河川の破堤等箇所一覽
10月12日被害状況【25日 14:00速報】

| No. | 事務所名 | 河川名 | 左右岸 | 被災箇所 | 完了見込 | 被災区分 | 対策状況 | 周辺の土地利用状況 | 備考 | |
|-----|----------|---------|-----|-------------------|------------------|-------|----------------|------------|--------------|--|
| 1 | 宇都宮土木事務所 | 田川 | 右岸 | 宇都宮市大通り4丁目 | 13日完了 | 溢水 | 堆積物除去 | 市街地 | | |
| 2 | | 荒井川 | 左岸 | 鹿沼市野尻(象間橋下) | 19日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田畑・一部宅地 | | |
| 3 | 鹿沼土木事務所 | 思川 | 右岸 | 鹿沼市久野(天満橋下) | 22日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 宅地 | | |
| 4 | | 思川 | 右岸 | 鹿沼市久野(天満橋下流) | 22日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田・一部宅地 | | |
| 5 | | 思川 | 右岸 | 鹿沼市久野(柳橋上) | 22日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 公園 | | |
| 6 | | 思野川 | 左右岸 | 栃木市片柳5丁目(二杉橋下) | 19日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田・一部宅地 | | |
| 7 | | 永野川 | 左岸 | 栃木市皇野町(新栗生橋上下) | 19日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 水路・県道 | | |
| 8 | | 永野川 | 左岸 | 栃木市蘭部町(上人橋上) | 19日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田・上流保育園 | | |
| 9 | | 黒川 | 左岸 | 壬生町福和田(地藏橋上1号) | 24日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | | |
| 10 | 栃木土木事務所 | 黒川 | 左岸 | 壬生町福和田(地藏橋上2号) | 17日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | | |
| 11 | | 黒川 | 右岸 | 壬生町上稲葉(北関東下) | 18日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | | |
| 12 | | | 田川 | 右岸 | 下野市成田 | 18日完了 | 越水 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | |
| 13 | | | 新川 | 右岸 | 下野市上古山(平成橋上) | 19日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | |
| 14 | | | 柏倉川 | 左岸 | 栃木市岩倉(関村橋下) | 19日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | |
| 15 | | | 三杉川 | 左岸 | 栃木市岩舟町古江(樋の口橋上下) | 19日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田・一部宅地 | |
| 16 | | | 中川 | 左岸 | 矢板市矢板(中江大橋上) | 17日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | |
| 17 | | 矢板土木事務所 | 中川 | 左岸 | 矢板市上太田(上太田橋上) | 21日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | |
| 18 | | | 中川 | 左岸 | 矢板市下太田(下太田橋上) | 24日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田・一部宅地 | |
| 19 | 内川 | | 右岸 | さくら市鷺宿(和久橋上) | 19日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | | |
| 20 | 内川 | | 左岸 | 矢板市荒井(中橋上) | 17日完了 | 溢水 | 応急仮工(大型土嚢) | 宅地 | | |
| 21 | 大田原土木事務所 | | 蛇尾川 | 左岸 | 大田原市赤瀬(千丈橋下流) | 21日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | |
| 22 | | 百村川 | 右岸 | 大田原市滝岡(百村橋上下流) | 21日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | | |
| 23 | 烏山土木事務所 | 荒川(塩谷) | 左岸 | 那須烏山市藤田(藤田橋上) | 19日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田・一部宅地 | | |
| 24 | | 荒川(塩谷) | 左岸 | 那須烏山市藤田(藤田橋下) | 22日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | | |
| 25 | | 荒川(塩谷) | 右岸 | 那須烏山市三箇(三箇橋下) | 18日完了 | 溢水 | 堆積土除去 | 田・一部宅地 | | |
| 26 | | 荒川(塩谷) | 左右岸 | 那須烏山市小倉 | 23日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田・一部宅地 | | |
| 27 | | 秋山川 | 右岸 | 佐野市赤坂町(海陸橋上流) | 18日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢、根固め) | 宅地 | | |
| 28 | | 秋山川 | 右岸 | 佐野市大橋町(大橋上流) | 15日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 宅地 | | |
| 29 | | 名草川 | 左岸 | 足利市名草中町(高橋上) | 15日完了 | 越水 | 応急仮工(大型土嚢) | 田・一部宅地 | | |
| 30 | 安足土木事務所 | 名草川 | 左岸 | 足利市名草上町(三ノ輪橋) | 13日完了 | 溢水 | 応急仮工(大型土嚢) | 山・一部宅地 | | |
| 31 | | 小俣川 | 左岸 | 足利市小俣町(鳴石橋下) | 15日完了 | 溢水 | 応急仮工(大型土嚢) | 山・畑 | | |
| 32 | | 松田川 | 右岸 | 足利市松田町(川田大橋下) | 14日完了 | 溢水 | 応急仮工(大型土嚢) | 宅地 | | |
| 33 | | 松田川 | 右岸 | 足利市松田町(中通橋下) | 14日完了 | 溢水 | 応急仮工(大型土嚢) | 宅地 | | |
| 34 | | 彦間川 | 右岸 | 佐野市飛駒町(新要谷橋下流) | 17日完了 | 溢水 | 応急仮工(大型土嚢) | 畑・一部宅地 | | |
| 35 | | 出流川 | 右岸 | 足利市奥戸町(出流川水門上) | 17日完了 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | | |
| 36 | 栃木土木事務所 | 永野川 | 右岸 | 栃木市大平町川連(JR鉄道橋上下) | 一箇日中 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田 | 一部JR対応(15日～) | |
| 37 | | 永野川 | 右岸 | 栃木市梅沢町(大久保橋下) | 一箇日中 | 溢水 | 応急仮工(大型土嚢) | 田・一部宅地 | | |
| 38 | | 永野川 | 右岸 | 栃木市岩出町(大砂橋下) | 一箇日中 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 山 | | |
| 39 | | 永野川 | 左右岸 | 栃木市星野町(牛蒡橋上下) | 一箇日中 | 決壊 | 応急仮工(大型土嚢) | 田・一部宅地 | | |

出典：第6回栃木県災害対策本部会議資料(令和元年10月25日)

【位置図】 栃木県内の全面通行止箇所



出典：第4回栃木県災害対策本部会議資料(令和元年10月16日)

資1-図12 台風19号による道路の被災状況(1/3)

資1-表2 台風19号による道路の被災状況(1/3)

栃木県内の全面通行止箇所規制解除目標

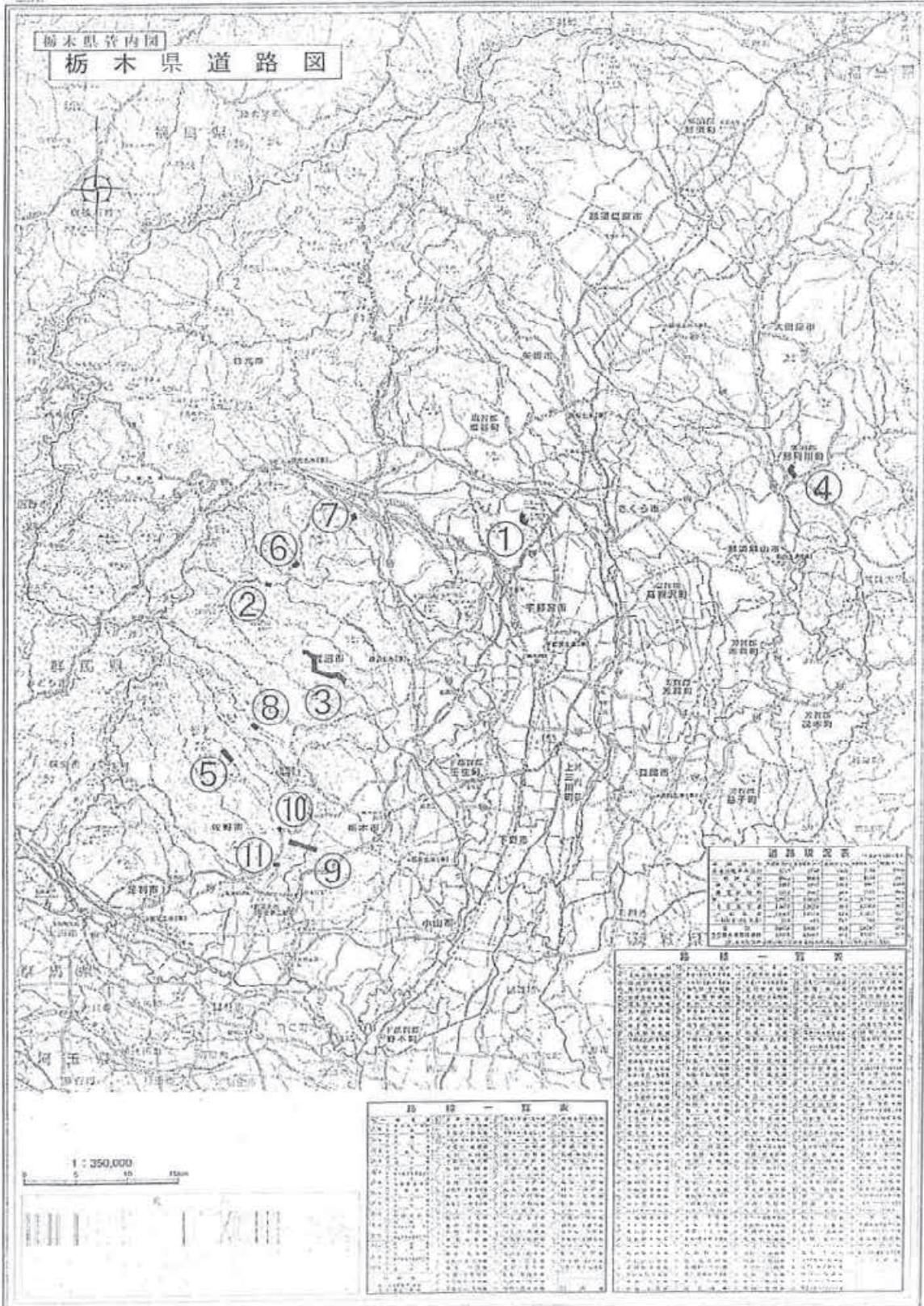
別紙一1
2019年10月16日
15:00現在

| 規制箇所 | 路線名 | 箇所名 | 解除目標 | 迂回路 | バス路線 | バス運行状況 | 通学路 | 応急工事 | 備考 |
|--------|---------|----------------------|-------|-----|------|--------|-----|------|----------|
| 1 (主) | 草久尾線 | 鹿沼市草久(西大芦オアシストレッキング) | 一両日中 | ○ | ○ | 区間運休 | ○ | ○ | |
| 2 (主) | 栃木栗野線 | 鹿沼市深程 清南橋付近 | 一両日中 | ○ | × | | ○ | ○ | |
| 3 (一) | 草久尾線 | 鹿沼市草久 小川橋上下 | 一両日中 | ○ | ○ | 区間運休 | ○ | ○ | |
| 4 (一) | 中宮祠足尾線 | 入口ゲート～半月山駐車場 | 一両日中 | × | ○ | 区間運休 | × | ○ | |
| 5 (主) | 宇都宮今市線 | 日光市千本木 | 一両日中 | ○ | × | | × | ○ | |
| 6 (一) | 唐沢山公園線 | 佐野市富士町 | 一両日中 | ○ | × | | × | × | |
| 7 (一) | 小林逆面線 | 宇都宮市関白 | 一週間以内 | ○ | ○ | 区間運休 | × | ○ | |
| 8 (一) | 石裂上日向線 | 鹿沼市下久我 小奈良橋上 外 | 一週間以内 | ○ | ○ | 区間運休 | ○ | ○ | 自衛隊の支援箇所 |
| 9 (一) | 上久我栃木線 | 鹿沼市上南摩 | 一週間以内 | × | × | | × | × | |
| 10 (主) | 鹿沼日光線 | 日光市中ノ沢橋 | 一週間以内 | ○ | × | | × | ○ | |
| 11 (主) | 那須黒羽茂木線 | 那珂川町馬頭 | 一週間以内 | ○ | × | | ○ | × | |
| 12 (一) | 秋山葛生線 | 佐野市水木町 | 一週間以内 | ○ | ○ | 全線運休 | ○ | ○ | |
| 13 (一) | 上永野下永野線 | 鹿沼市上永野(久保田橋) | その他 | ○ | × | | ○ | ○ | 橋梁沈下 |
| 14 (一) | 秋山葛生線 | 佐野市鉢木町 | その他 | ○ | × | | × | ○ | 被災区間延長大 |
| 15 (一) | 栃木田沼線 | 佐野市多田町(安蘇川橋) | その他 | ○ | ○ | 迂回運行 | × | ○ | 橋梁沈下 |

出典：第4回栃木県災害対策本部会議資料(令和元年10月16日)

2019年10月21日 15時現在

【位置図】栃木県内の全面通行止箇所



出典：第5回栃木県災害対策本部会議資料(令和元年10月21日)

資1-図12 台風19号による道路の被災状況(2/3)

資1-表2 台風19号による道路の被災状況(2/3)

別紙-1

栃木県内の全面通行止箇所規制解除目標

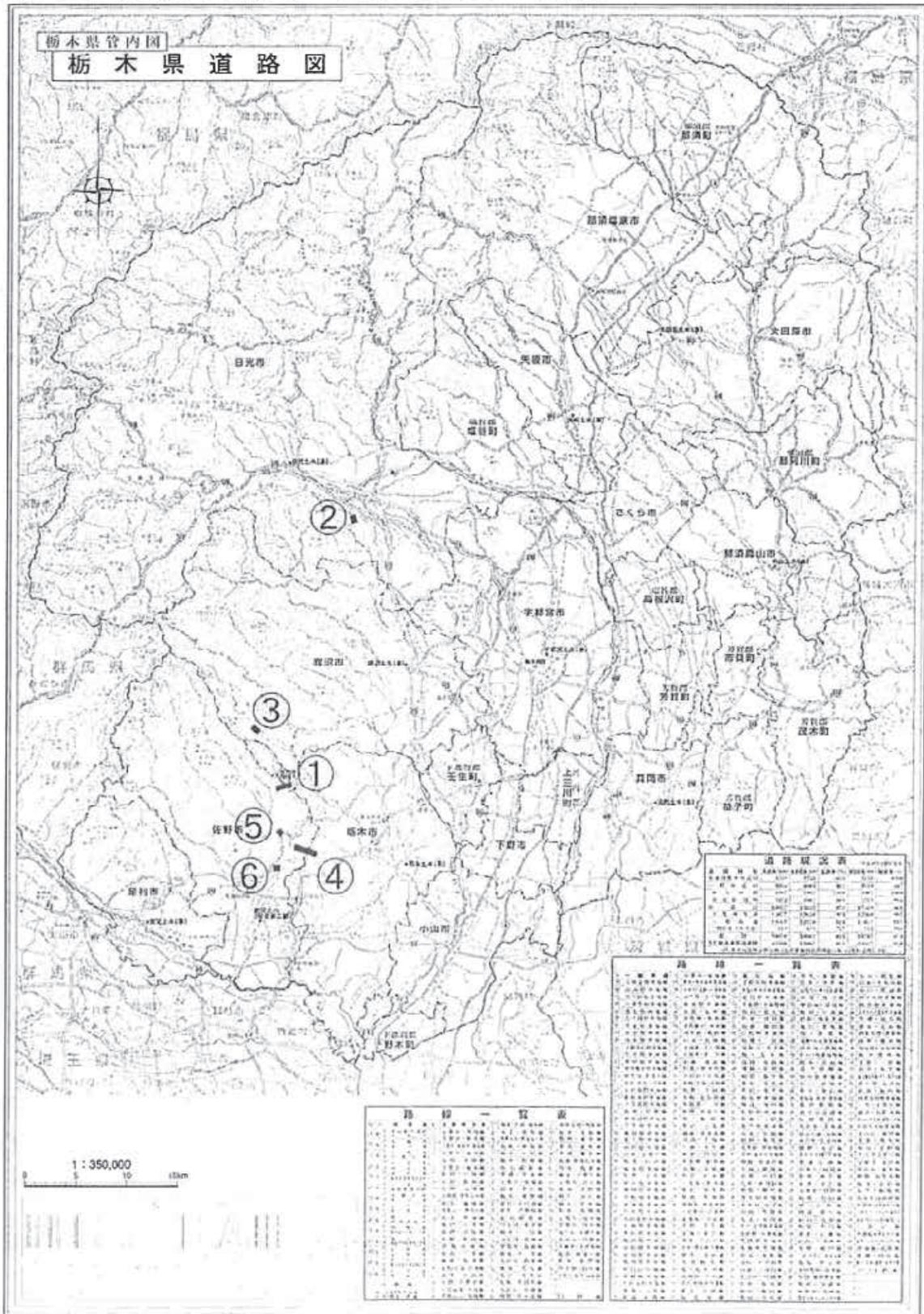
2019年10月21日
15:00現在

| 規制箇所 | 路線名 | 箇所名 | 解除目標 | 迂回路 | バス路線 | バス運行状況 | 通学路 | 応急工事 | 備考 |
|------|------------|--------------|-------|-----|------|--------|-----|------|-----------|
| 1 | (一)小林逆面線 | 宇都宮市関白 | 一両日中 | ○ | ○ | 区間運休 | × | ○ | |
| 2 | (一)草久足尾線 | 鹿沼市草久 小川橋上下 | 一両日中 | ○ | ○ | 区間運休 | ○ | ○ | 被災拡大 |
| 3 | (一)上久我栃木線 | 鹿沼市上南摩 | 一両日中 | × | × | | × | × | |
| 4 | (主)那須黒羽茂木線 | 那珂川町馬頭 | 一両日中 | ○ | × | | ○ | × | |
| 5 | (一)秋山葛生線 | 佐野市水木町 | 一両日中 | ○ | ○ | 全線運休 | ○ | ○ | |
| 6 | (主)鹿沼日光線 | 日光市中ノ沢橋 | 1週間以内 | ○ | × | | × | ○ | |
| 7 | (主)宇都宮今市線 | 日光市千本木 | その他 | ○ | × | | × | ○ | 被災拡大 |
| 8 | (一)上永野下永野線 | 鹿沼市上永野(久保田橋) | その他 | ○ | × | | ○ | ○ | 橋梁沈下 |
| 9 | (一)拍倉葛生線 | 栃木市拍倉町 | その他 | ○ | × | | × | ○ | 10/20路肩崩落 |
| 10 | (一)秋山葛生線 | 佐野市鉢木町 | その他 | ○ | × | | × | ○ | 被災区間長大 |
| 11 | (一)栃木田沼線 | 佐野市多田町(安蘇川橋) | その他 | ○ | ○ | 迂回運行 | × | ○ | 橋梁沈下 |

出典：第5回栃木県災害対策本部会議資料(令和元年10月21日)

2019年10月25日 14時00分現在

【位置図】栃木県内の全面通行止箇所



出典：第6回栃木県災害対策本部会議資料(令和元年10月25日)

資1-図12 台風19号による道路の被災状況(3/3)

資1-表2 台風19号による道路の被災状況(3/3)

別紙-1

栃木県内の全面通行止箇所規制解除目標

2019年10月25日
14:00現在

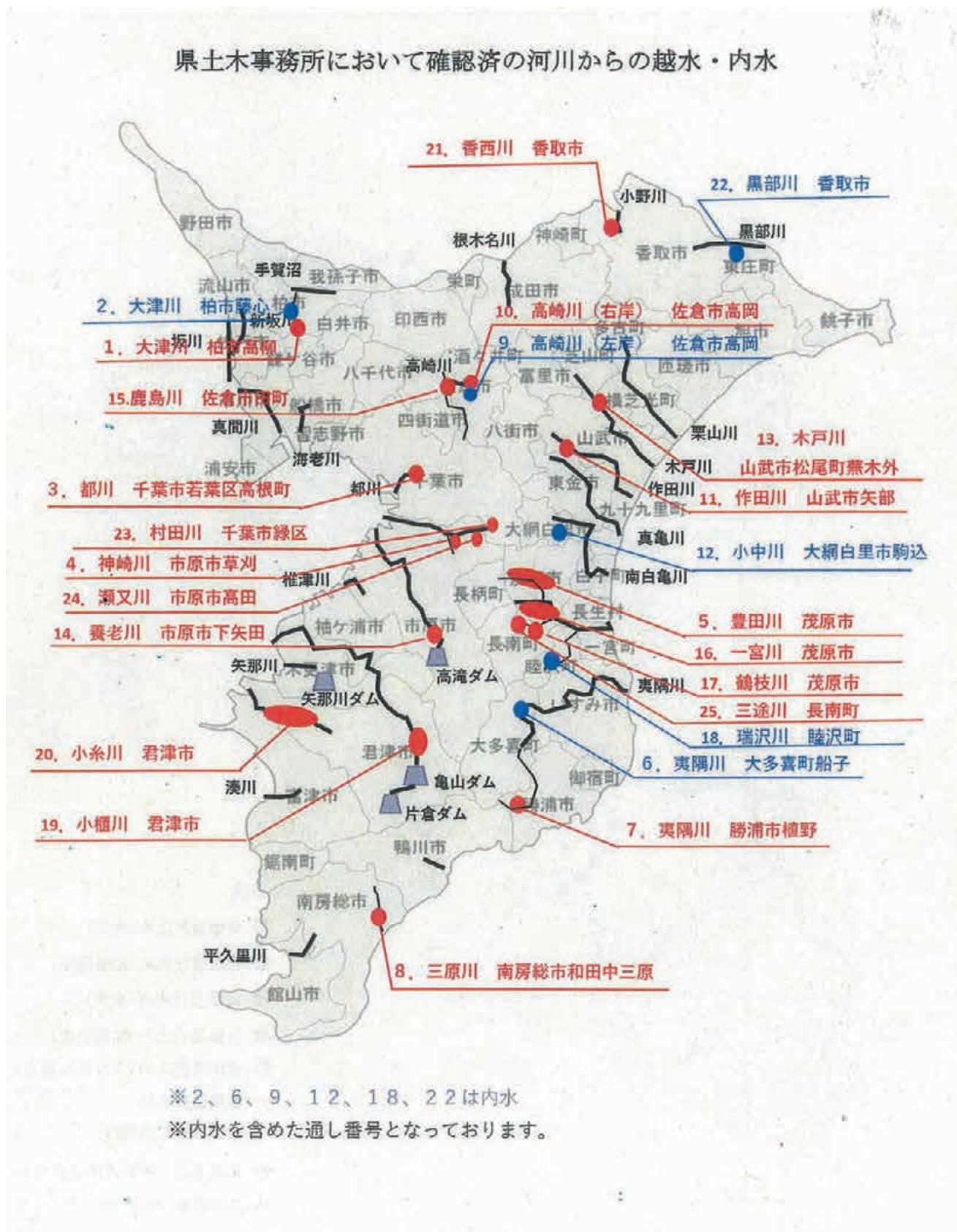
| 規制箇所 | 路線名 | 箇所名 | 解除目標 | 迂回路 | バス路線 | バス運行状況 | 通学路 | 応急工事 | 備考 |
|------|------------|------------------|------|-----|------|--------|-----|------|------------------|
| 1 | (一)仙波鶴山線 | 佐野市仙波町~栃木市出流町 | 一両日中 | ○ | × | | × | ○ | 10/25降雨による2次災害防止 |
| 2 | (主)宇都宮今市線 | 日光市千本木 | その他 | ○ | × | | × | ○ | 被災拡大 |
| 3 | (一)上永野下永野線 | 鹿沼市上永野(久保田橋) | その他 | ○ | × | | ○ | ○ | 橋梁沈下 |
| 4 | (一)柏倉葛生線 | 栃木市柏倉町~佐野市葛生東1丁目 | その他 | ○ | × | | × | ○ | 10/20路肩崩落 |
| 5 | (一)秋山葛生線 | 佐野市鉢木町 | その他 | ○ | × | | × | ○ | 被災区間長大 |
| 6 | (一)栃木田沼線 | 佐野市多田町(安蘇川橋) | その他 | ○ | ○ | 迂回運行 | × | ○ | 橋梁沈下 |

出典：第6回栃木県災害対策本部会議資料(令和元年10月25日)

資料 1-4 被災 6 県の被害状況図(埼玉県)

※埼玉県は、災害状況の詳細が分かる図面等は入手できなかった。

資料1-5 被災6県の被害状況図(千葉県)



出典：第18回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年11月1日)

資1-図13 10月25日からの大雨による河川の被害状況

令和元年10月27日7時現在

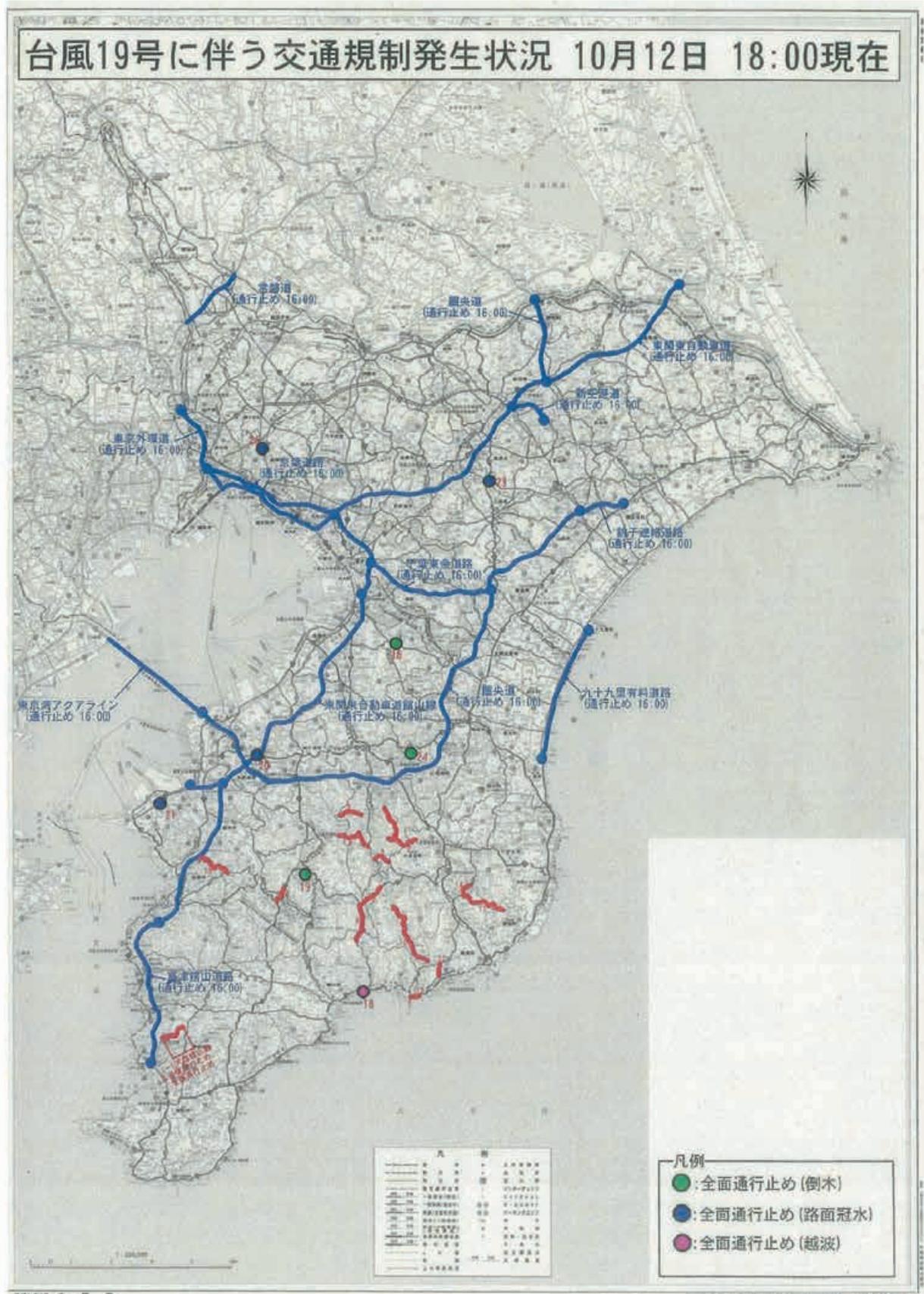
10月25日豪雨 土砂災害箇所

(砂防指定地、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域)



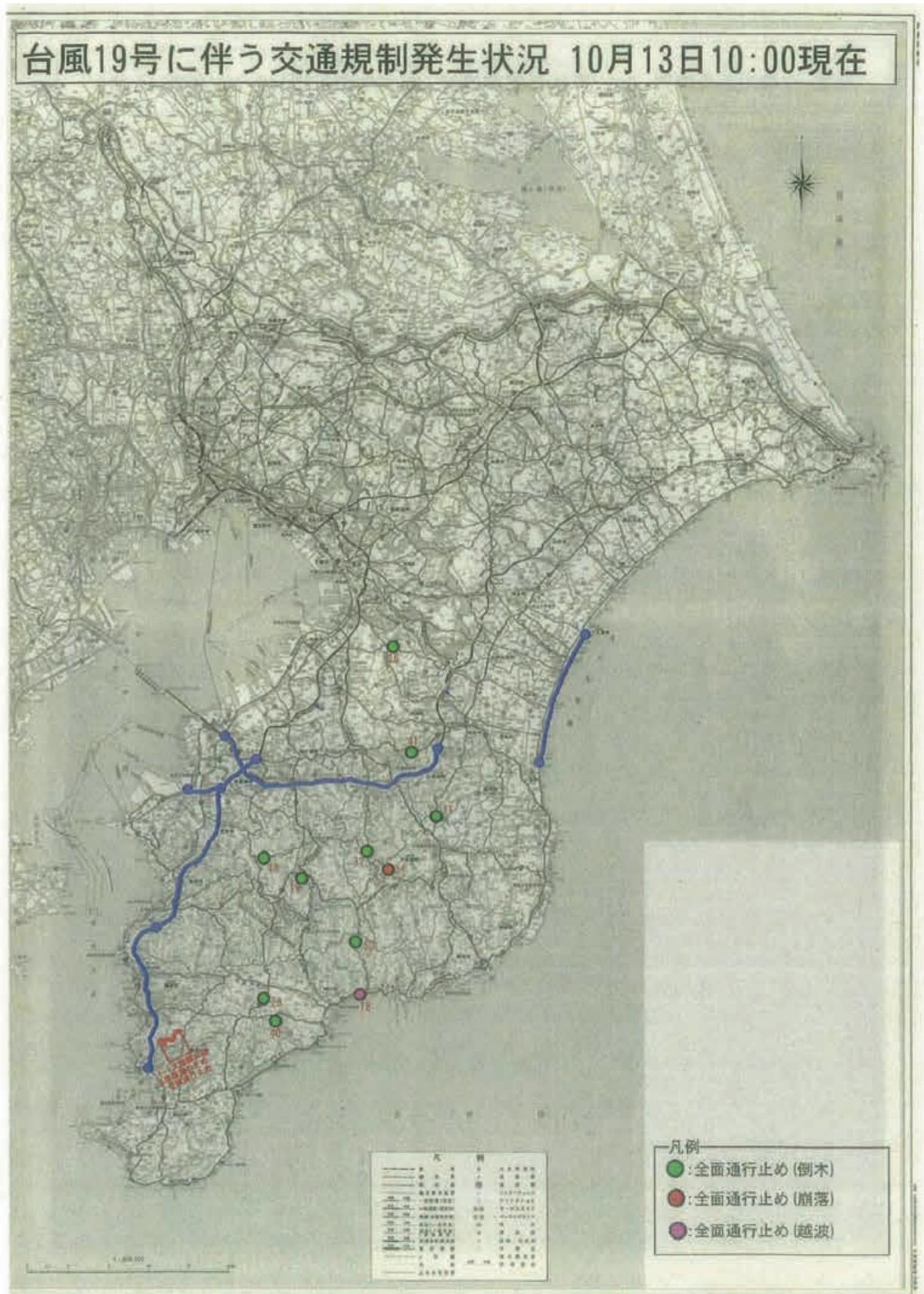
出典：第17回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年10月27日)

資1-図14 10月25日からの大雨による土砂災害の状況(主なもの)



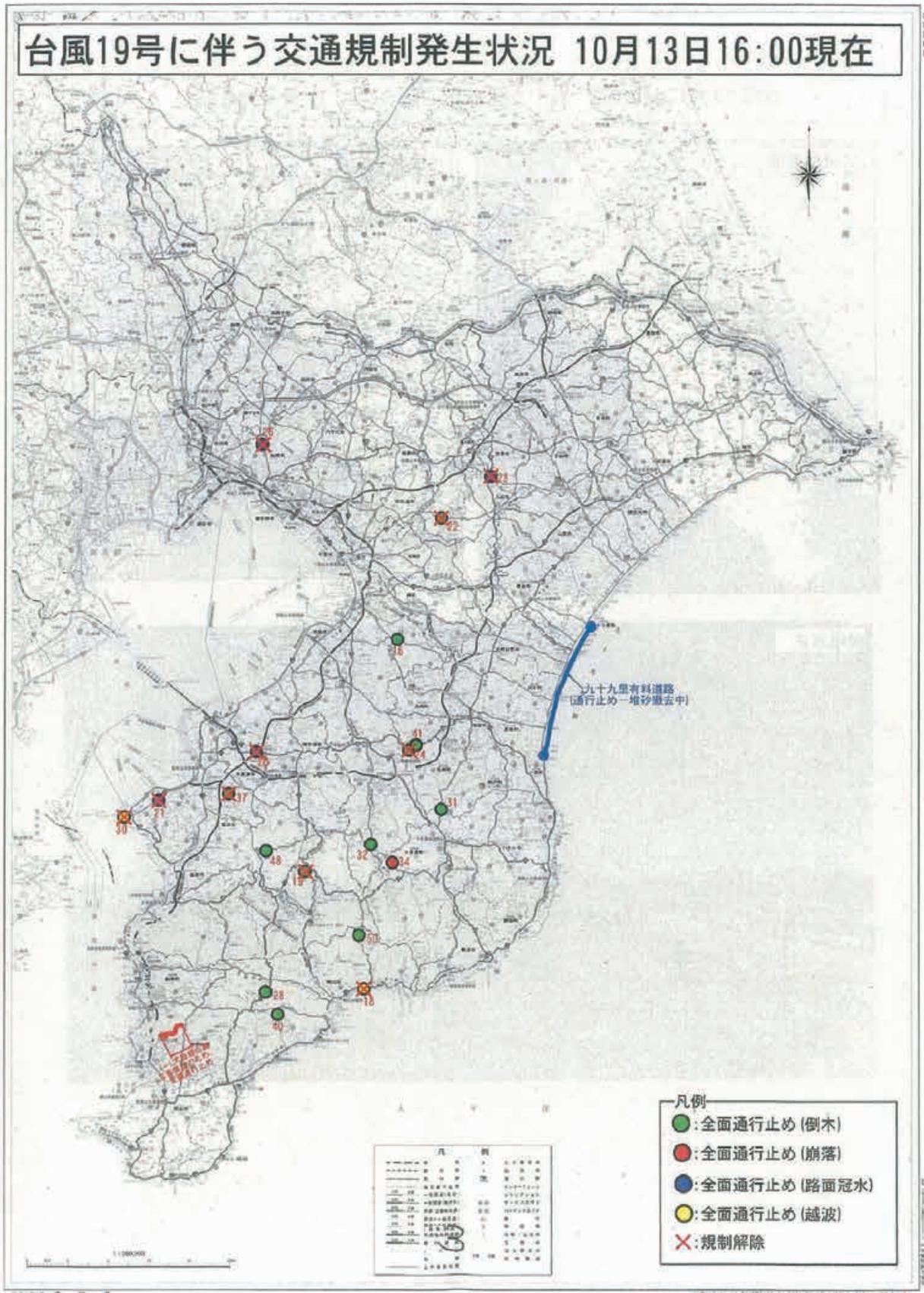
出典：第10回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年10月12日)

資1-図15 台風19号による道路の被災状況(1/3)



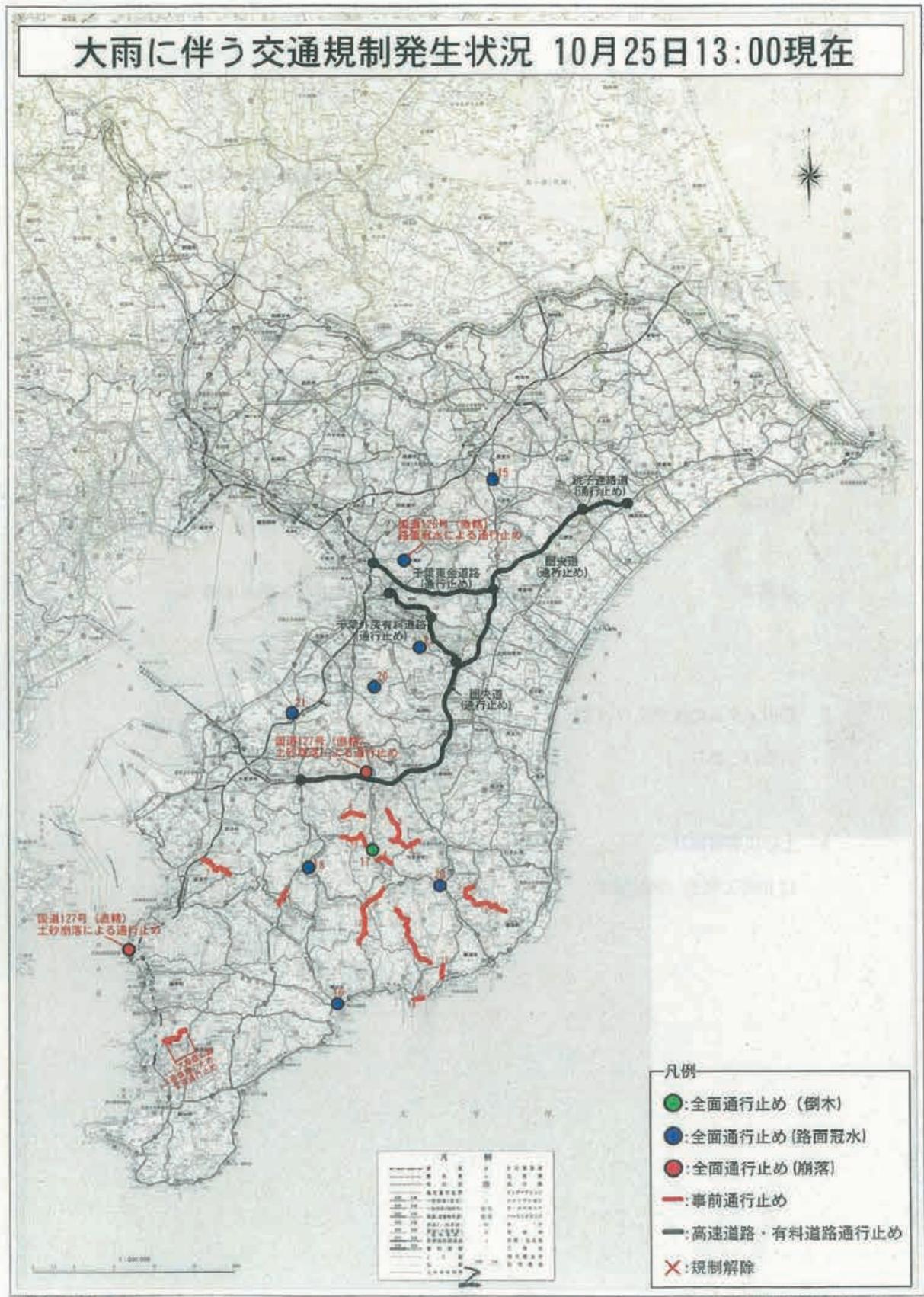
出典：第11回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年10月13日)

資1-図15 台風19号による道路の被災状況(2/3)



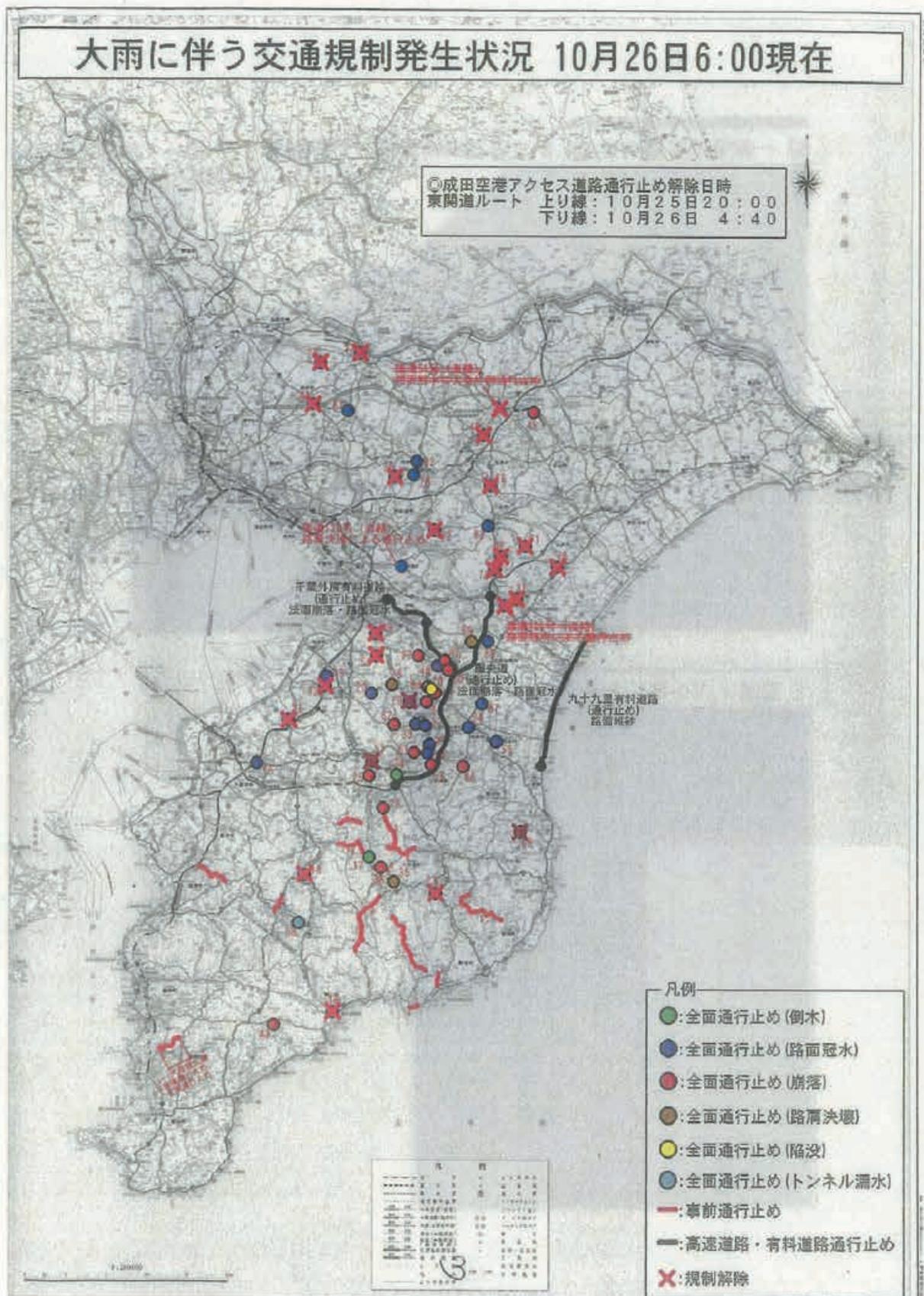
出典：第12回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年10月13日)

資1-図15 台風19号による道路の被災状況(3/3)



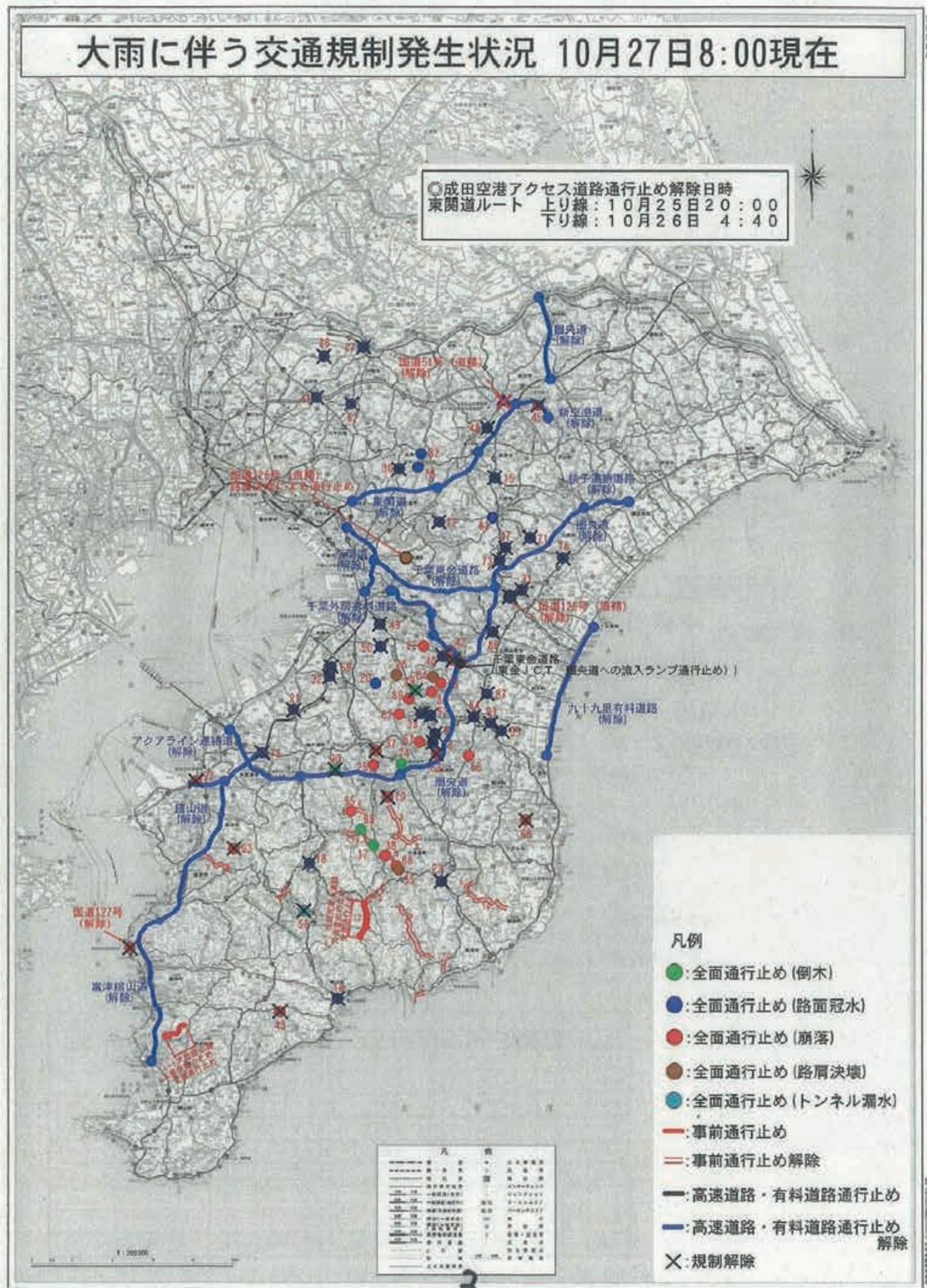
出典：第15回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年10月25日)

資1-図16 10月25日からの大雨による道路の被災状況(1/4)



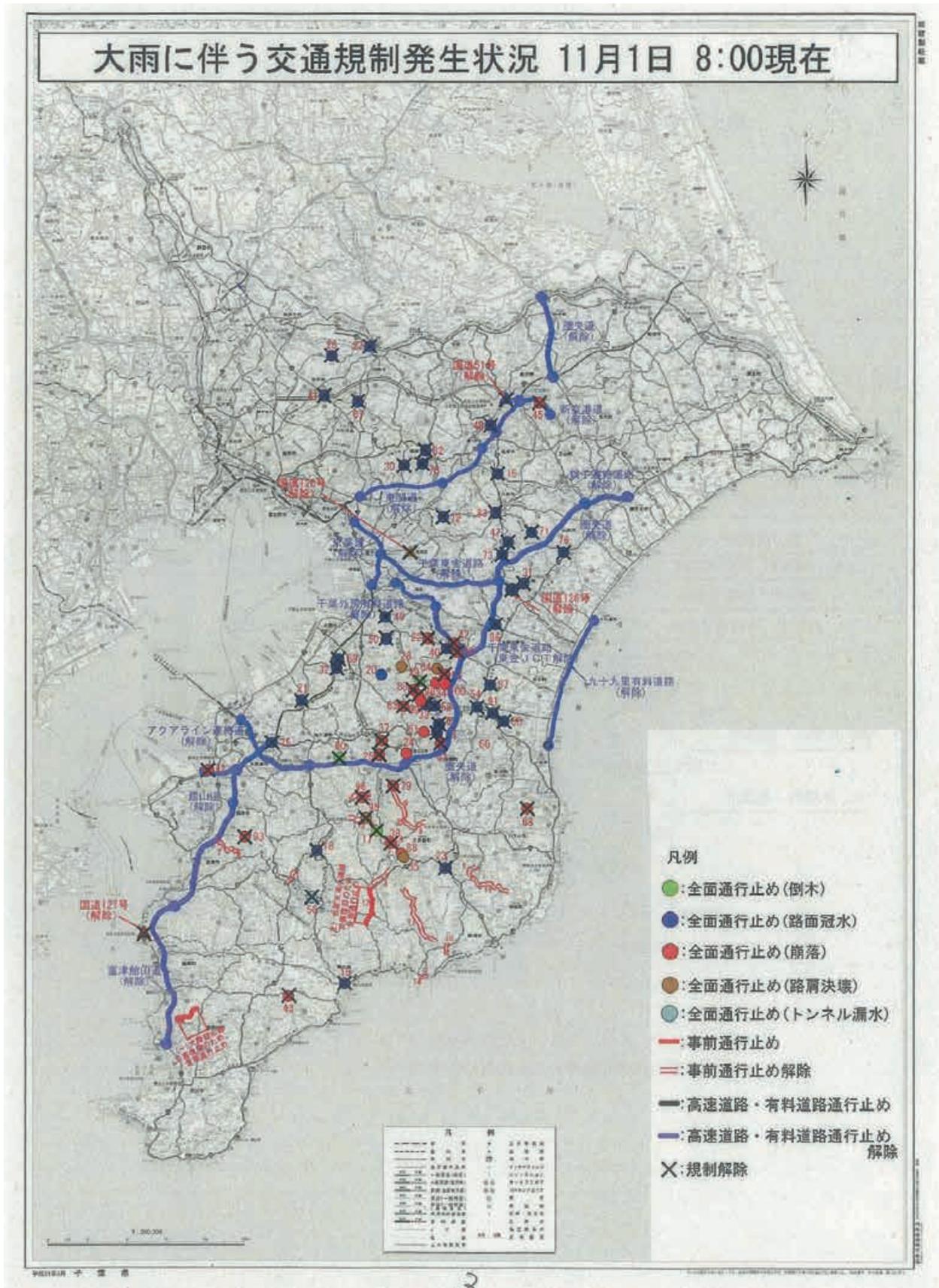
出典：第16回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年10月26日)

資1-図16 10月25日からの大雨による道路の被災状況(2/4)



出典：第17回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年10月27日)

資1-図16 10月25日からの大雨による道路の被災状況(3/4)



出典：第18回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年11月1日)

資1-図16 10月25日からの大雨による道路の被災状況(4/4)

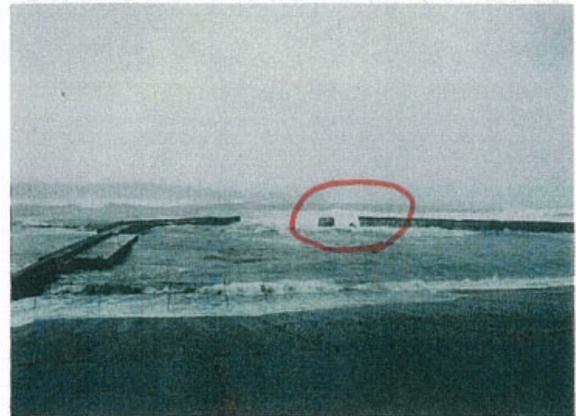
勝浦市串浜漁港防波堤倒壊の状況について

農林水産部

被災前



被災後



出典：第10回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年10月12日)

資1-図17 台風19号による漁港等の被災状況(1/2)



出典：第11回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年10月13日)

資1- 図17 台風19号による漁港等の被災状況(2/2)

漁港等への流竹木の漂着状況について

令和元年10月27日

農 林 水 産 部

10月25日の大雨の影響により、漁港等へ流竹木が漂着する被害が発生しています。

1. 流竹木の漂着した漁港

8漁港（小糸川漁港（君津市）、天津漁港（鴨川市）など）

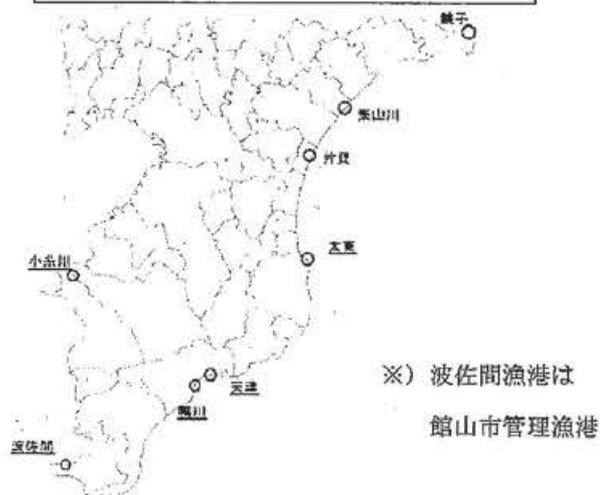
2. 漂着状況

大雨により河川から流出した流竹木が、漁港海岸や漁港内の泊地・船揚場に漂着しました。

3. 対応方針

漂着量が多い小糸川漁港では、10月26日に富津及び新富津漁業協同組合が流竹木の撤去作業を行っており、来週から県が仮置き処分などの作業に着手する予定です。その他の漁港についても早期に撤去するよう対応してまいります。

位置図 10月26日15:00現在



出典：第17回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年10月27日)

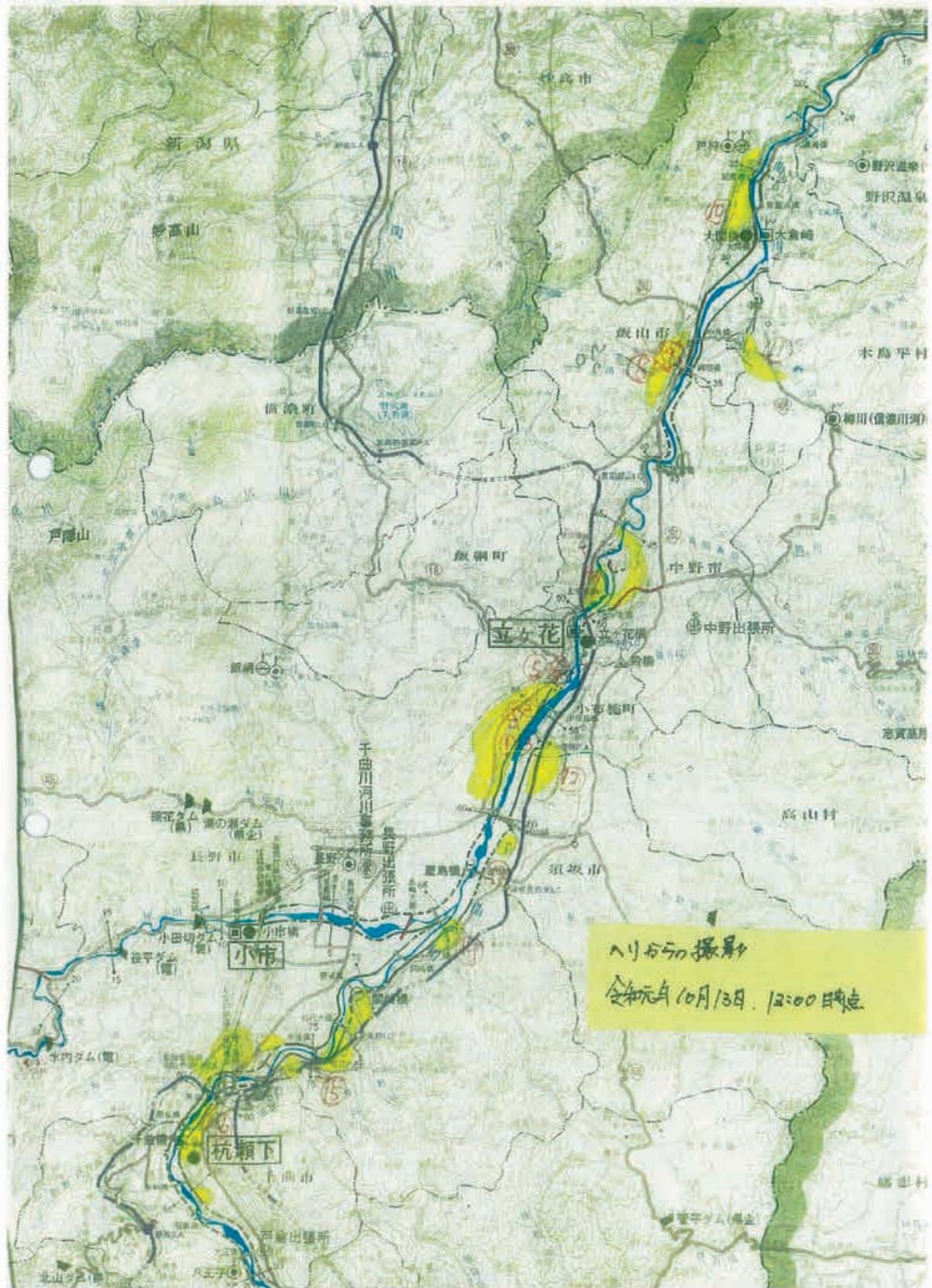
資1-図18 10月25日からの大雨による漁港等の被災状況



出典：第 18 回千葉県災害対策本部会議資料(令和元年 11 月 1 日)

資 1- 図 19 10 月 25 日からの大雨によるダム等の被災状況

資料1-6 被災6県の被害状況図(長野県)



出典：第5回災害対策本部部員会議資料(令和元年10月13日)

資1-図20 台風19号による河川の被害状況(国管理河川〔信濃川水系千曲川〕)

台風19号による土砂災害の発生状況(土石流①)(令和元年10月24日現在) しあわせ信州



台風19号による土砂災害の発生状況(土石流②)(令和元年10月24日現在) しあわせ信州



出典：台風19号による土砂災害の発生状況(土石流)(令和元年10月24日 宮城県)

資1-図21 台風19号による土砂災害の状況(土石流等)(1/3)

台風19号による土砂災害の発生状況(土石流③)(令和元年10月24日現在) しあわせ信州



台風19号による土砂災害の発生状況(土石流④)(令和元年10月24日現在) しあわせ信州



出典：台風19号による土砂災害の発生状況(土石流)(令和元年10月24日 宮城県)

資1-図21 台風19号による土砂災害の状況(土石流等)(2/3)

台風19号による土砂災害の発生状況(土石流⑤)(令和元年10月24日現在) しあわせ信州



出典：台風19号による土砂災害の発生状況(土石流)(令和元年10月24日 宮城県)

資1-図21 台風19号による土砂災害の状況(土石流等)(3/3)

台風19号による土砂災害の発生状況(地すべり)(令和元年10月24日現在) しあわせ信州



出典:台風19号による土砂災害の発生状況(地すべり)(令和元年10月24日 宮城県)

資1- 図22 台風19号による土砂災害の状況(地すべり)

台風19号による土砂災害の発生状況(がけ崩れ)(令和元年10月24日現在) しあわせ信州



台風19号による土砂災害の発生状況(がけ崩れ)(令和元年10月24日現在) しあわせ信州



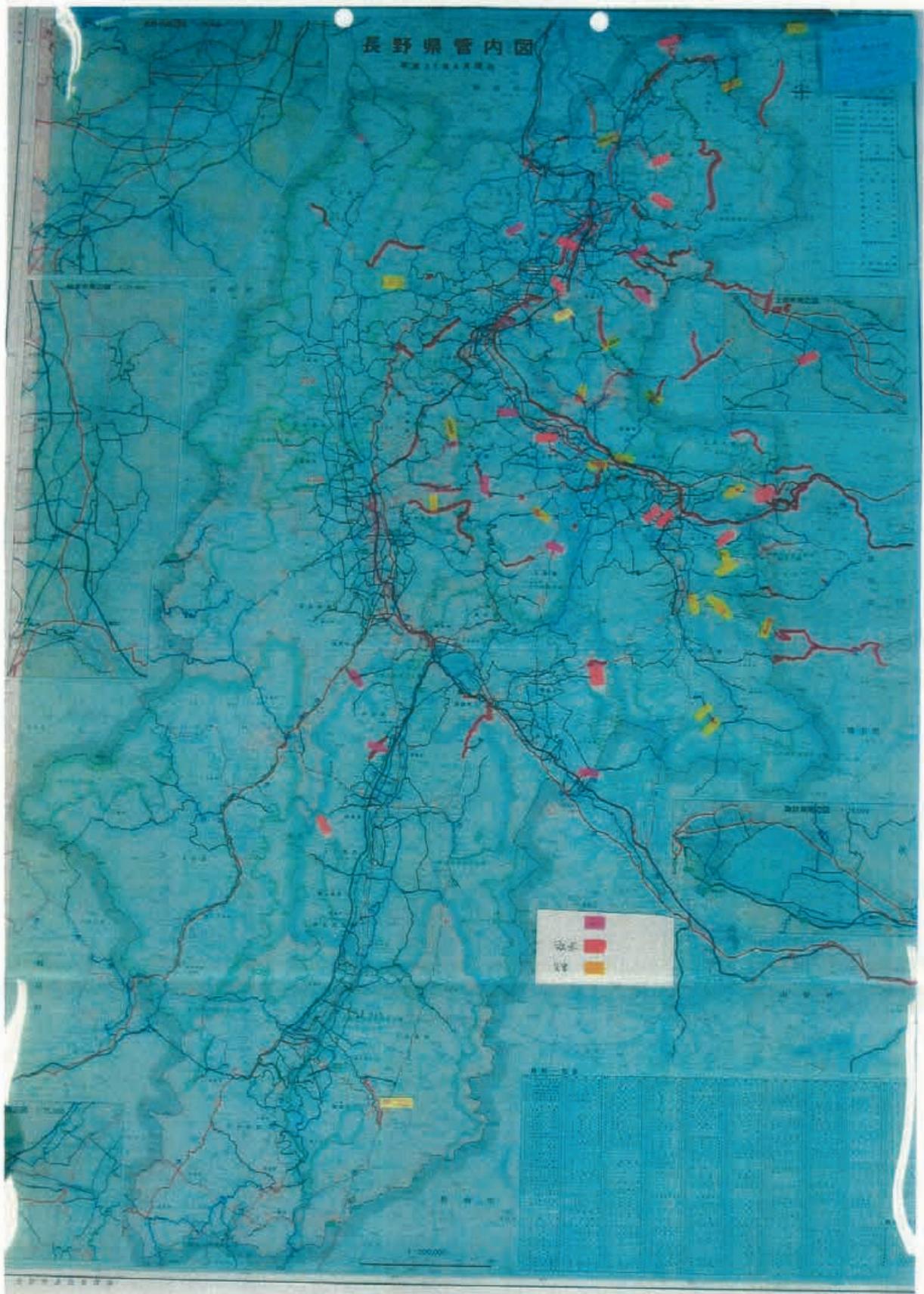
出典：台風19号による土砂災害の発生状況(がけ崩れ)(令和元年10月24日 宮城県)

資1-図23 台風19号による土砂災害の状況(がけ崩れ)(1/2)



出典：台風19号による土砂災害の発生状況(がけ崩れ)(令和元年10月24日 宮城県)

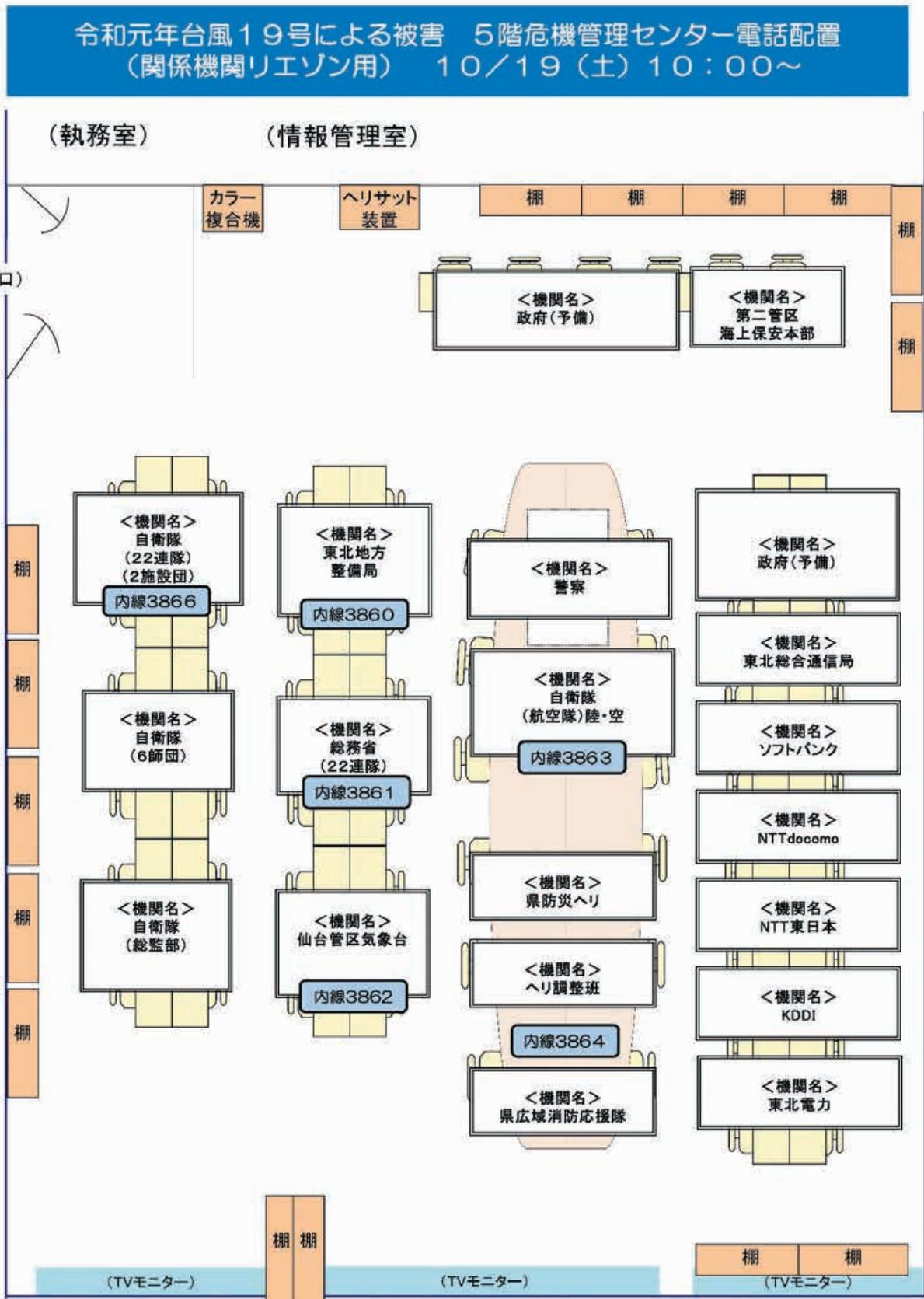
資1-図23 台風19号による土砂災害の状況(がけ崩れ)(2/2)



出典：第5回災害対策本部部員会議資料(令和元年10月13日)

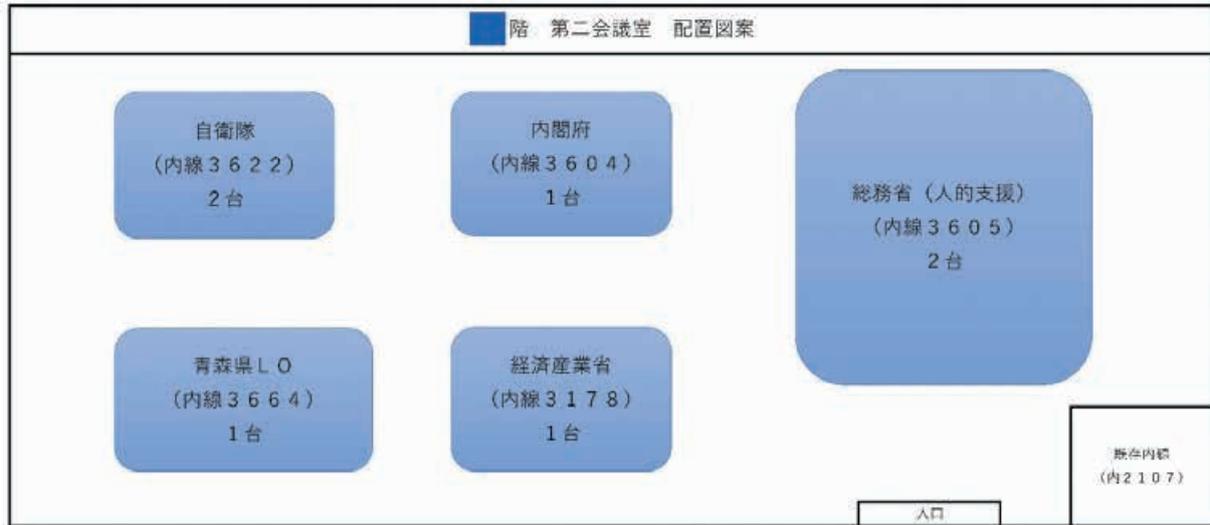
資1-図24 台風19号による道路の被災状況

【巻末資料2 被災6県(うち5県)のリエゾンルームに関する情報】



B 県提供資料

資2- 図1 A 県のリエゾンルーム平面図および概要(1/2)



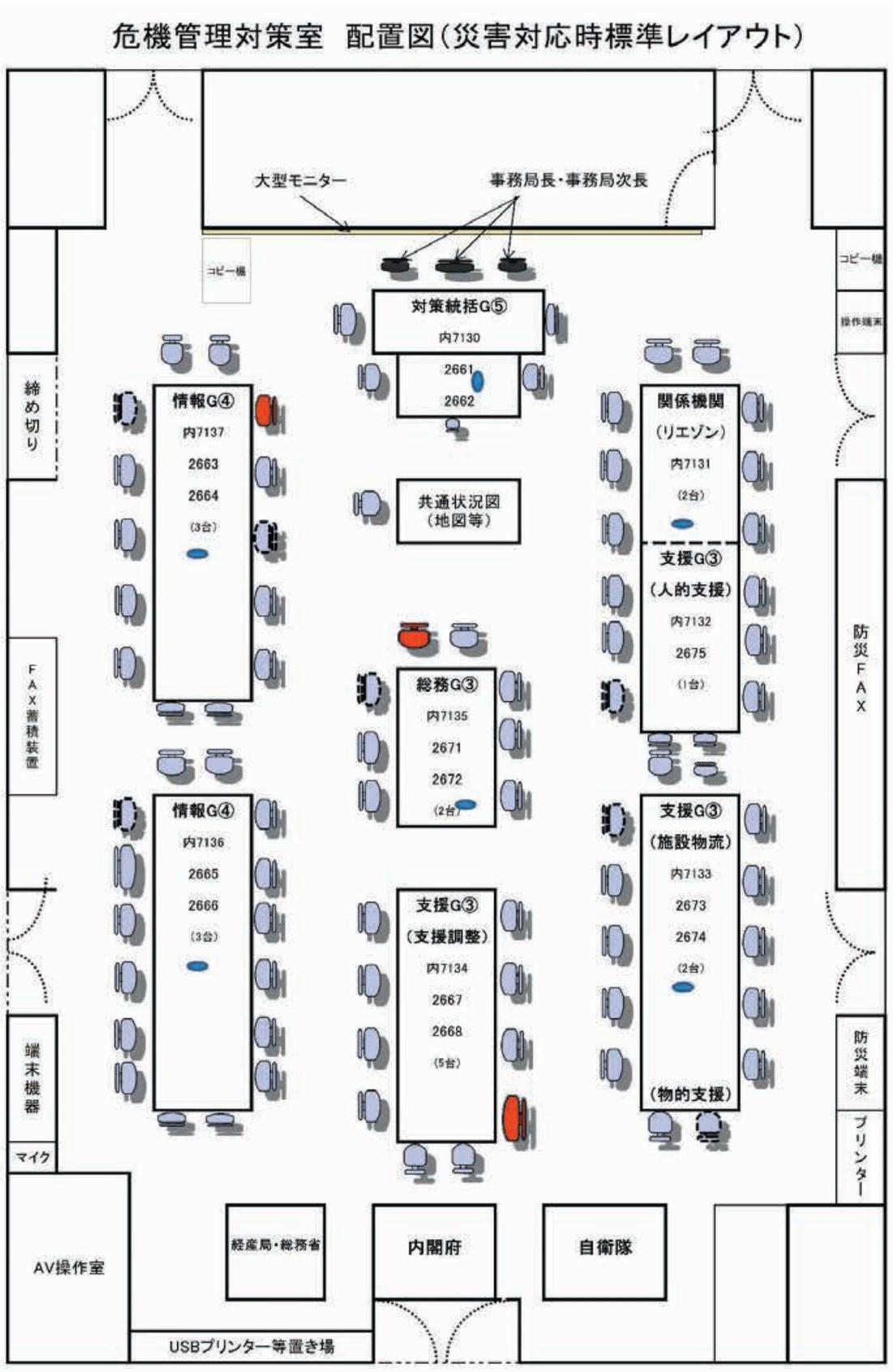
A 県提供資料

資 2- 図 1 A 県のリエゾンルーム平面図および概要 (2/2)



B 県提供資料

資 2- 図 2 B 県のリエゾンルーム平面図および概要



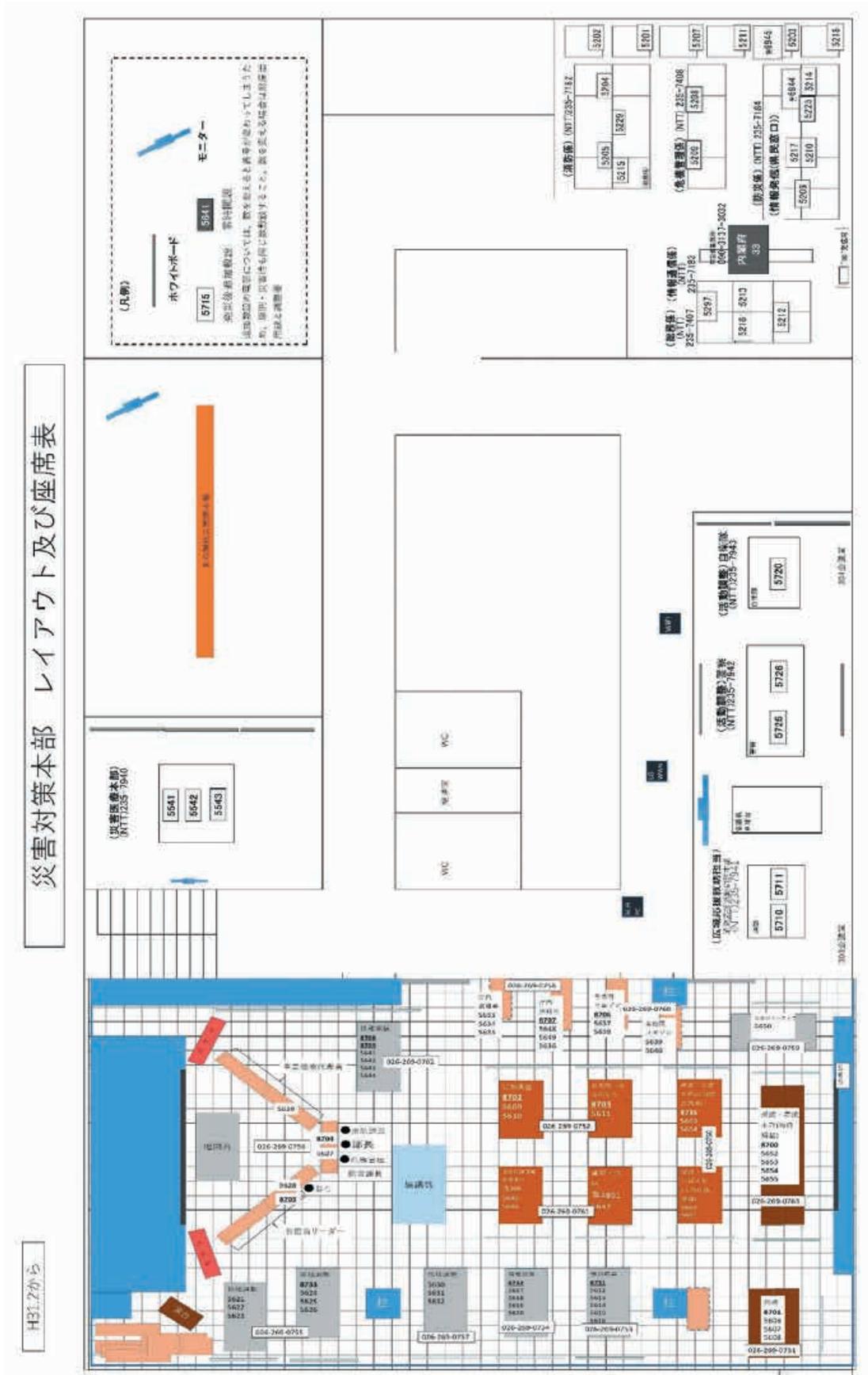
C 県提供資料

資2-図3 C 県のリエゾンルーム平面図および概要



D 県提供資料

資2-図4 D 県のリエゾンルーム平面図および概要



E 県提供資料

資2- 図5 E 県のリエゾンルーム平面図および概要